

# まちづくりに関するアンケート集計表

※重複回答等により、回答数に誤差が生じているものがあります。

※個人（町職員）を特定する意見、行政以外（民間企業やサービス等）に対する意見等は公表いたしません。

※原則として回答された文字のまま掲載しております。ただし、個人が特定できる情報や固有名詞等は一部削除しております。

令和5年11月1日現在

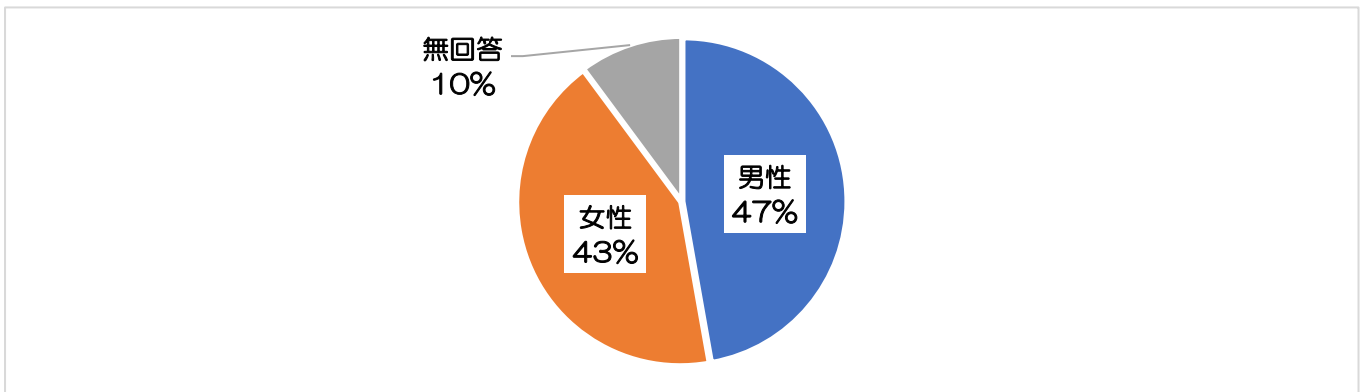
## 1. 回答者の属性

(単位：人/%)

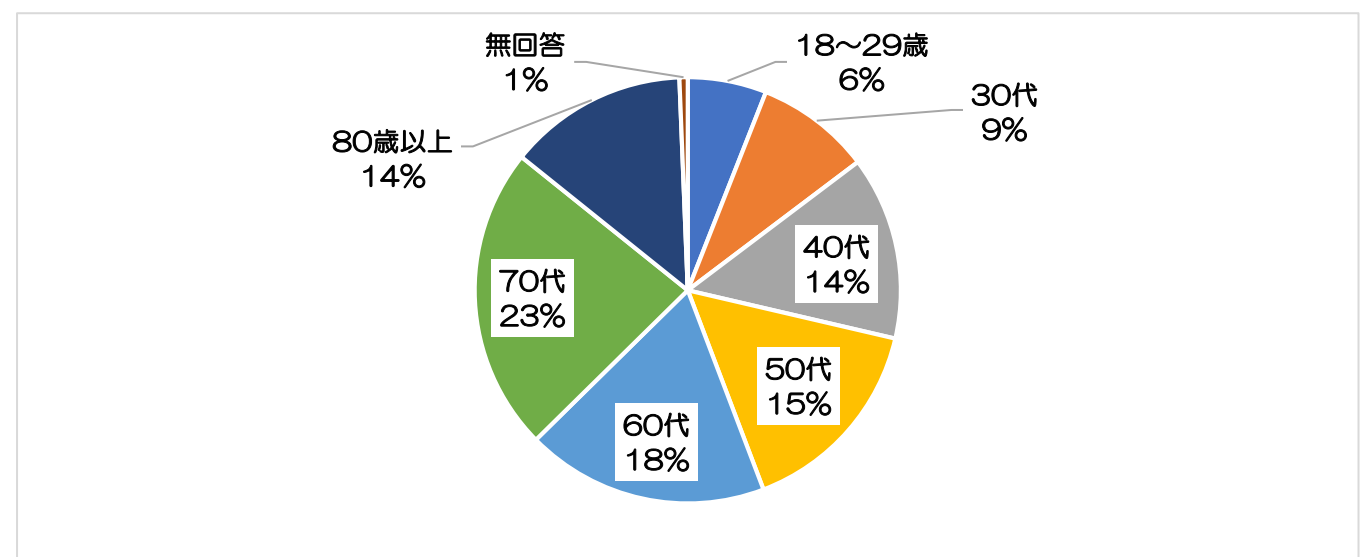
年齢	男			女			性別無回答	合計	
	総人数	回答数	回答率	総人数	回答数	回答率		回答数	回答率
18～19歳	35	6	17.1	37	7	18.9	1	14	19.4
20～29歳	196	34	17.3	152	25	16.4	3	62	17.8
30～39歳	266	60	22.6	218	48	22.0	3	111	22.9
40～49歳	383	84	21.9	344	89	25.9	4	177	24.3
50～59歳	414	100	24.2	347	86	24.8	12	198	26.0
60～69歳	414	111	26.8	449	102	22.7	21	234	27.1
70～79歳	502	123	24.5	587	122	20.8	49	294	27.0
80歳以上	358	79	22.1	583	62	10.6	32	173	18.4
年齢無回答		3			1		4	8	

合計	2,568	600	23.4	2,717	542	19.9	129	1,271	24.0
----	-------	-----	------	-------	-----	------	-----	-------	------

### 性別

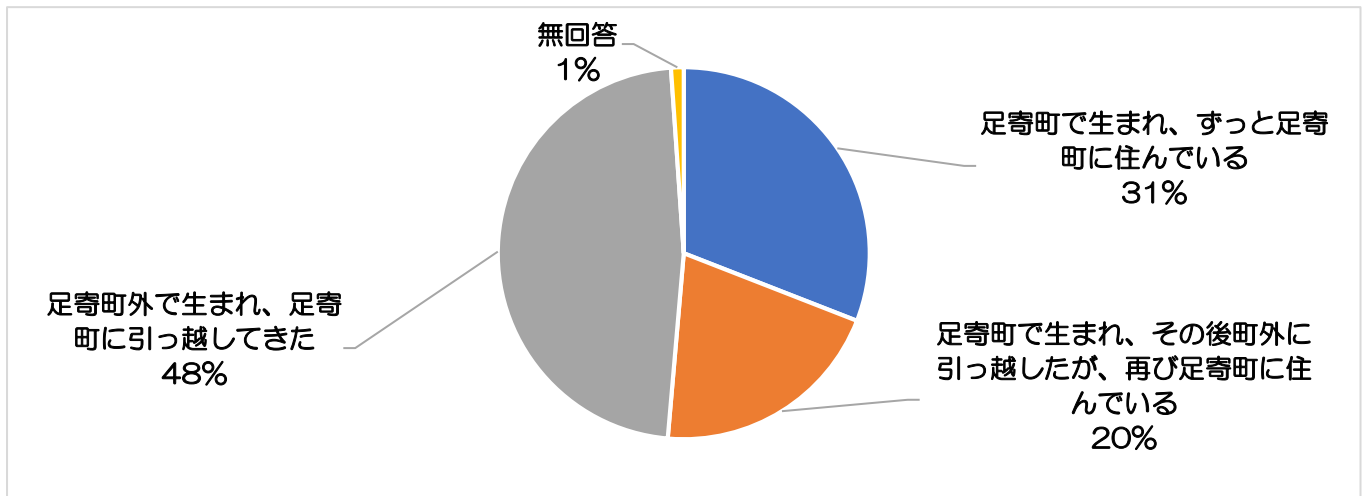


### 年代



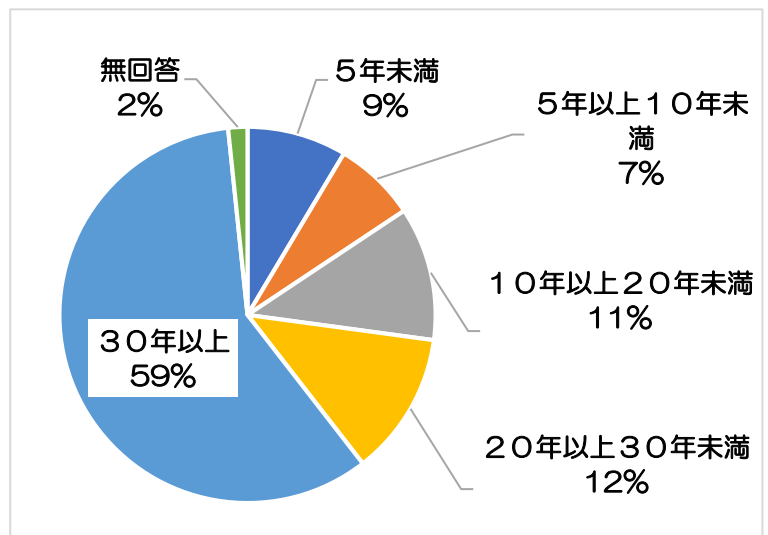
## 出生

足寄町で生まれ、ずっと足寄町に住んでいる	393
足寄町で生まれ、その後町外に引っ越したが、再び足寄町に住んでいる	260
足寄町外で生まれ、足寄町に引っ越してきた	604
無回答	14



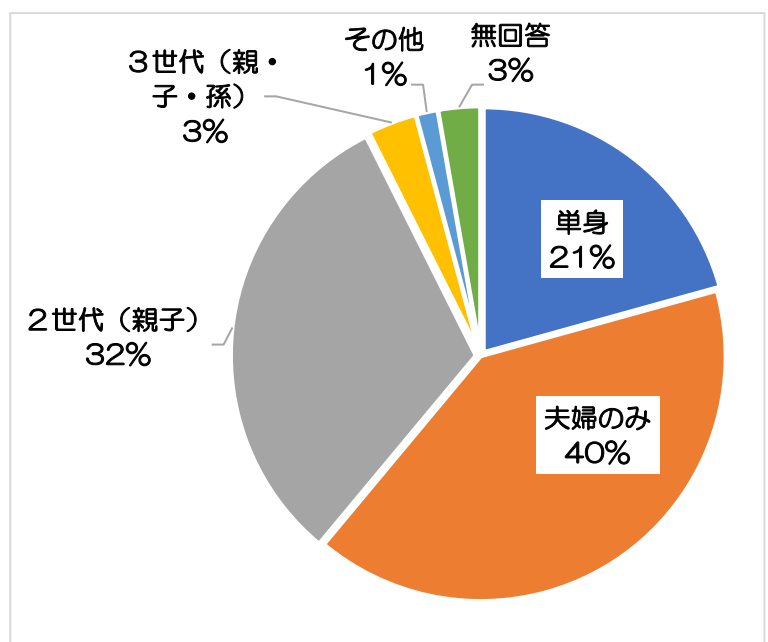
## 居住年数

5年未満	109
5年以上10年未満	90
10年以上20年未満	146
20年以上30年未満	157
30年以上	748
無回答	21



## 世帯構成

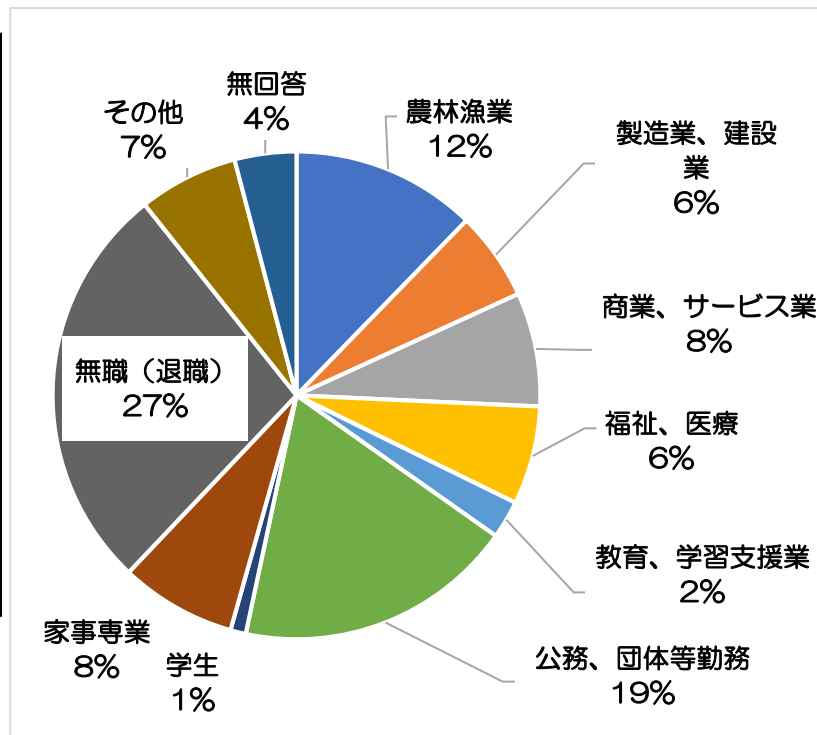
単身	263
夫婦のみ	513
2世代（親子）	401
3世代（親・子・孫）	41
その他	18
無回答	35



## 職業

農林漁業	156
製造業、建設業	75
商業、サービス業	96
福祉、医療	83
教育、学習支援業	32
公務、団体等勤務	236
学生	13
家事専業	98
無職（退職）	346
その他	84
無回答	52

※その他職業として、アルバイト・非正規職員等が24名、自営業、不動産業、運送業などとなっています。



### 調査票の回収状況

○回収割合は全体で、24.0%（1,271人）、男性23.4%（600人）、女性19.9%（542人）となっています。

○出生別にみると、足寄町で出生した方、町外で出生した方の割合はそれぞれ約50%となっています。

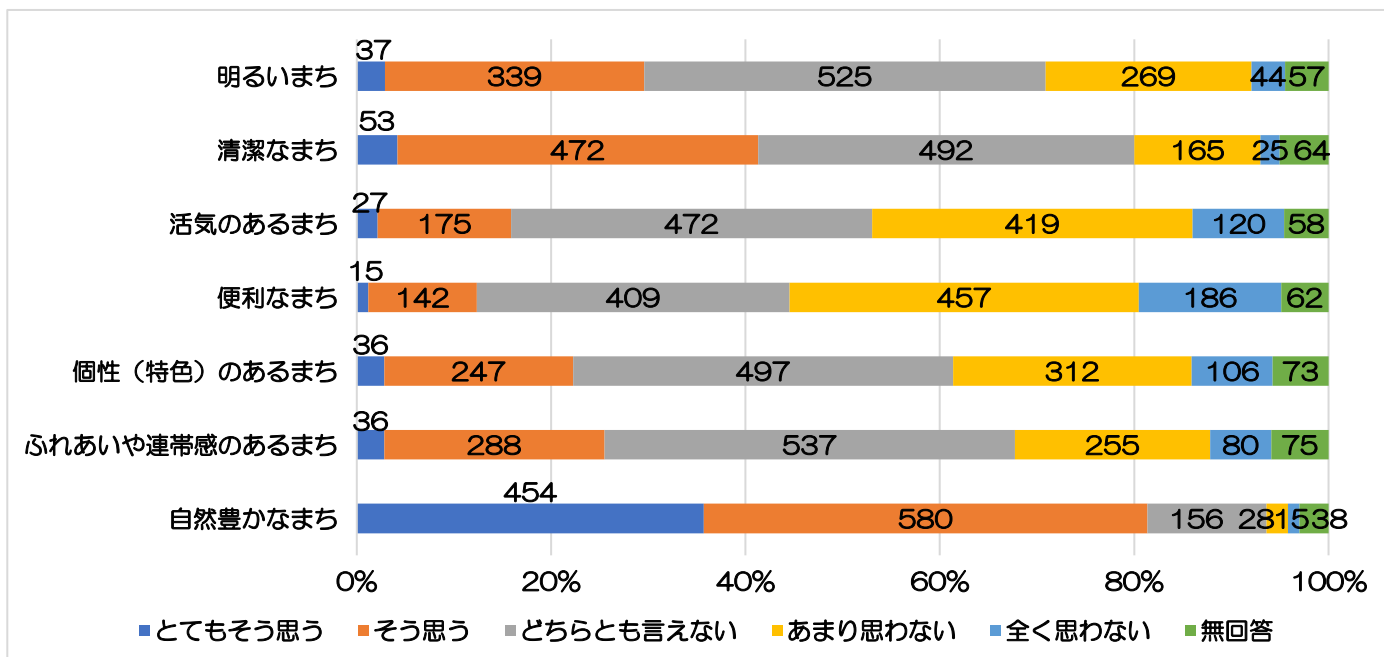
○居住年数は、30年以上が59%と高くなっています。

○世帯構成は、夫婦のみ世帯の割合が40%、2世代（親子）が32%、単身が21%となっています。

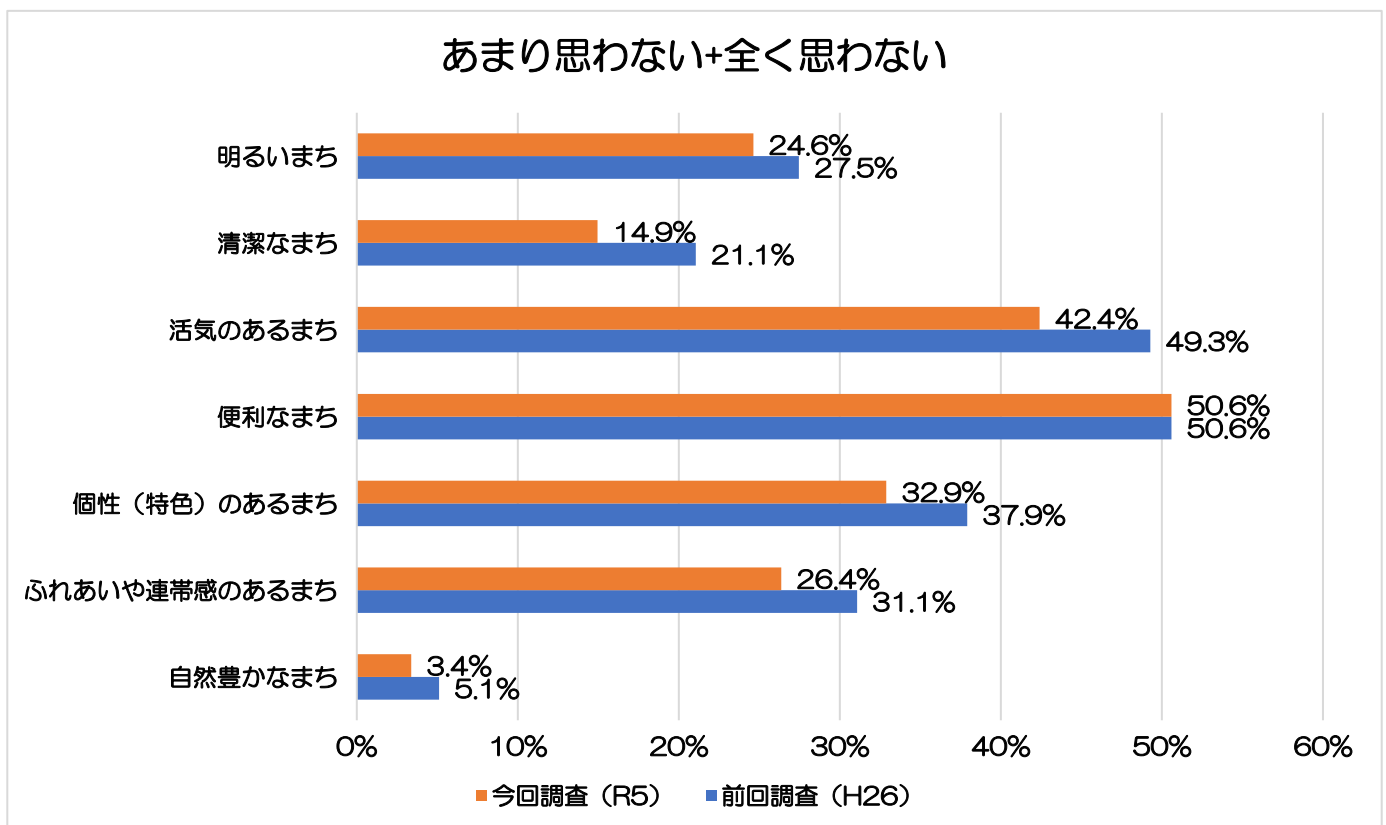
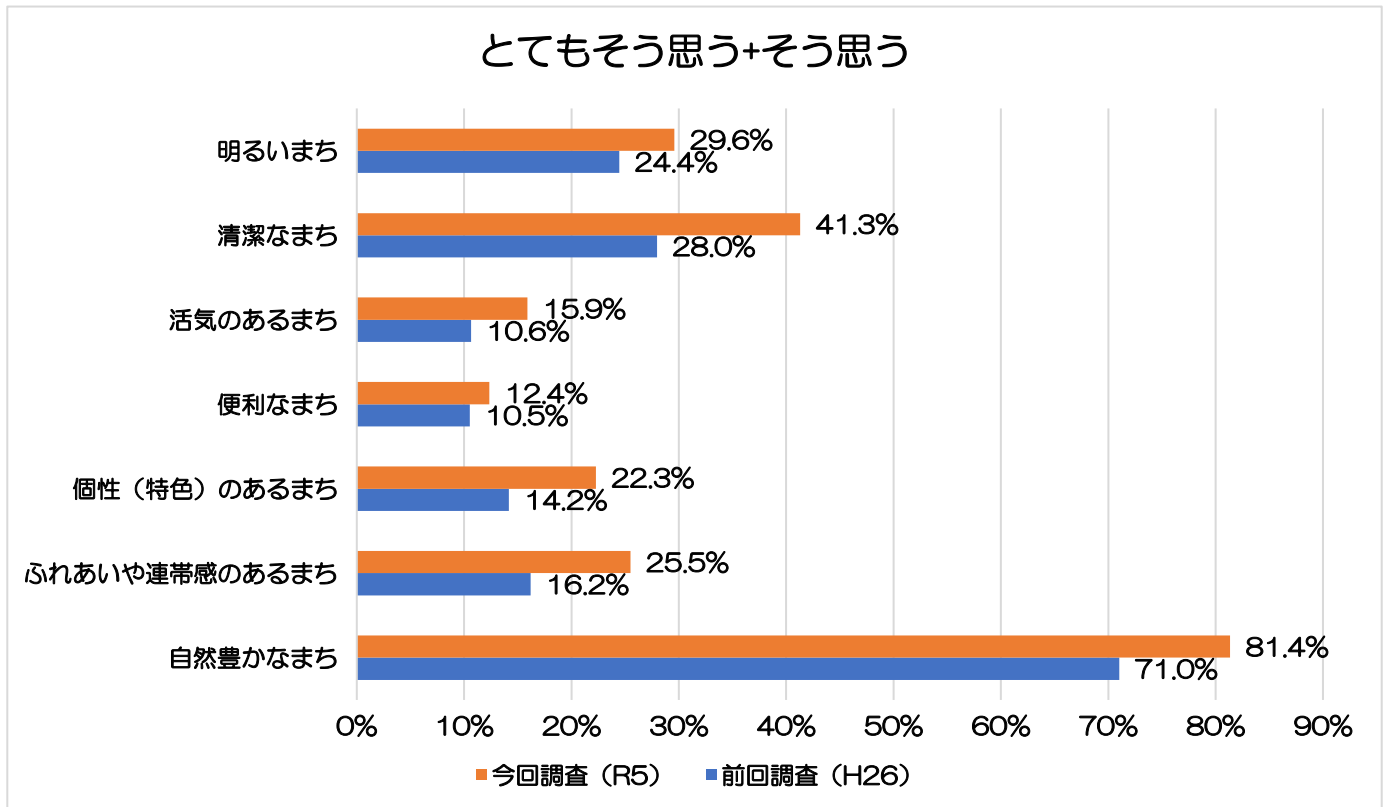
○職業別にみると、無職（退職）の割合が27%と高く、続いて公務・団体等勤務、農林漁業、家事専業、商業、サービス業となっています。

○今回の調査は、若年層の割合が低いものの、全体で1,200名超の回答がありました。性別・世帯構成別においても、概ね平均的な回答の割合であり、町内各層の意見を反映しているものと判断されます。

## 2. 足寄町のイメージについてお聞きします。



前回調査との比較

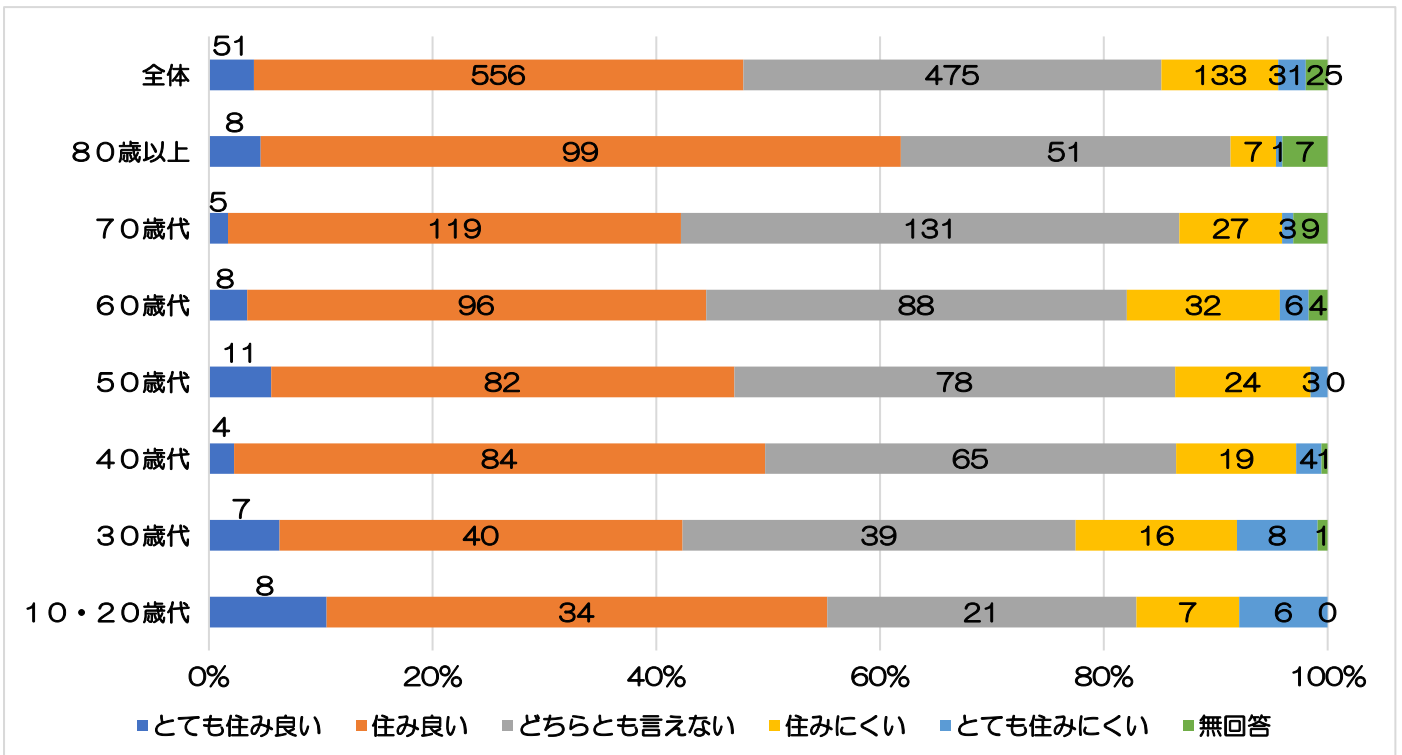


○足寄町のイメージは、「自然豊かなまち」が80%以上と最も高く、「便利なまち」、「活気のあるまち」が低くなっています。前回調査と比較すると、「とてもそう思う」、「そう思う」合わせた割合は、全ての項目で前回は上回っています。「あまり思わない」、「全く思わない」と答えた方の割合は、「便利なまち」を除いて前回は下回っています。

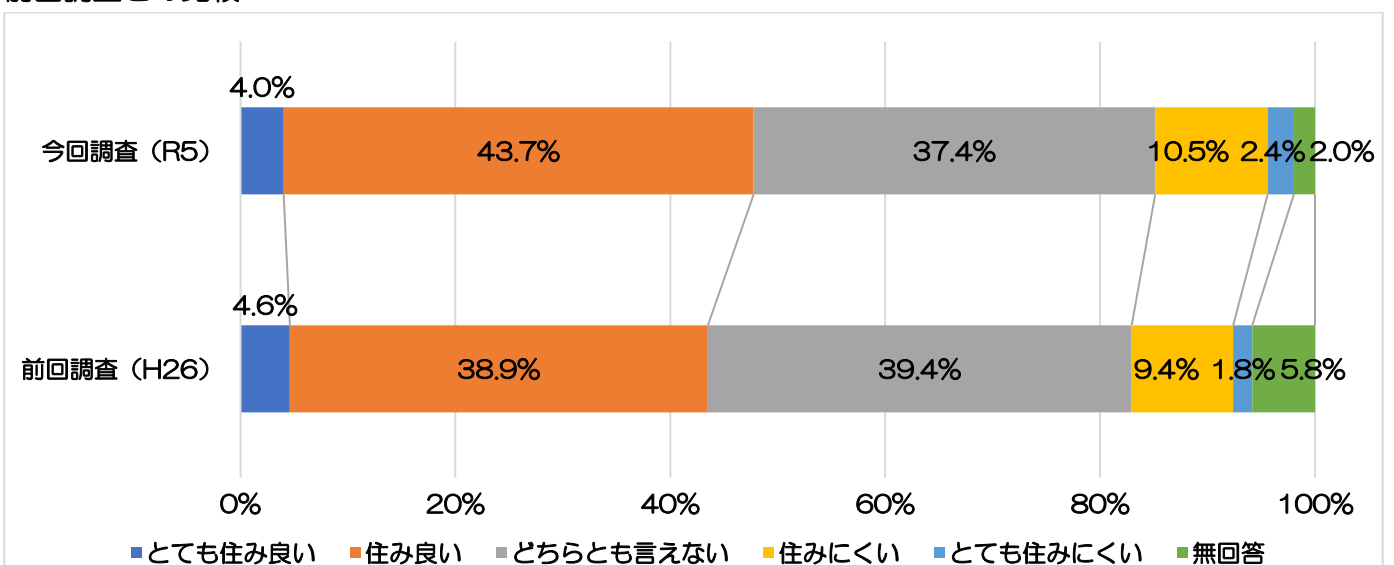
### 3. 住みごころ ～ 足寄町は住み良いまちだと思いますか？

	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	全体
とても住み良い	8	7	4	11	8	5	8	51
住み良い	34	40	84	82	96	119	99	556
どちらとも言えない	21	39	65	78	88	131	51	475
住みにくい	7	16	19	24	32	27	7	133
とても住みにくい	6	8	4	3	6	3	1	31
無回答	0	1	1	0	4	9	7	25

※全体には年齢無回答の方も含まれています。



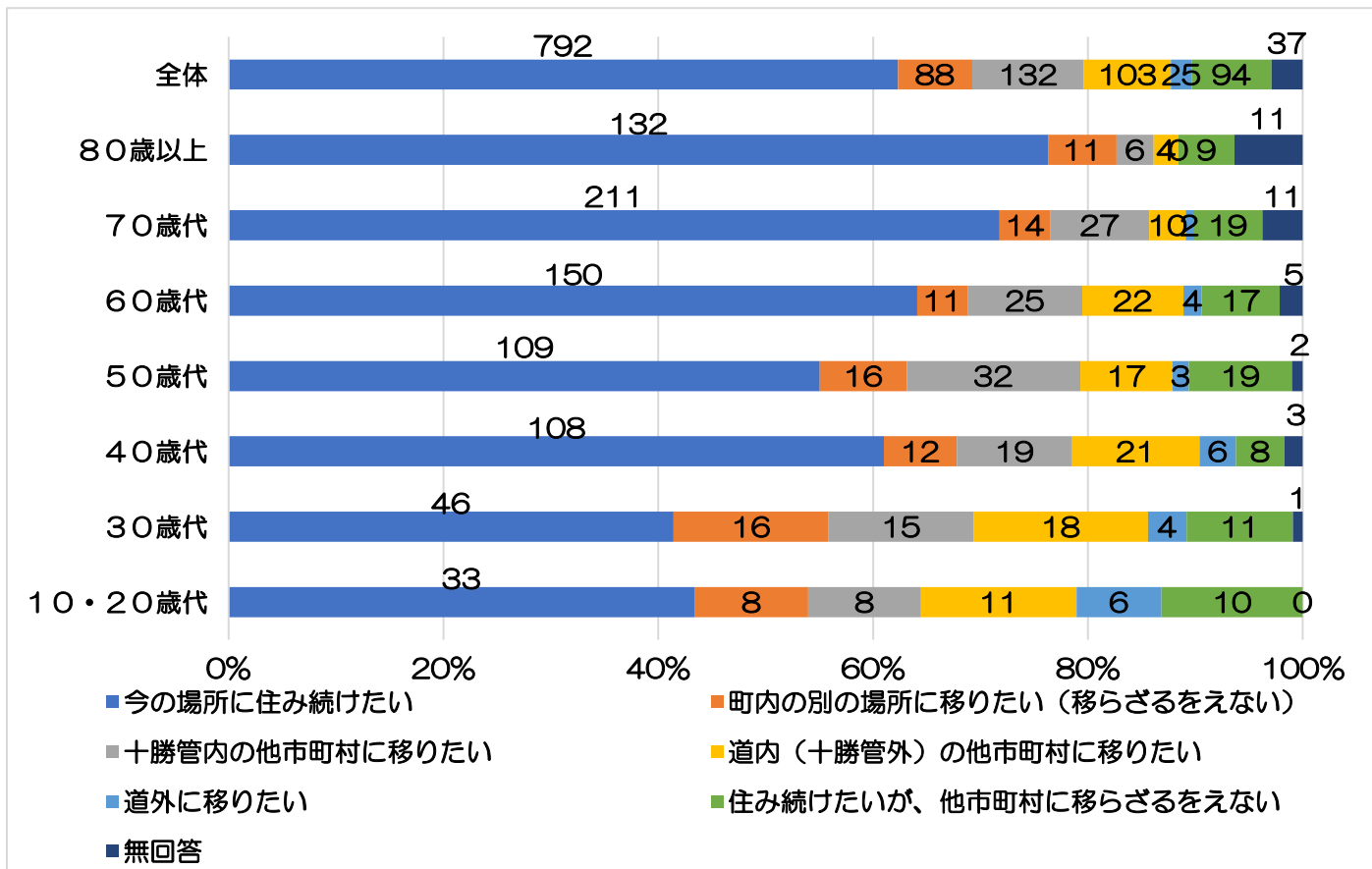
#### 前回調査との比較



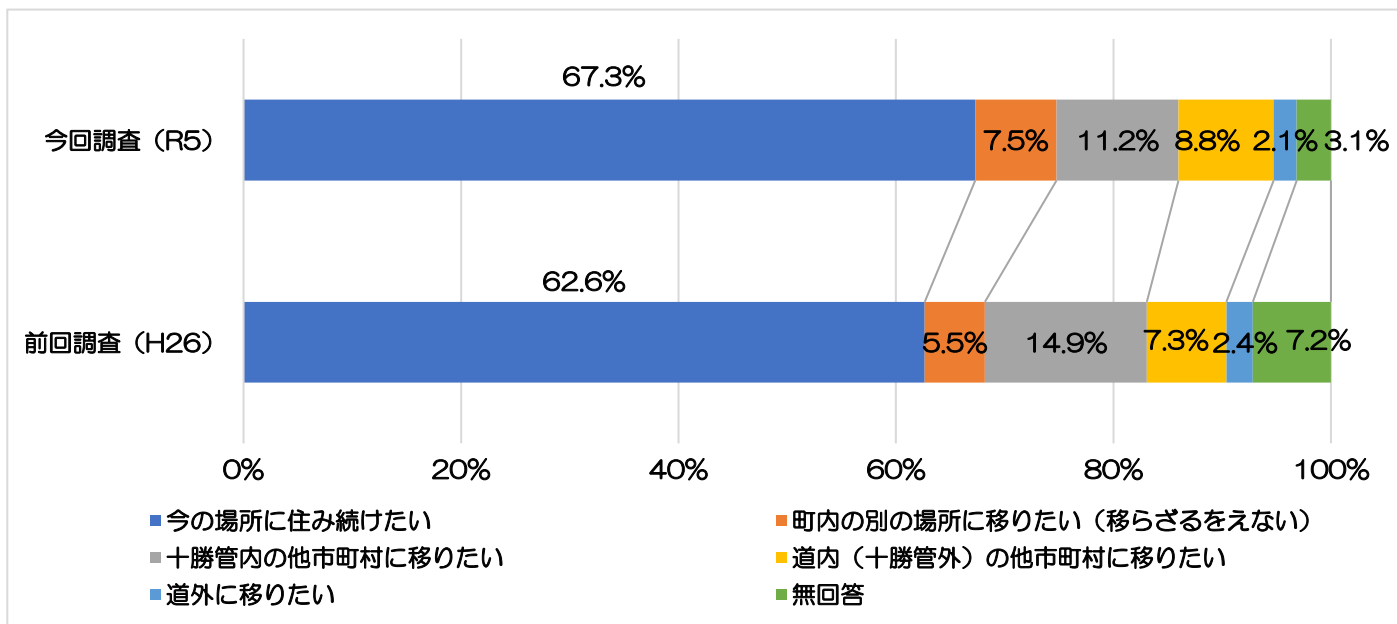
〇住みよいまちと思う方は、80歳代以上の方が多く、70歳代、30歳代の方は少なくなっています。前回調査と比較すると、「住み良い」と思う方の割合は増えています。

	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	全体
今の場所に住み続けたい	33	46	108	109	150	211	132	792
町内の別の場所に移りたい（移らざるをえない）	8	16	12	16	11	14	11	88
十勝管内の他市町村に移りたい	8	15	19	32	25	27	6	132
道内（十勝管外）の他市町村に移りたい	11	18	21	17	22	10	4	103
道外に移りたい	6	4	6	3	4	2	0	25
住み続けたいが、他市町村に移らざるをえない	10	11	8	19	17	19	9	94
無回答	0	1	3	2	5	11	11	37

※全体には年齢無回答の方も含まれています。

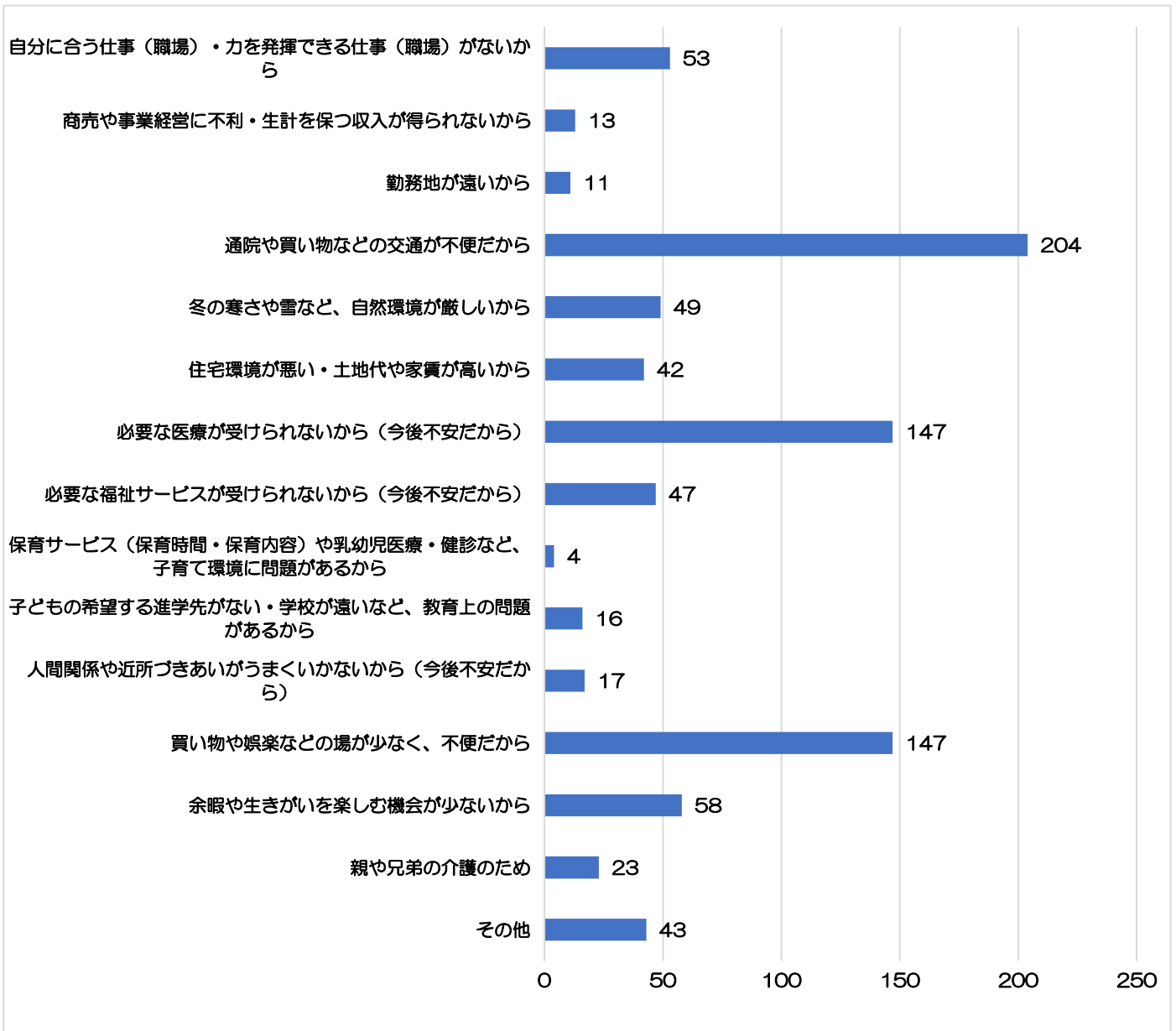


### 前回調査との比較



※「住み続けたいが、他市町村に移らざるをえない」は前回設問なし。

#### 4. 町外に移りたいと思う主な理由はどのようなことですか？



#### その他の内容

出身地に移る	1	まちづくり、外からの対応に不公平がある	1
自宅（持ち家）が町外にある	3	文化から遠い	1
仕事の都合	16	なにもないから、ウワサ好きが多いから	1
家族・子どもの近くで生活したい	7	活性化がない、人との交流が悪い	1
老後の生活に不安がある	1	ゴミの分別が細かすぎるから	1
騒音トラブル	1	通院や買い物が不便	1
町外で体験したい・やりたいことがある	1		

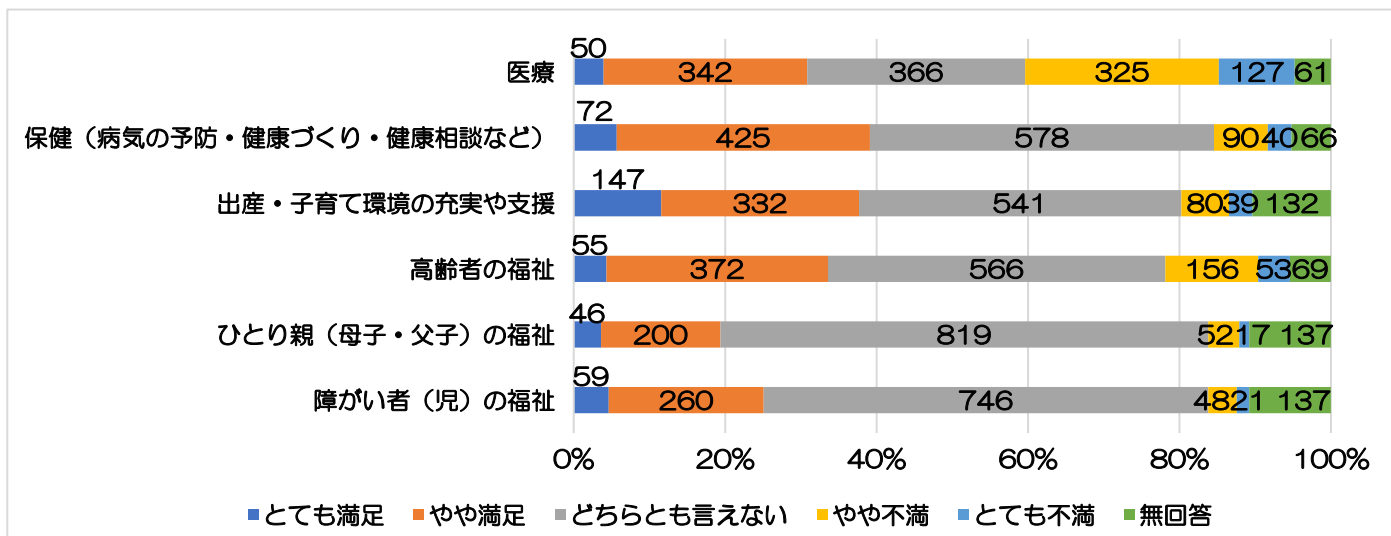
○定住の意向については、住みごころと同様に高齢の方は定住意向が強く、若年層は他の年齢層よりも少なくなっています。前回調査と比較すると、「住み続けたい」と思う方の割合は増えています。

○町外に移住したい主な理由としては、「通院や買い物などの交通が不便」、「医療の不安」、「買い物や娯楽などの場が少なく不便」が挙げられています。

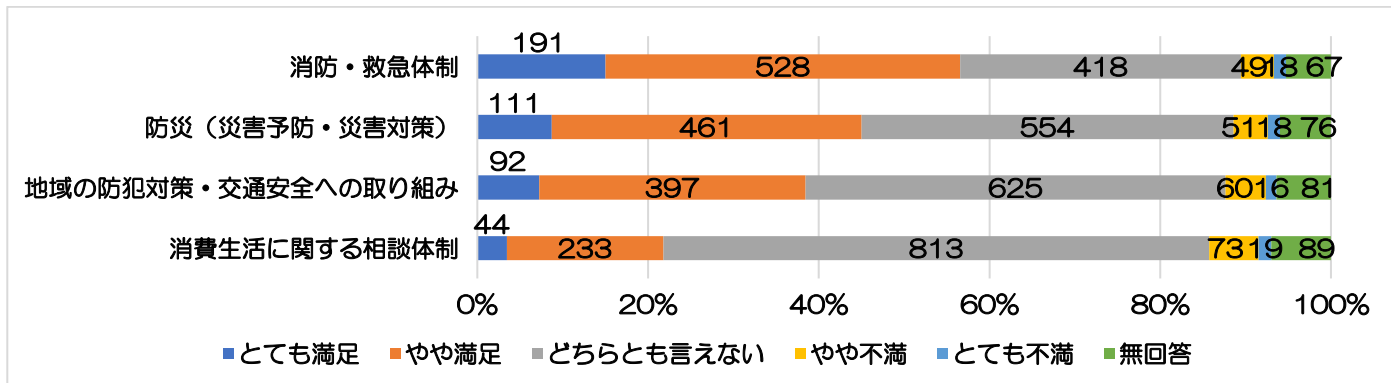
5. 足寄町の暮らしについて、各分野の現在の「満足度」、今後の「重要度」をお聞きます。

現在の【満足度】

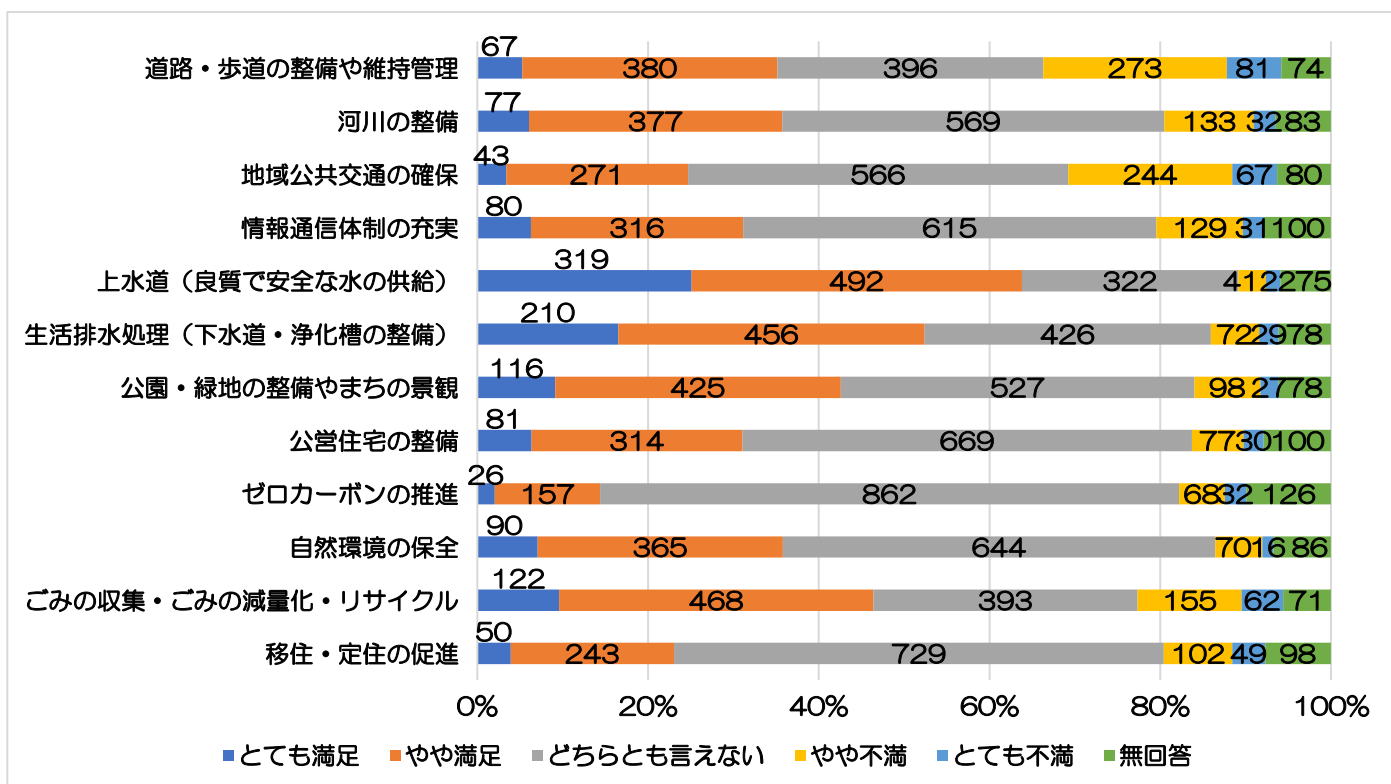
医療・保健・福祉・介護について



生活環境・安心・安全について

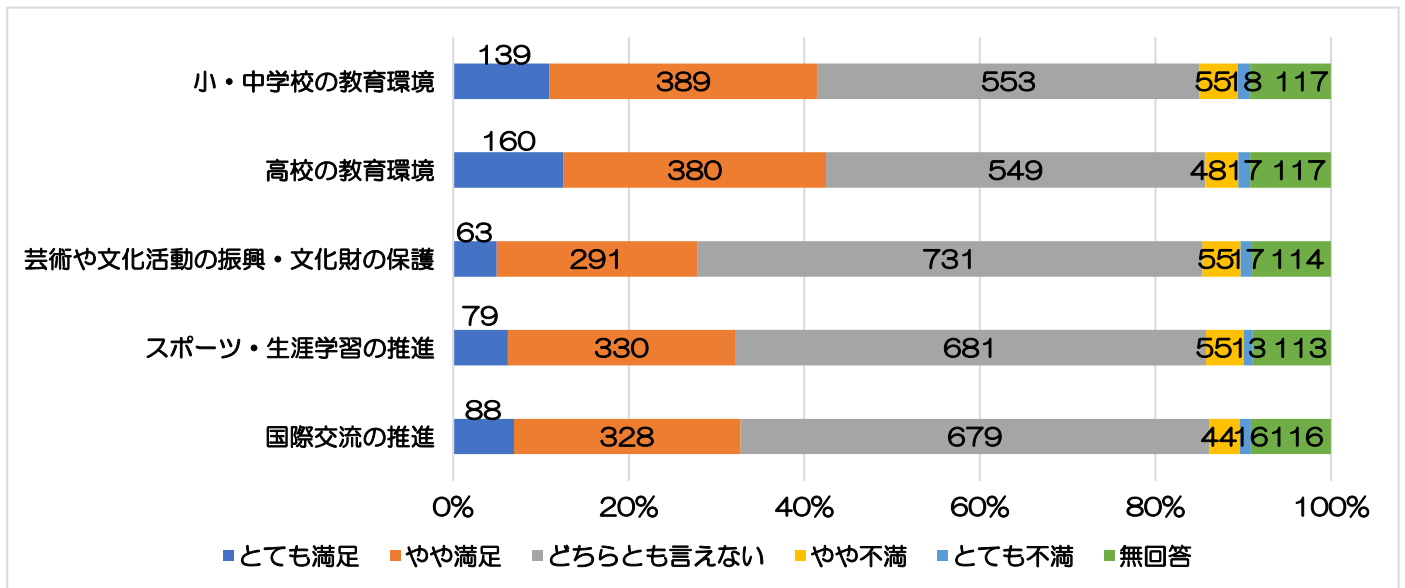


基盤整備・環境保全について

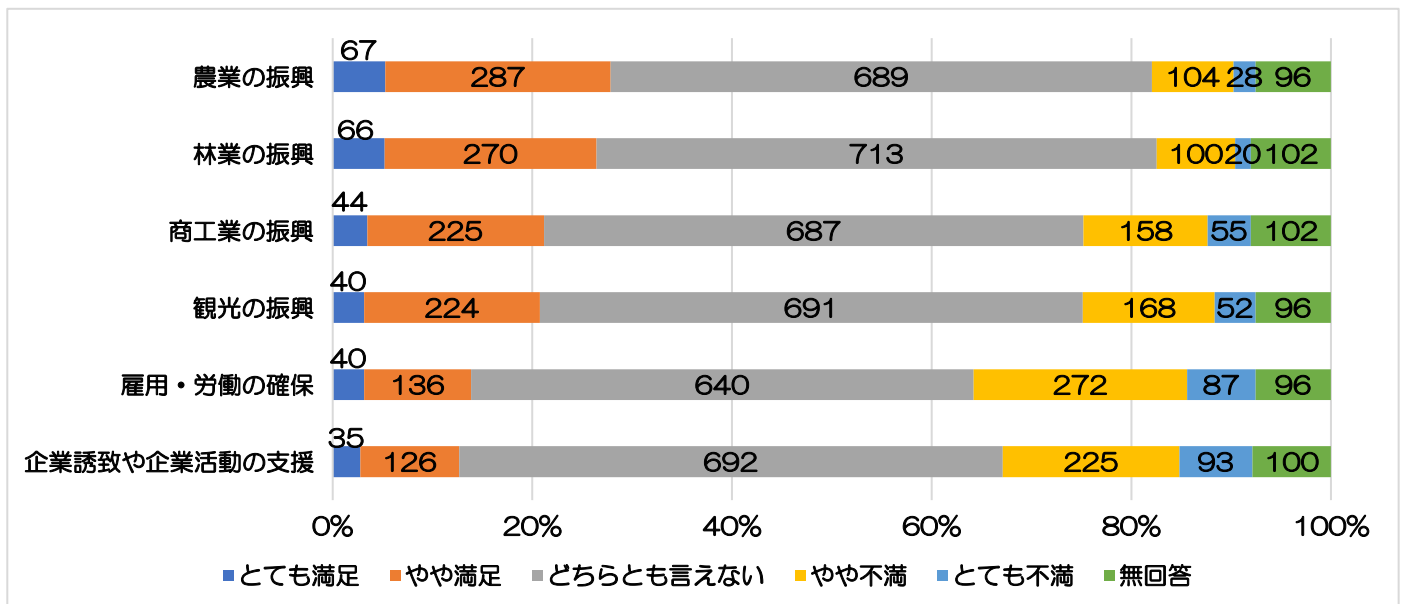




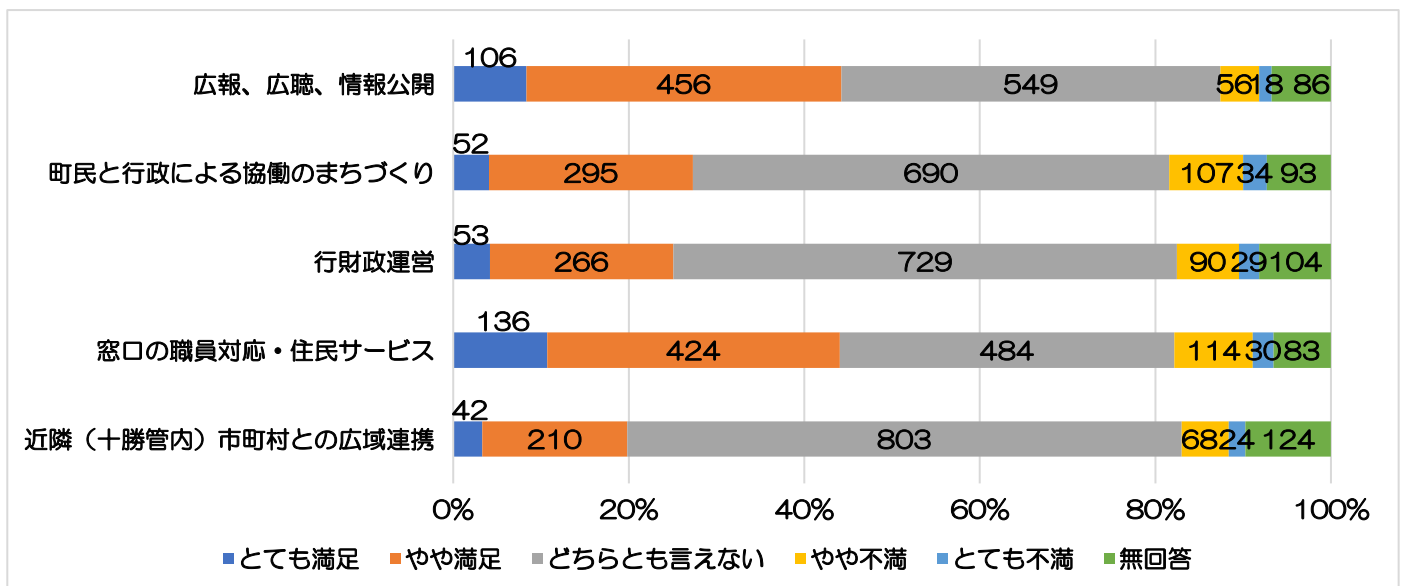
## 教育・文化・スポーツ・国際交流について



## 産業の振興について

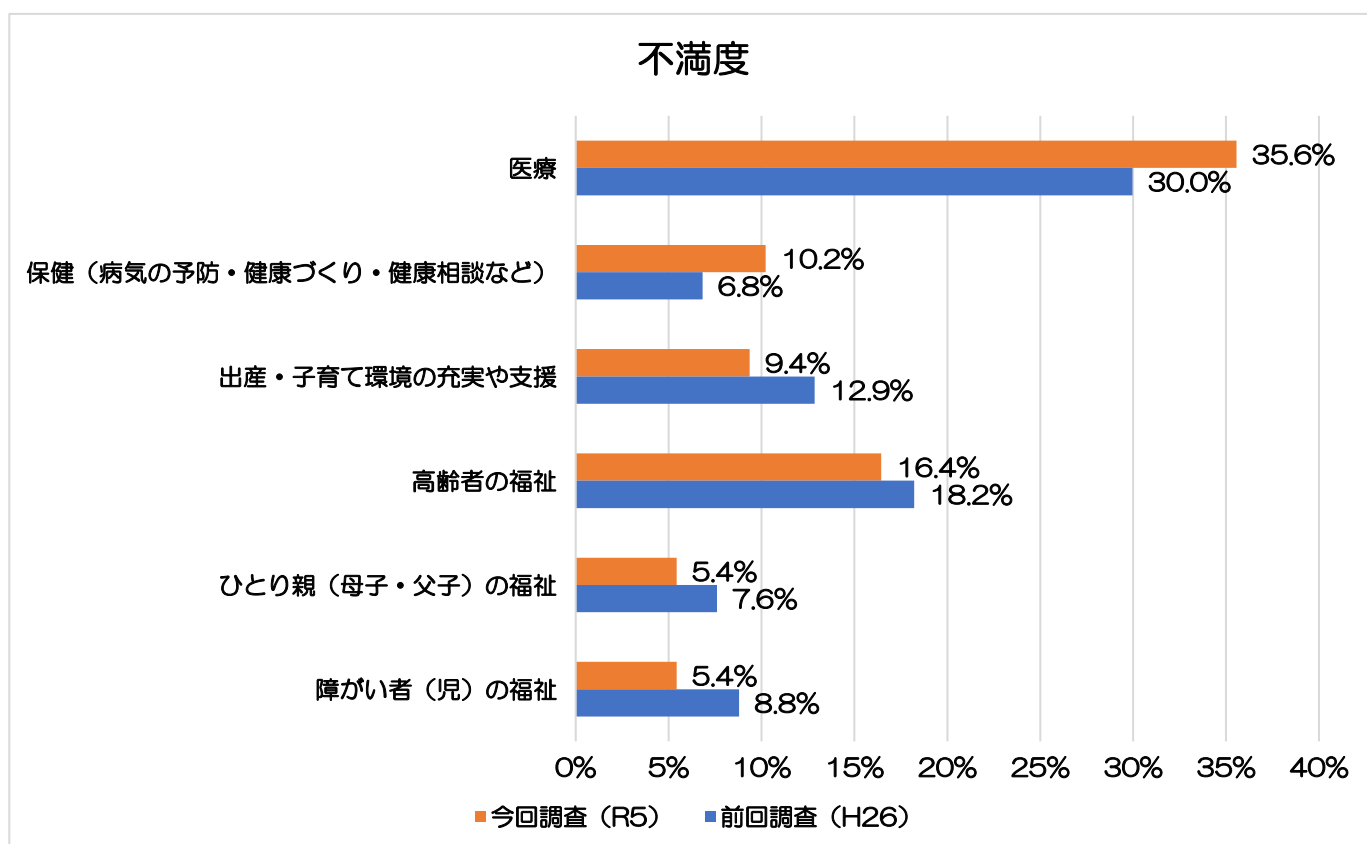
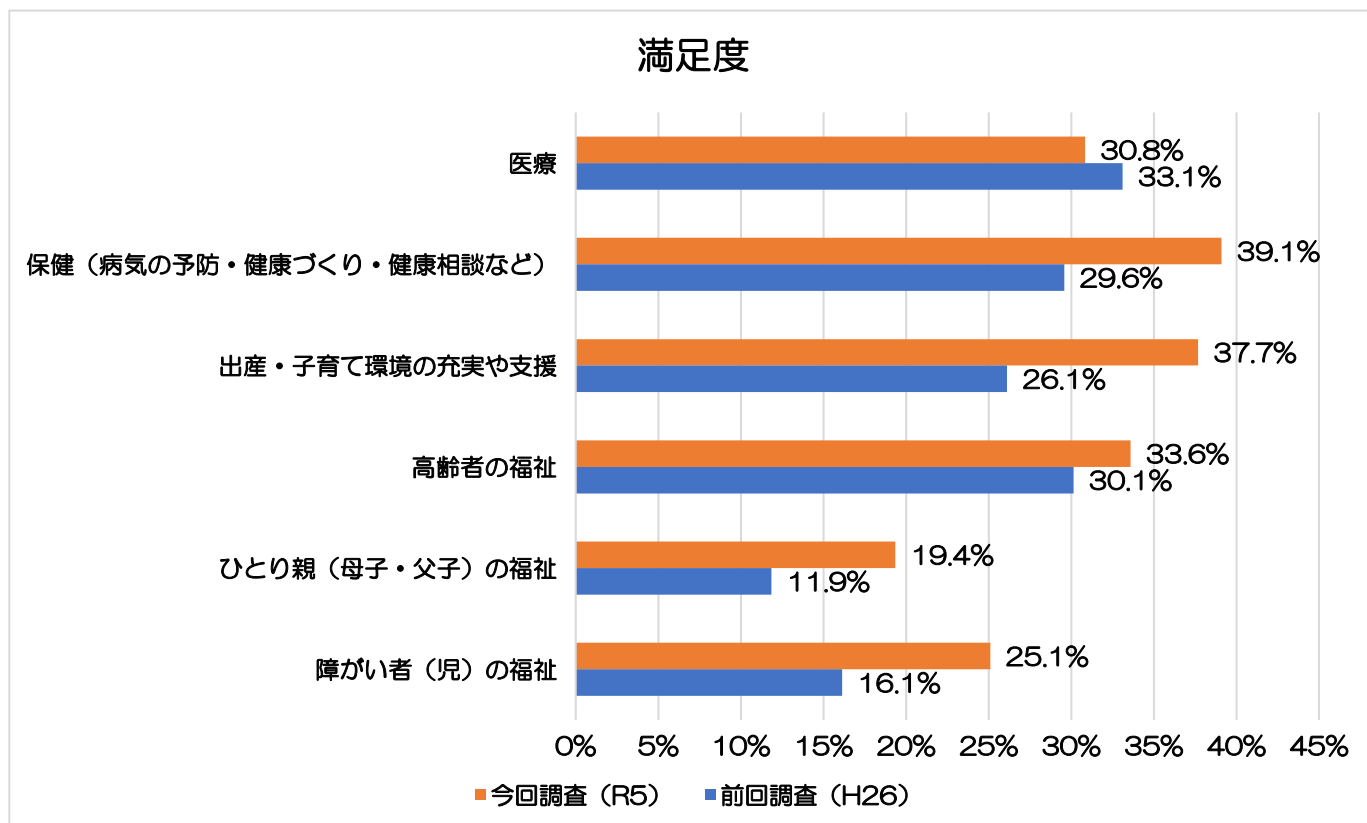


## 住民参加・住民協働・行財政運営について



前回調査との比較

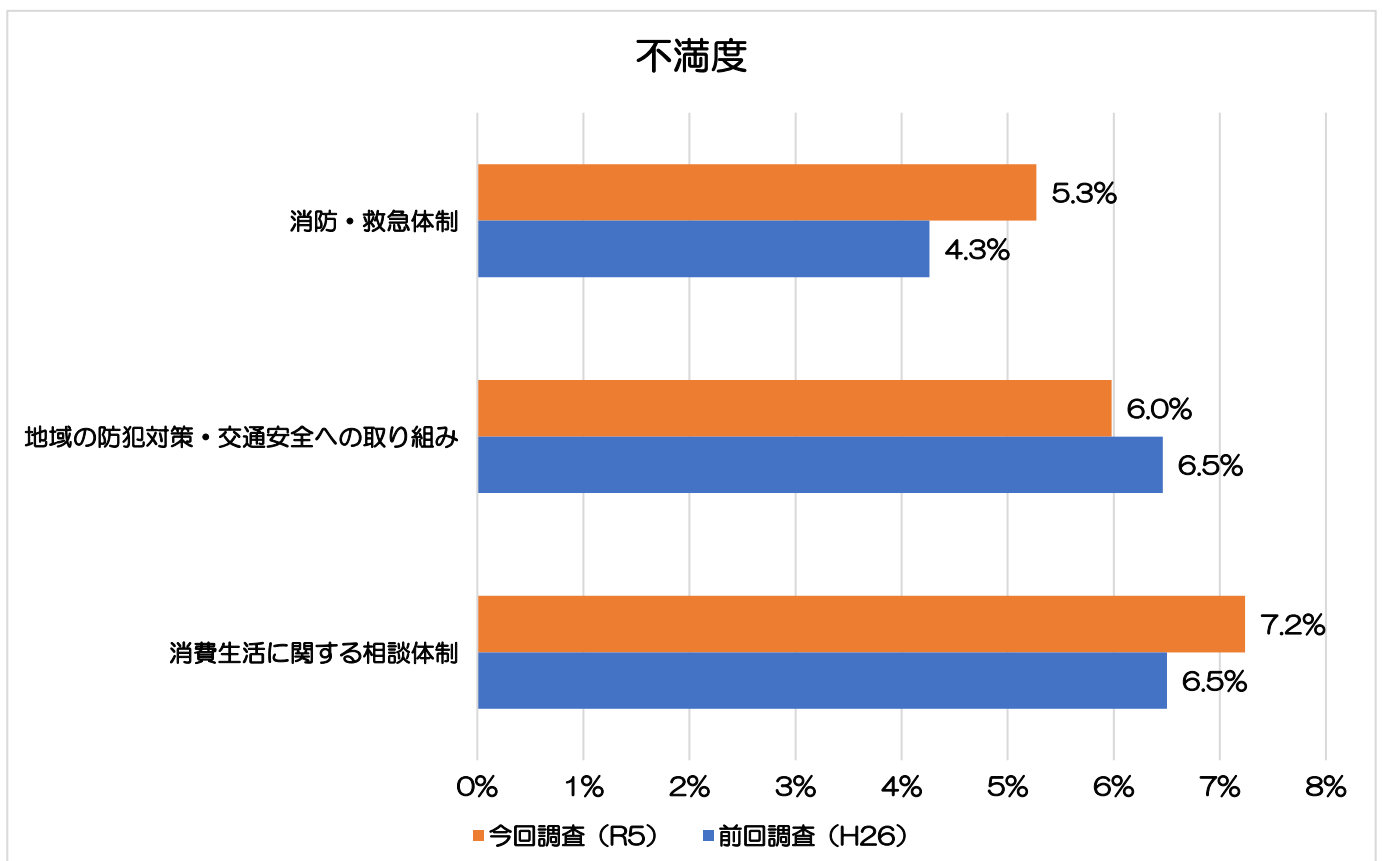
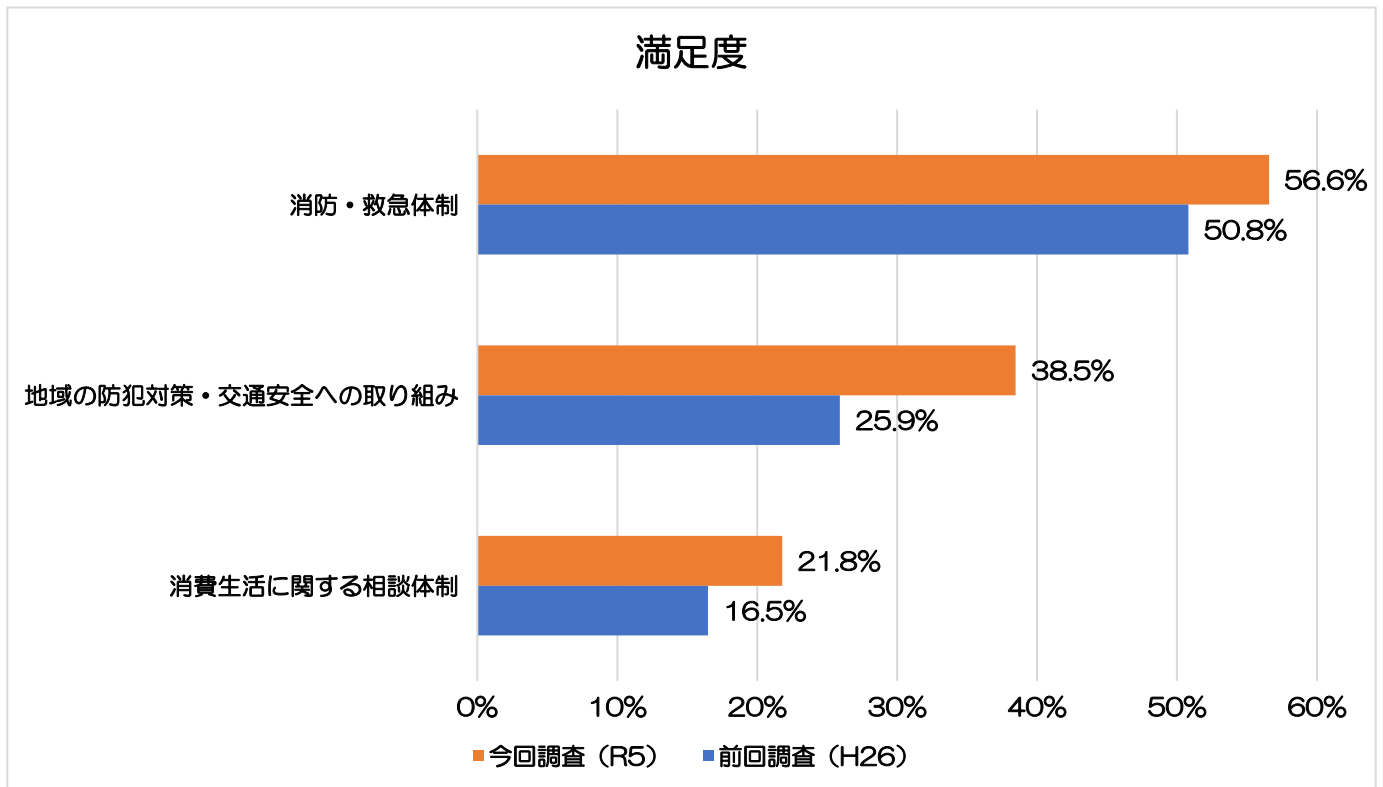
医療・保健・福祉・介護について



※「保健（病気の予防・健康づくり・健康相談など）」、「出産・子育て環境の充実や支援」は、前回調査時の設問から一部変更しているため、純粋な比較となっていません。

「健康づくり」 → 「保健（病気の予防・健康づくり・健康相談など）」

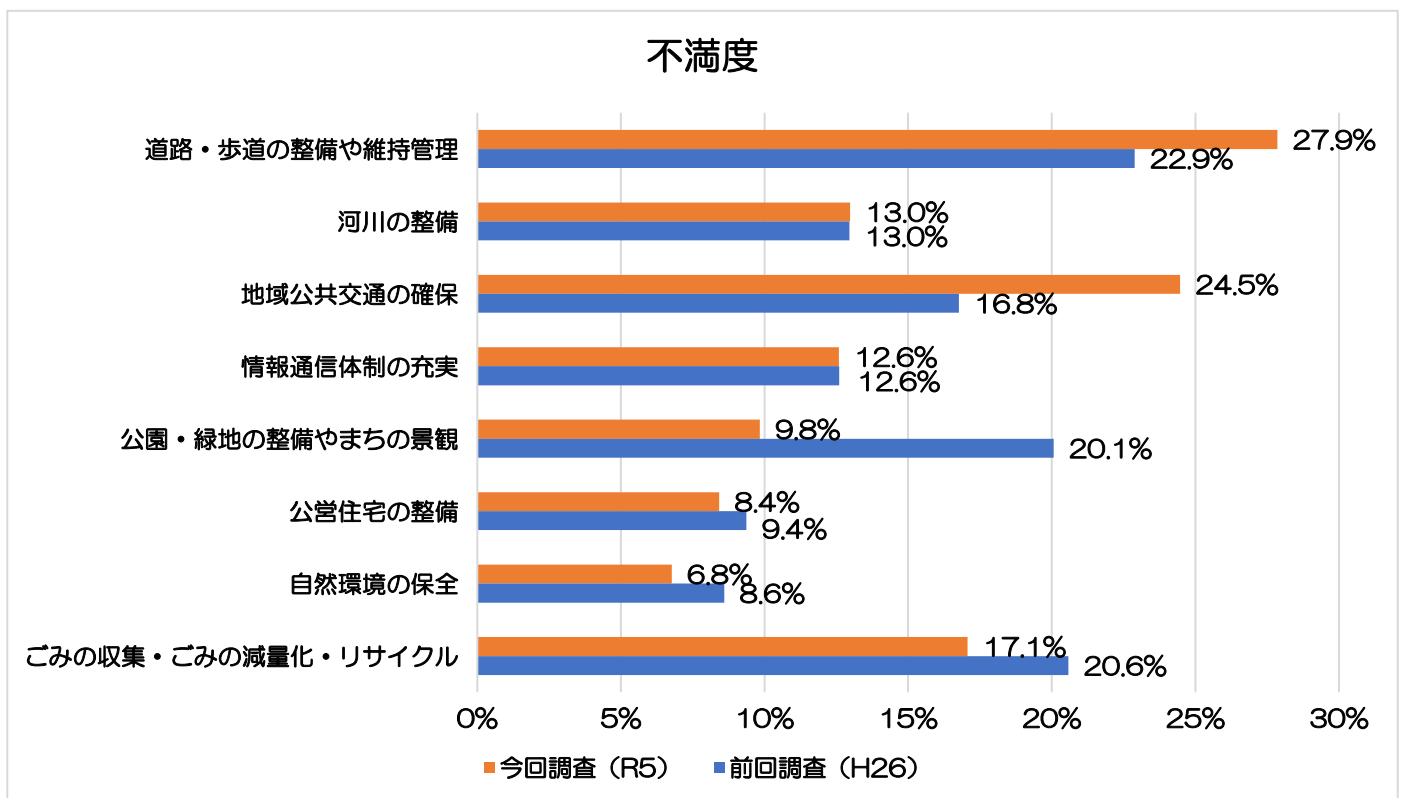
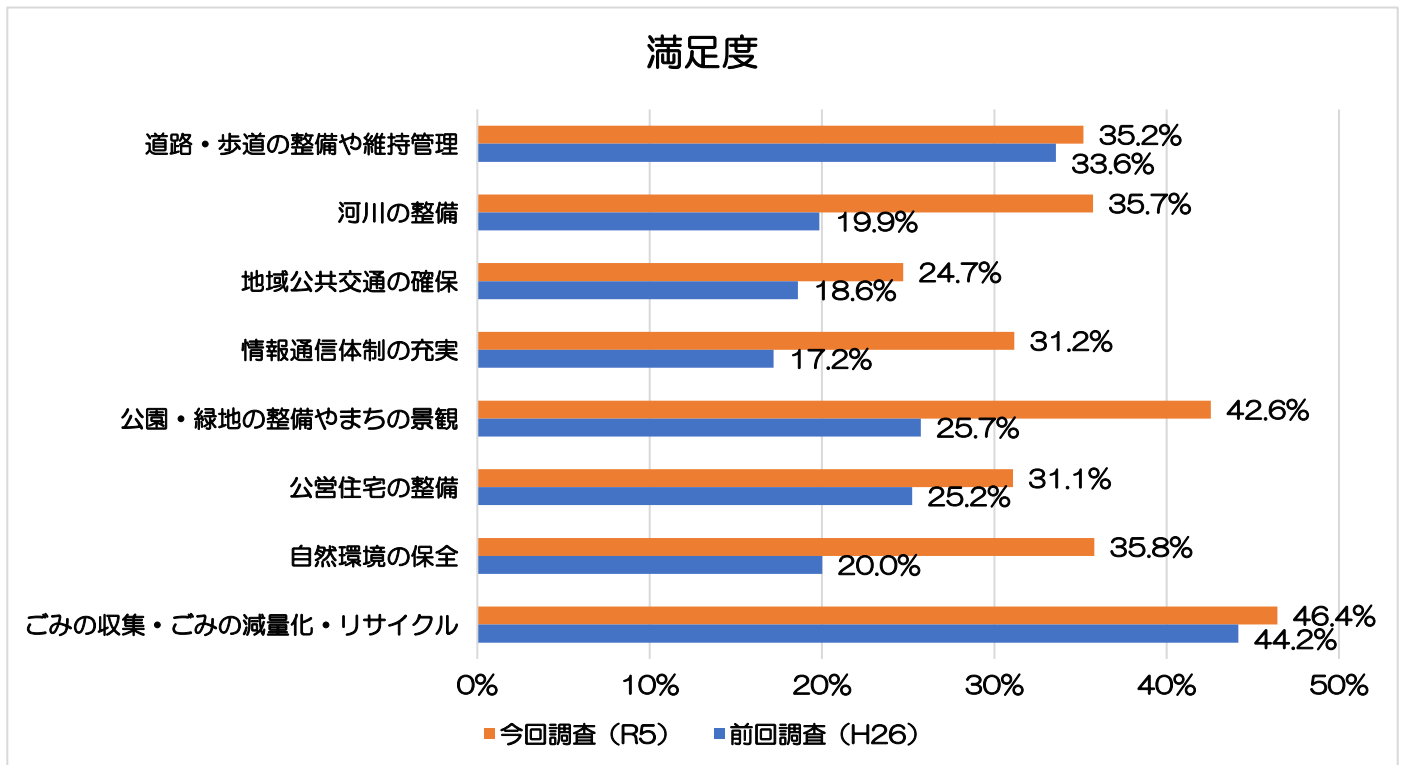
「子育て環境の充実や支援」 → 「出産・子育て環境の充実や支援」



※「防災（災害予防・災害対策）」は、前回設問なし。

※「地域の防犯対策・交通安全の取り組み」の前回調査数値は、前回調査では「地域の防犯対策」「交通安全の取り組み」で設問を分けており、合算した数値としているため、純粋な比較となっていません。

基盤整備・環境保全について



※「道路・歩道の整備や維持管理」、「ごみの収集・ごみの減量化・リサイクル」は、前回調査時の設問から一部変更しているため、純粋な比較となっていません。

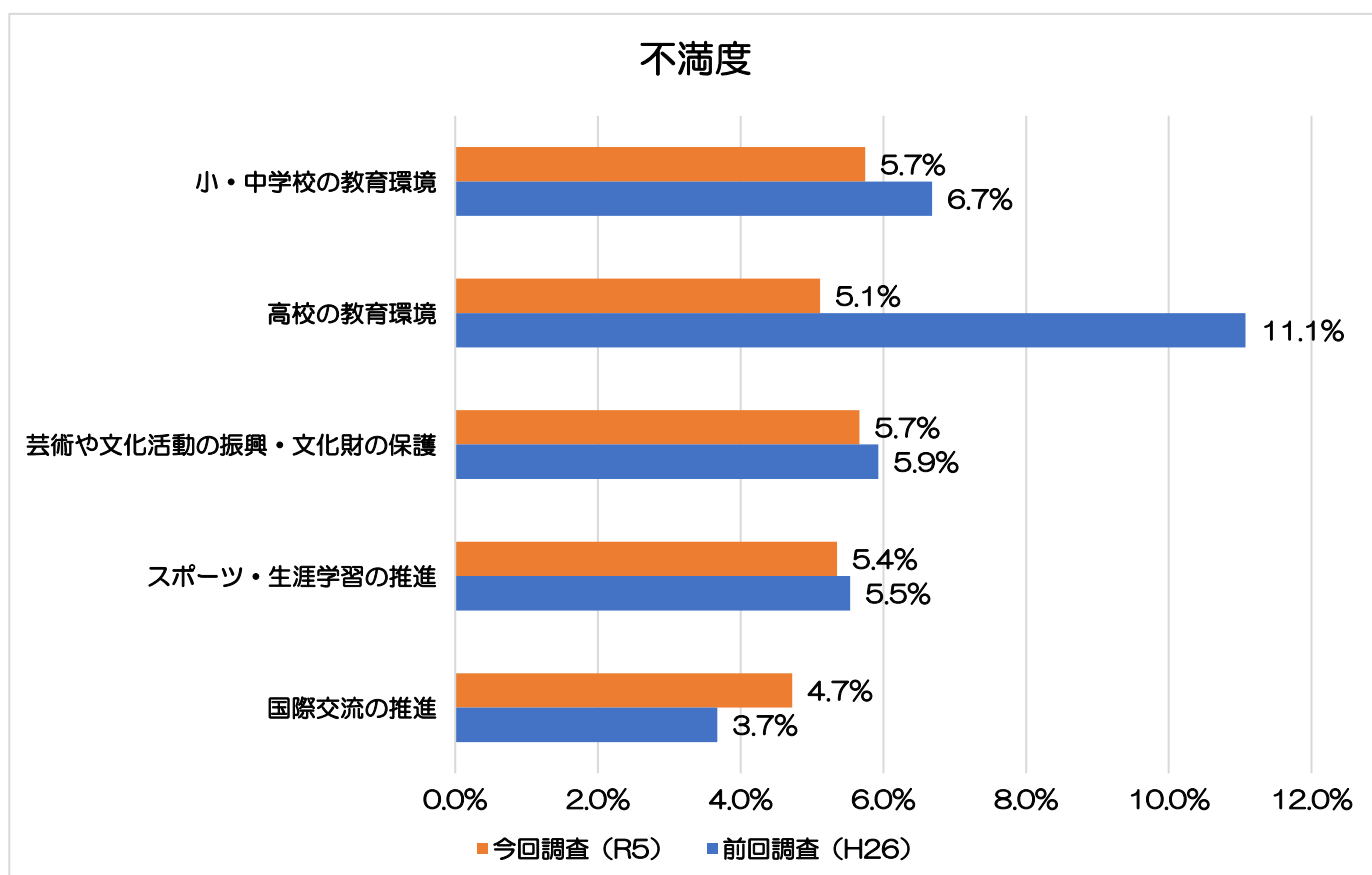
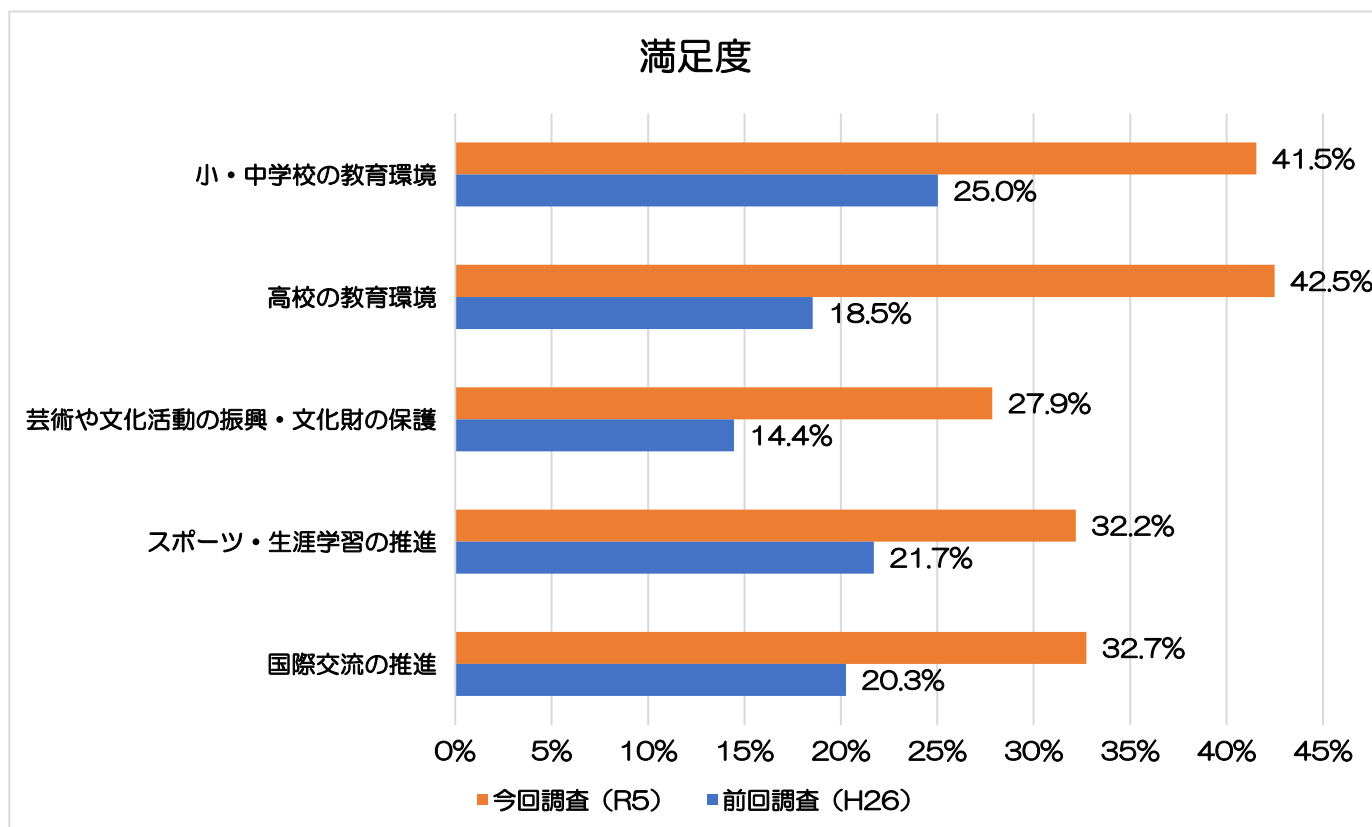
「道路の整備・維持管理」 → 「道路・歩道の整備や維持管理」

「ごみの収集・リサイクル」 → 「ごみの収集・ごみの減量化・リサイクル」

※「公園・緑地の整備やまちの景観」の前回調査数値は、前回調査では「市街地整備やまちの景観」「公園の整備」で設問を分けており、合算した数値としているため、純粋な比較となっていません。

※「上水道（良質で安全な水の供給）」「生活排水処理（下水道・浄化槽の整備）」「ゼロカーボンの推進」「移住・定住の促進」は、前回設問なし。

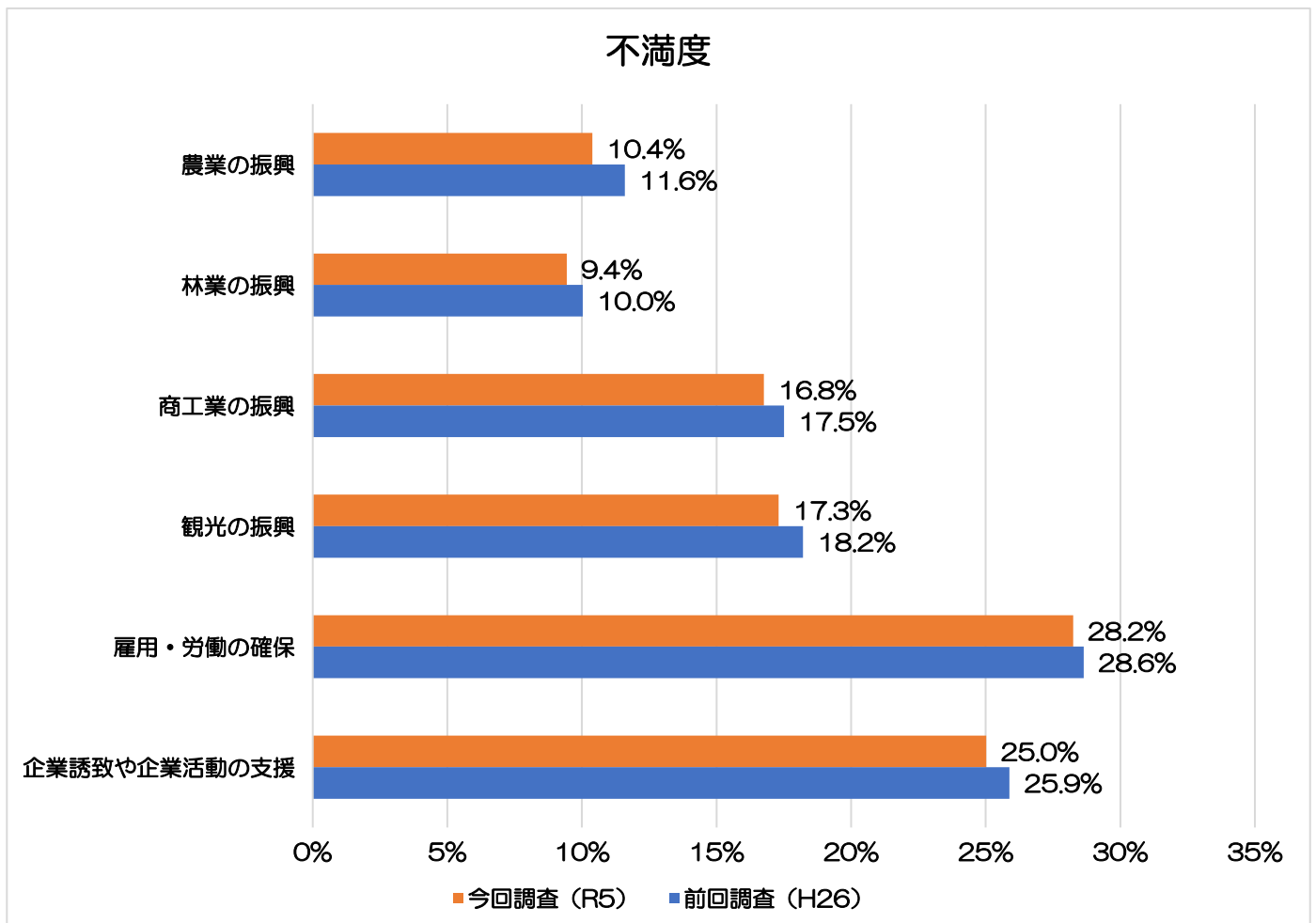
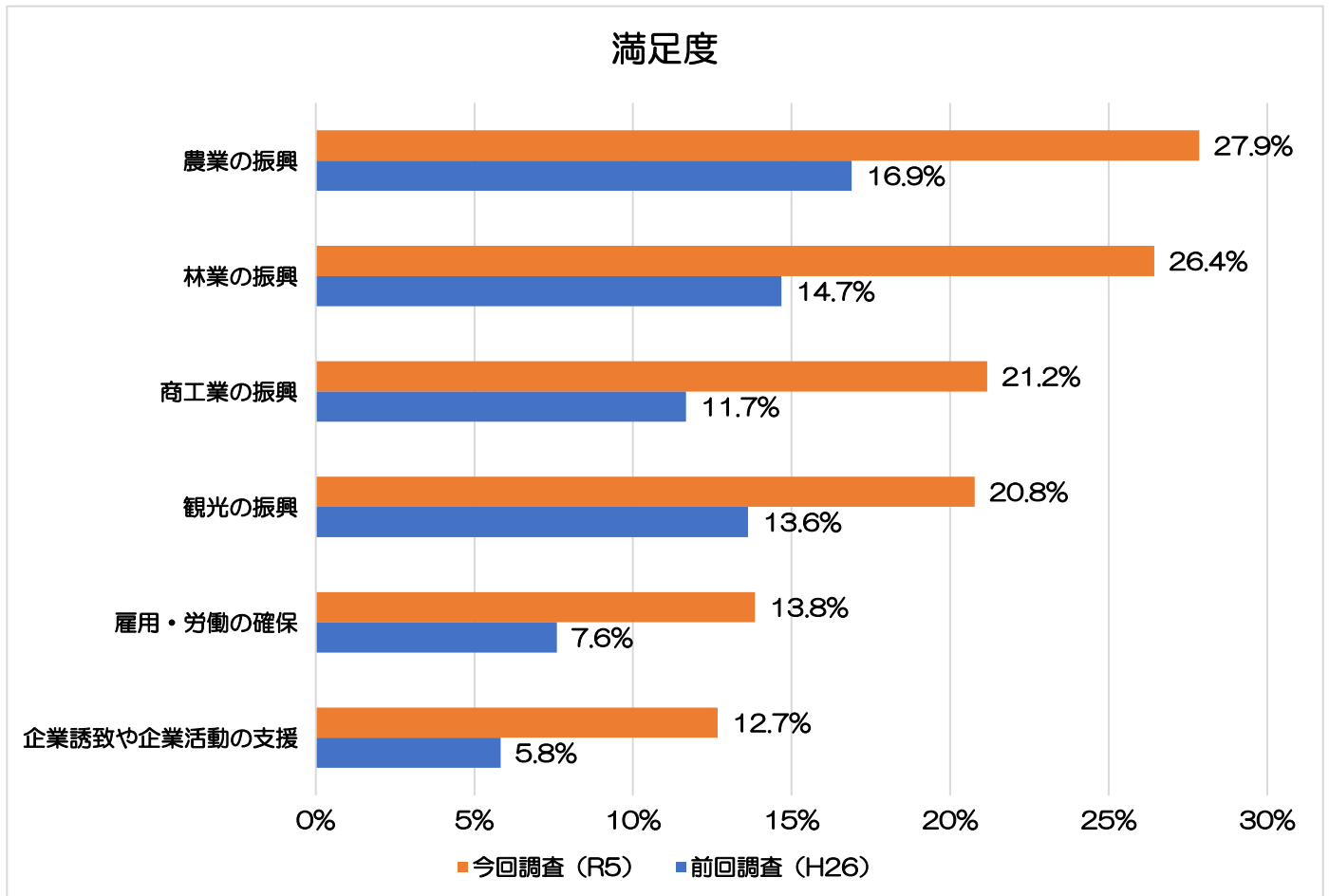
## 教育・文化・スポーツ・国際交流について



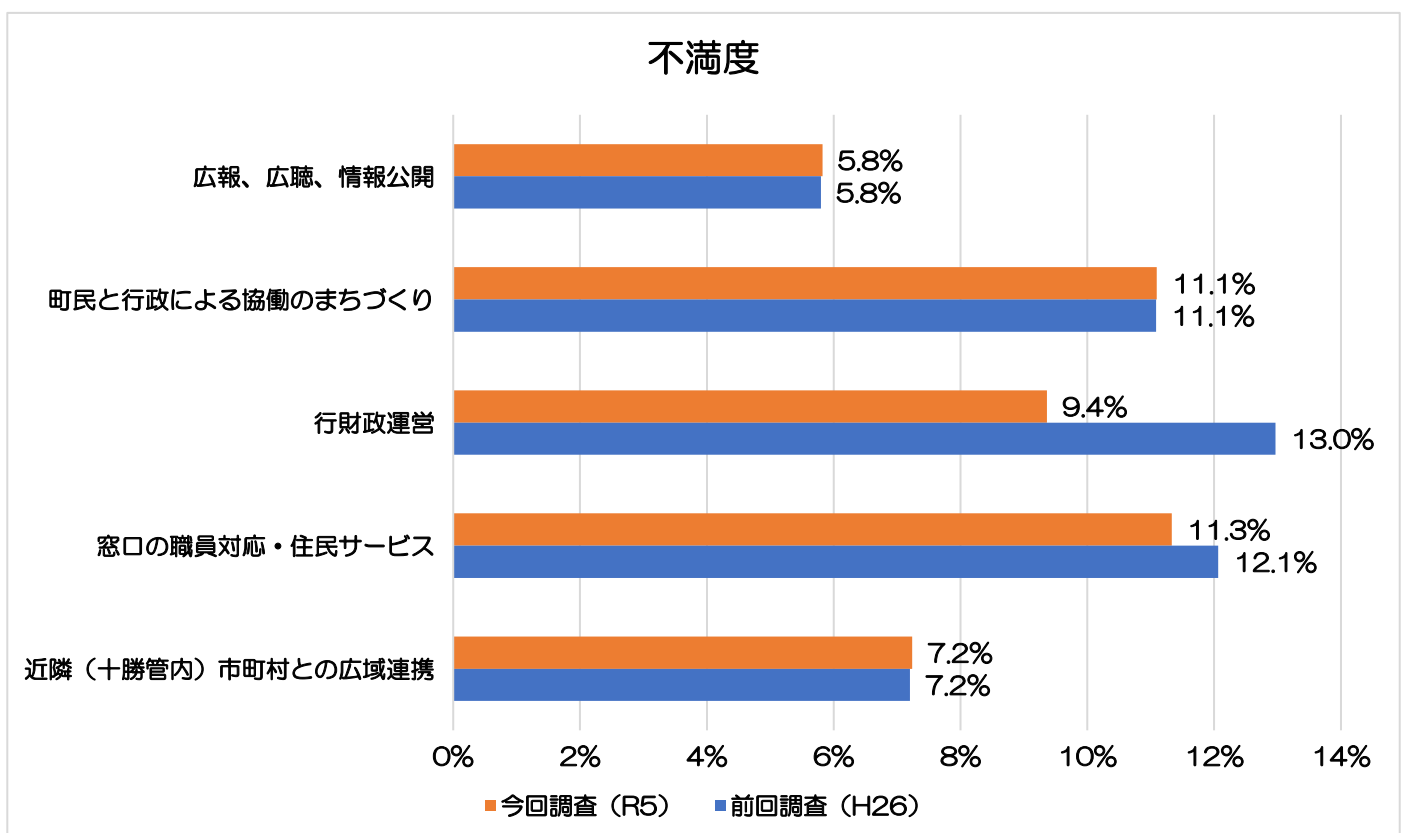
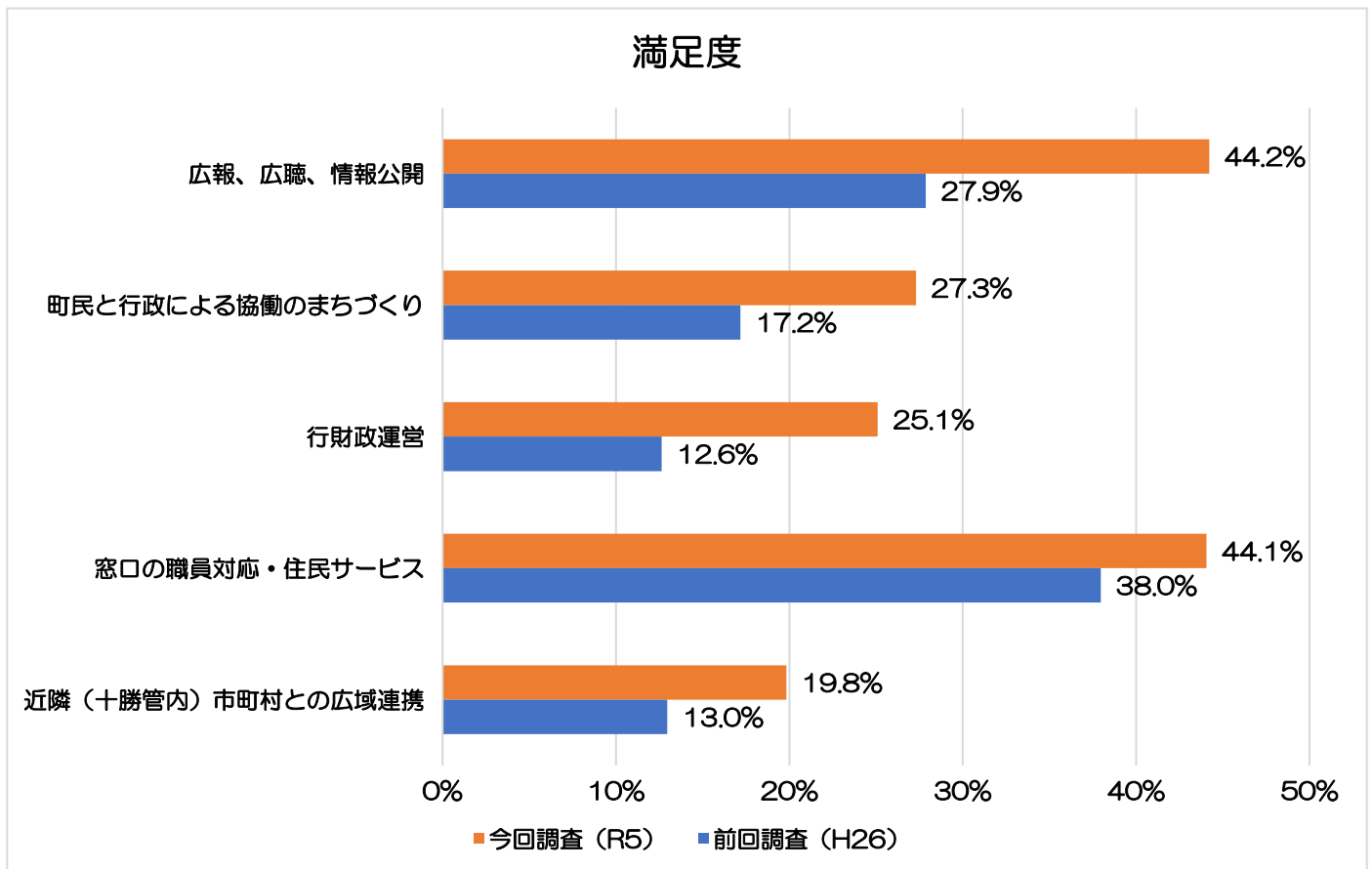
※「芸術や文化活動の振興・文化財の保護」の前回調査数値は、前回調査では「芸術・文化活動の振興」「文化財の保護」で設問を分けており、合算した数値としているため、純粋な比較となっていません。

※「スポーツ・生涯学習の振興」の前回調査数値は、前回調査では「スポーツ活動の推進」「生涯学習の情報や機会の提供」で設問を分けており、合算した数値としているため、純粋な比較となっていません。

産業の振興について



住民参加・住民協働・行財政運営について



※「広報、広聴、情報公開」の前回調査数値は、前回調査では「広報紙やホームページの情報提供」「情報公開」で設問を分けており、合算した数値としているため、純粋な比較となっていません。

※「行財政運営」は、前回調査時の設問から一部変更しているため、純粋な比較となっていません。

「行財政改革」 → 「行財政運営」

現在の暮らしにおける各分野の【満足度】

○医療・保健・福祉・介護については、保健（病気の予防・健康づくり・健康相談など）、出産・子育て環境の充実や支援についての満足度が高くなっています。前回調査と比較すると、医療を除き、満足度は上がっています。また、医療、保健（病気の予防・健康づくり・健康相談など）を除き不満度は下がっています。

○生活環境・安心・安全については、消防・救急体制の満足度の割合が50%超と高くなっています。前回調査と比較すると、全体的に満足度は上がっています。一方で、消防・救急体制、消費生活に関する相談体制の不満足度は上がっています。

○基盤整備・環境保全については、上水道、生活排水処理について満足度が50%超と高い一方、道路・歩道の整備や維持管理、地域公共交通の確保についての不満が高くなっています。前回調査と比較すると、全体的に満足度は上がっています。また、道路・歩道の整備や維持管理、地域公共交通の確保を除き不満度は下がっています。

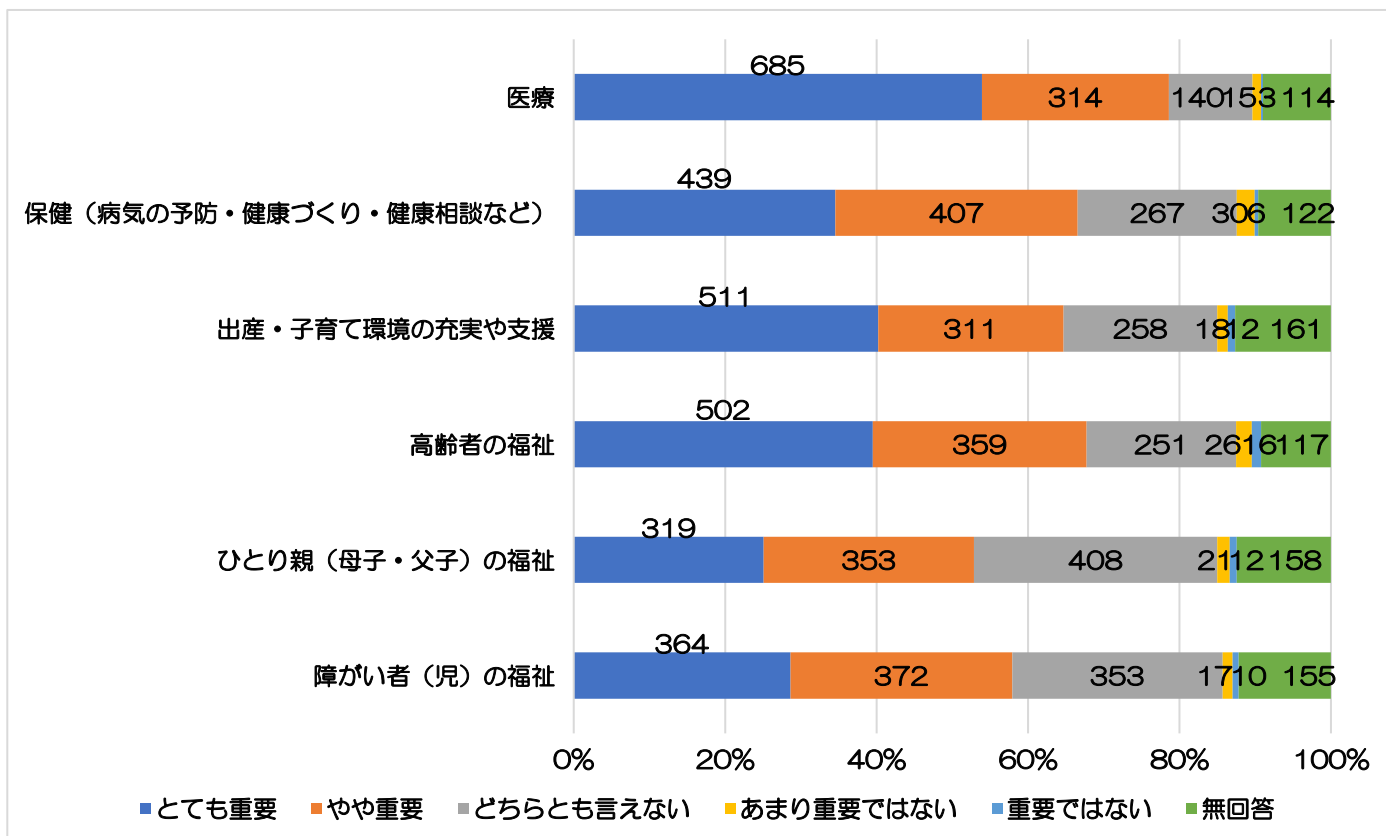
○教育・文化・スポーツ・国際交流については、小中学校の教育環境より高校の教育環境の満足度が高くなっています。前回調査と比較すると、全体的に満足度は上がっています。また、国際交流の推進を除き不満度は下がっています。

○産業の振興については、農業・林業・商工業の振興に比べ、観光の振興の満足度が低くなっています。また、雇用・労働の確保、企業誘致や企業活動の支援の不満が高くなっています。前回調査と比較すると、全体的に満足度は上がっており、不満度は下がっています。

○住民参加・住民協働・行財政運営については、窓口の職員対応・住民サービス、広報、広聴、情報公開の満足度が高くなっています。前回調査と比較すると、全体的に満足度は上がっており、不満度も下がっています。

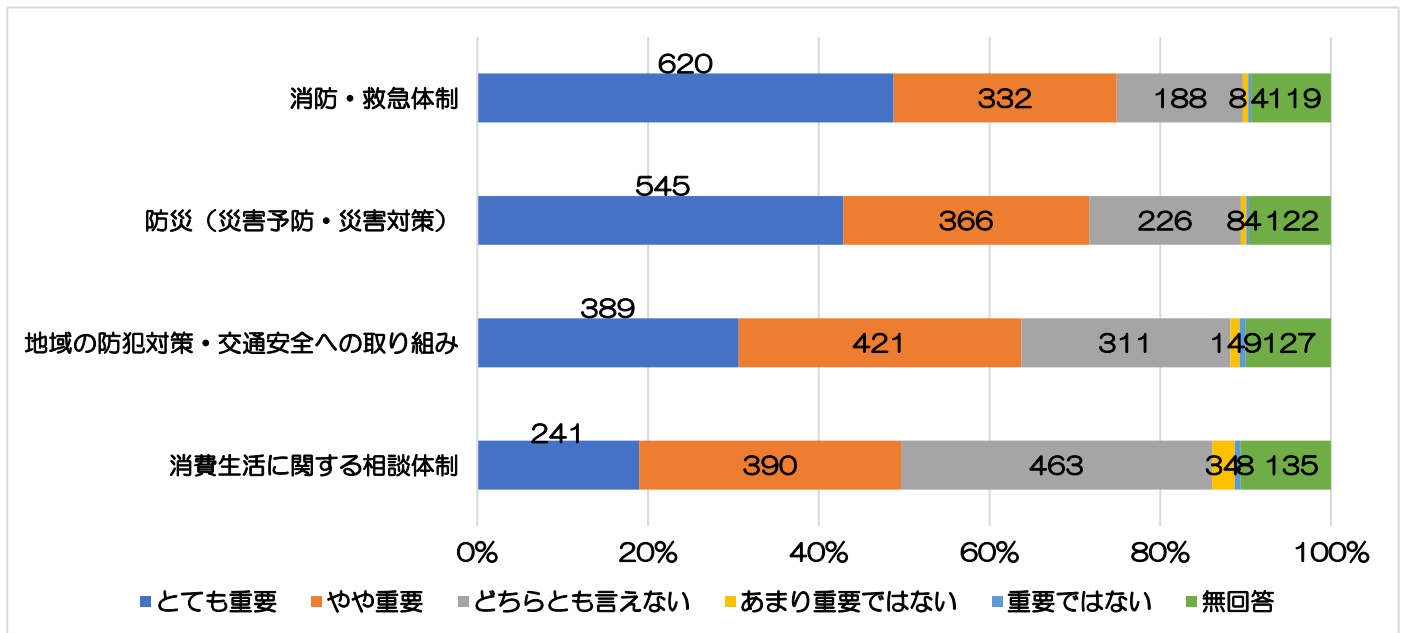
今後の【重要度】

医療・保健・福祉・介護について

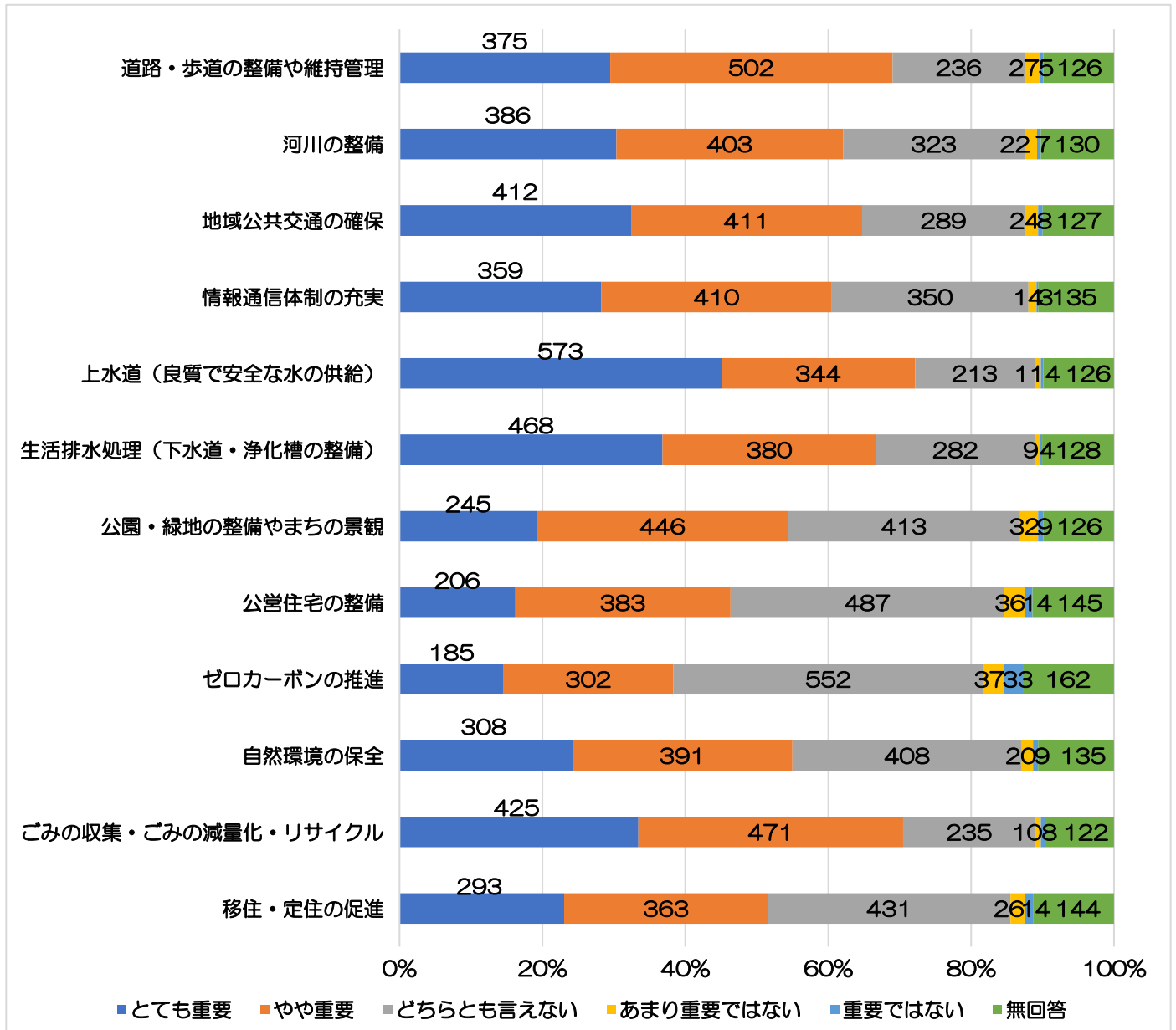




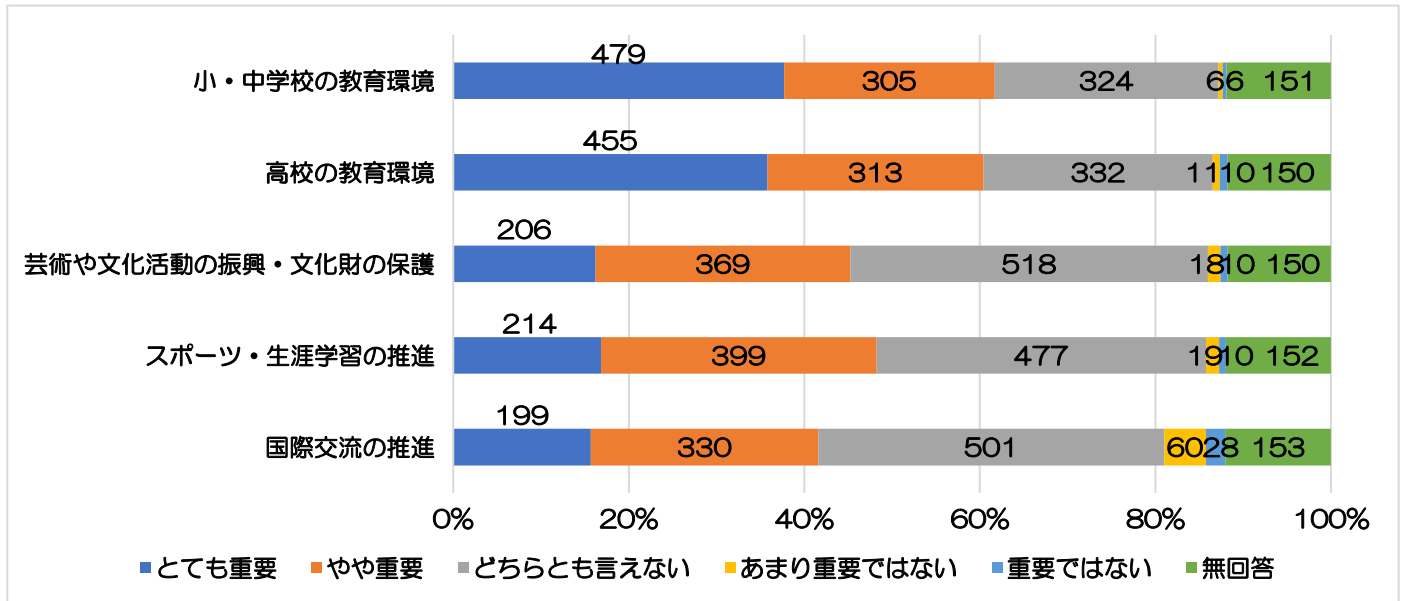
## 生活環境・安心・安全について



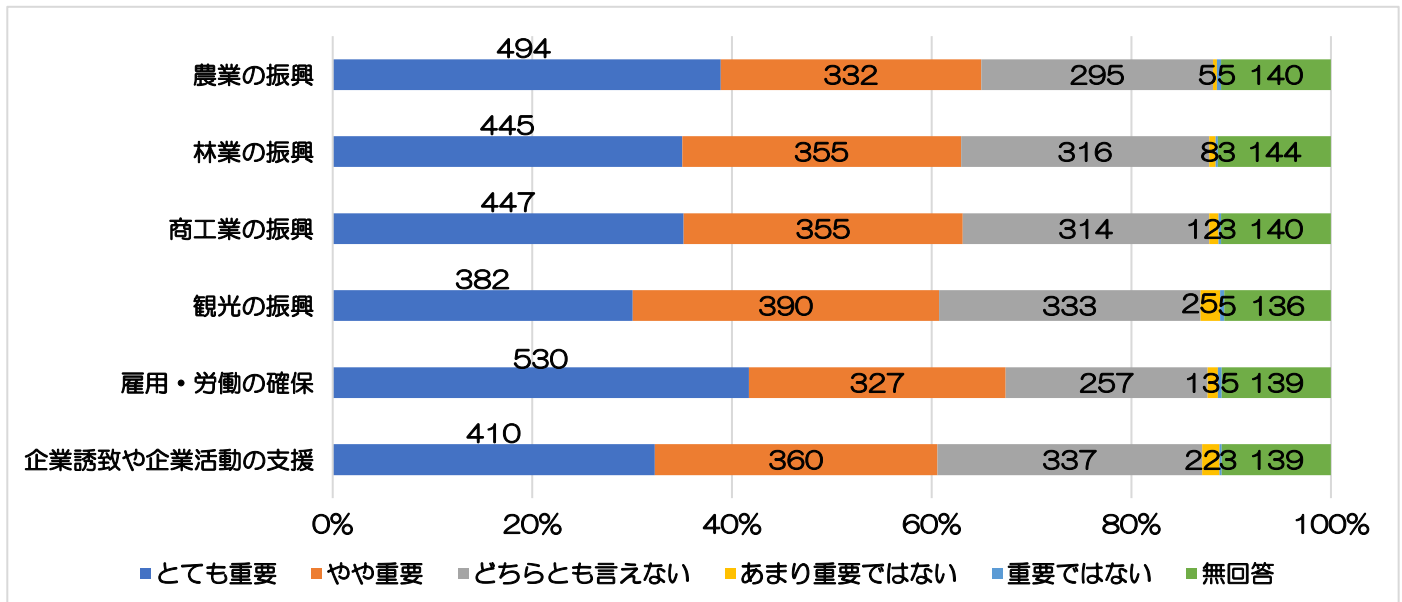
## 基盤整備・環境保全について



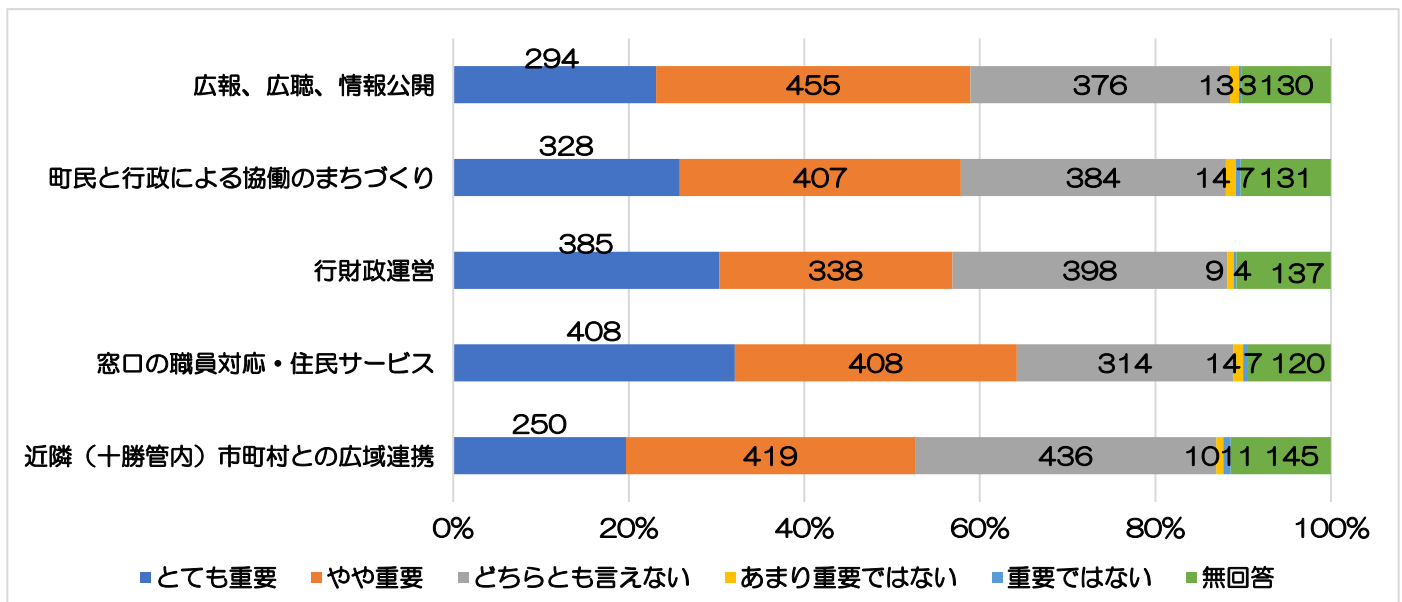
### 教育・文化・スポーツ・国際交流について



### 産業の振興について



### 住民参加・住民協働・行財政運営について



### 今後の暮らしにおける各分野の【重要度】

○医療・保健・福祉・介護については、医療の重要度が一番高く、重要度が50%超となっています。

○生活環境・安心・安全については、消防・救急体制の重要度が高くなっています。

○基盤整備・環境保全については、上水道、ごみの収集・ごみの減量化・リサイクルの重要度が高くなっています。

○教育・文化・スポーツ・国際交流については、小・中学校の教育環境、高校の教育環境の重要度が高くなっています。

○産業の振興については、雇用・労働の確保の重要度が一番高くなっています。

○住民参加・住民協働・行財政運営については、窓口の職員対応・住民サービスの重要度が高くなっています。

### 満足度と重要度の加重平均値（次項）

加重平均値とは回答者数によって平均値を算出したものです。

満足度の算出： $(満足 \times 2 + やや満足 \times 1 + やや不満 \times -1 + 不満 \times -2) \div 回答者数$

重要度の算出： $(重要 \times 2 + やや重要 \times 1 + あまり重要ではない \times -1 + 重要ではない \times -2) \div 回答者数$

数値の範囲は-2から+2の間で、-2に近いほど評価は低く、+2に近いほど評価は高い、とみます。

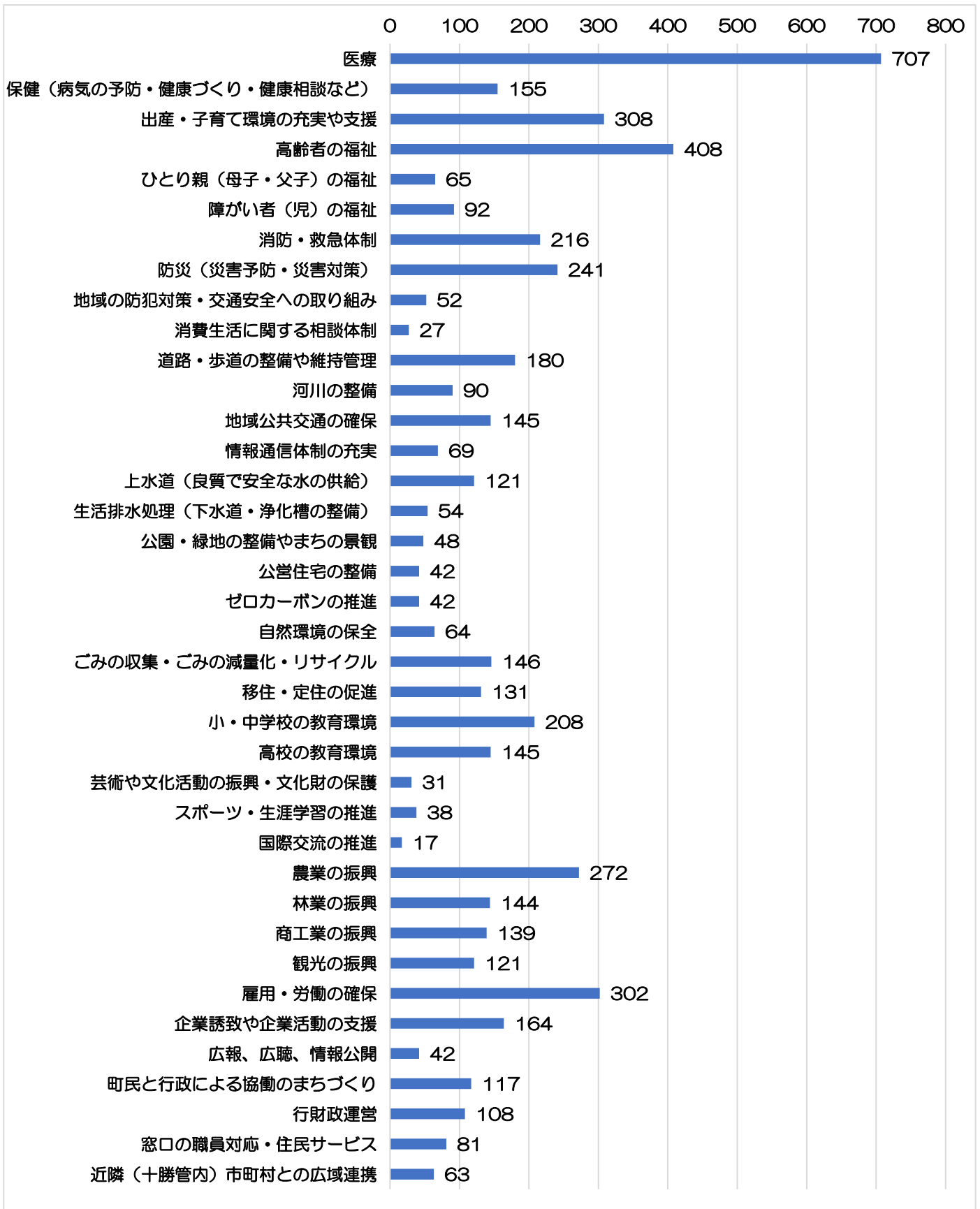
加重平均値からみると、満足度・重要度ともに高い項目として、「消防・救急体制」、「防災（災害予防・災害対策）」「上水道（良質で安全な水の供給）」、「生活排水処理（下水道・浄化槽の整備）」などとなっており、一方、満足度が低く重要度が高い項目として、「医療」、「雇用・労働の確保」などが挙げられます。

医療・保健・福祉・介護について	医療
	保健（病気の予防・健康づくり・健康相談など）
	出産・子育て環境の充実や支援
	高齢者の福祉
	ひとり親（母子・父子）の福祉
	障がい者（児）の福祉
生活環境・安心・安全について	消防・救急体制
	防災（災害予防・災害対策）
	地域の防犯対策・交通安全への取り組み
	消費生活に関する相談体制
基盤整備・環境保全について	道路・歩道の整備や維持管理
	河川の整備
	地域公共交通の確保
	情報通信体制の充実
	上水道（良質で安全な水の供給）
	生活排水処理（下水道・浄化槽の整備）
	公園・緑地の整備やまちの景観
	公営住宅の整備
	ゼロカーボンの推進
	自然環境の保全
	ごみの収集・ごみの減量化・リサイクル
	移住・定住の促進
教育・文化・スポーツ・国際交流について	小・中学校の教育環境
	高校の教育環境
	芸術や文化活動の振興・文化財の保護
	スポーツ・生涯学習の推進
	国際交流の推進
産業の振興について	農業の振興
	林業の振興
	商工業の振興
	観光の振興
	雇用・労働の確保
	企業誘致や企業活動の支援
住民参加・住民協働・行財政運営について	広報、広聴、情報公開
	町民と行政による協働のまちづくり
	行財政運営
	窓口の職員対応・住民サービス
	近隣（十勝管内）市町村との広域連携

①～⑩は高い順、①～⑩は低い順

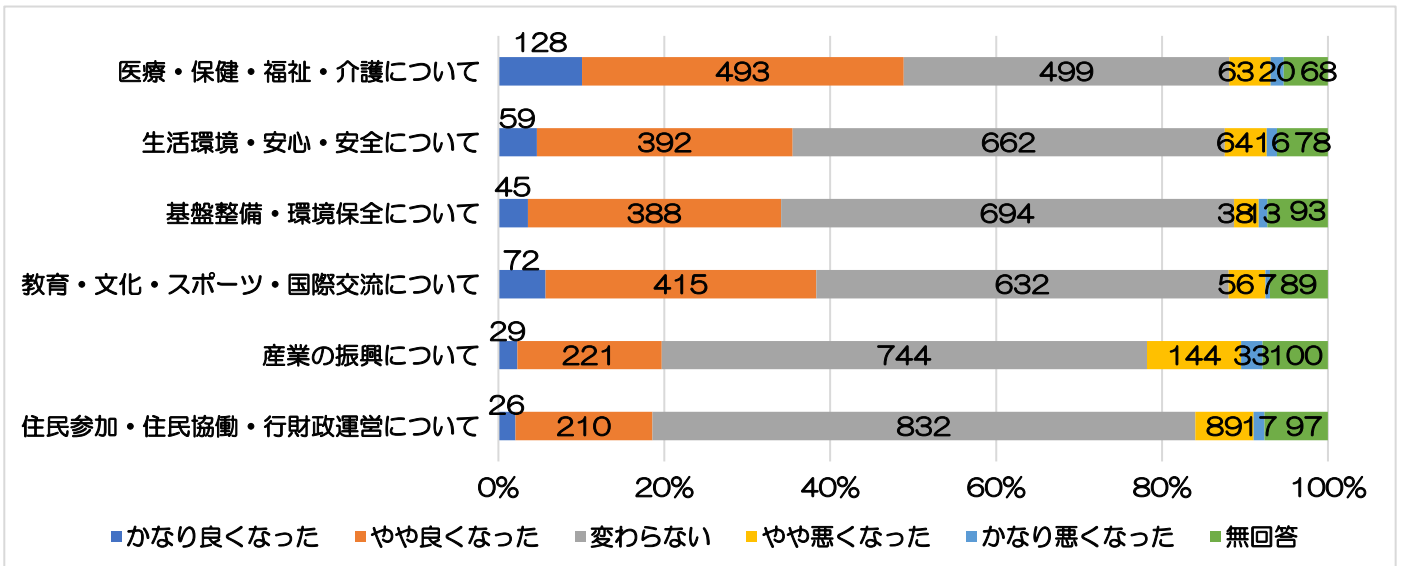
	満足度		重要度
③	-0.108	①	1.309
	0.314		0.979
	0.369	⑩	1.017
	0.178	⑥	1.028
	0.162	⑩	0.745
	0.227		0.837
②	0.650	②	1.225
⑤	0.469	④	1.134
⑩	0.385		0.919
	0.165	⑥	0.647
⑧	0.062		0.957
	0.263		0.897
④	-0.017		0.941
	0.224		0.872
①	0.845	③	1.158
③	0.587	⑧	1.023
⑨	0.409	⑦	0.698
	0.267	③	0.576
⑦	0.061	①	0.448
	0.349		0.763
	0.341	⑨	1.020
⑨	0.113	⑨	0.705
⑥	0.454		0.980
④	0.487		0.938
	0.258	④	0.585
	0.320	⑤	0.620
	0.337	②	0.482
	0.206	⑥	1.028
	0.206		0.969
⑥	0.035		0.969
⑤	0.025		0.881
①	-0.181	⑤	1.074
②	-0.169		0.907
⑥	0.454		0.806
	0.176		0.815
	0.176		0.859
⑧	0.411		0.942
⑩	0.140	⑧	0.698

6. 全項目（38項目）の中で、特に重要と思う項目をお聞きます。



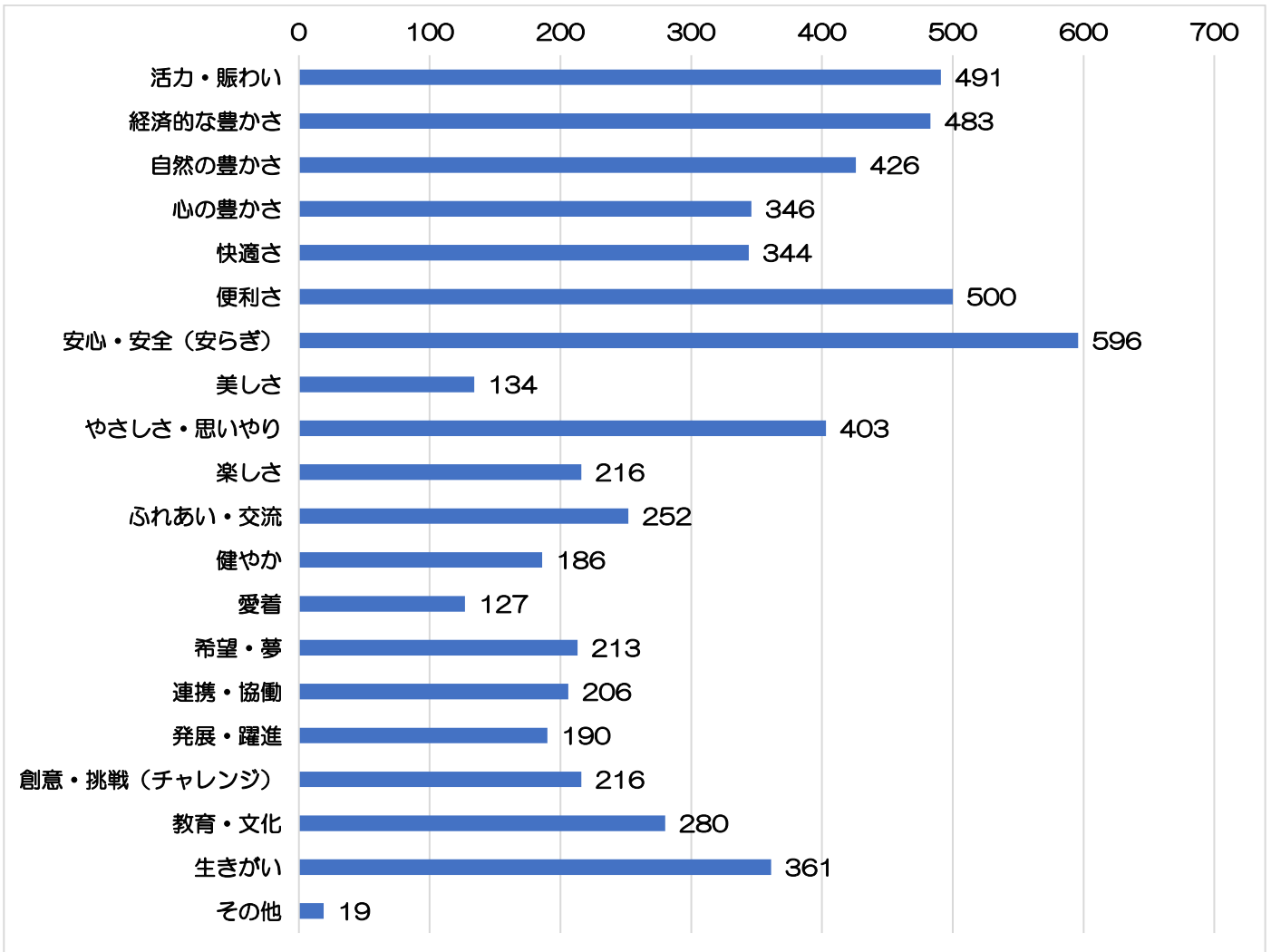
○全項目（38項目）の中で特に重要と思う項目については、「医療」と答えた方が最も多く、「高齢者の福祉」、「出産・子育て環境の充実や支援」、「雇用・労働の確保」「農業の振興」、「防災（災害予防・対策）」と続きます。

7. まちづくりの各分野について、10年前と比べて、どのように変化しているとお考えですか？



○10年前と比較して「医療・保健・福祉・介護」の分野についての評価は高くなっている。一方で「産業の振興」「住民参加・住民協働・行財政運営」の分野については、低くなっています。

8. 今後のまちづくりを進めていく上で、どのような「言葉（キーワード）」を重視すべきですか？

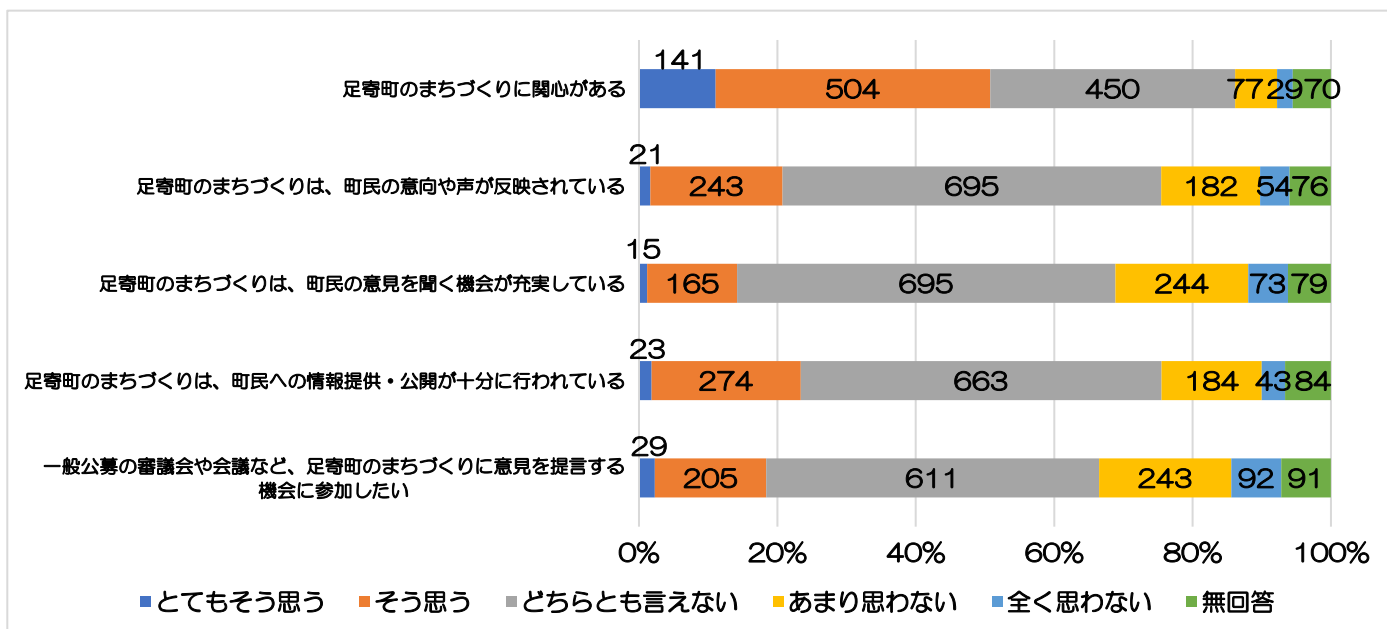


○今後のまちづくりにおいて重視すべき言葉（キーワード）として、「安心・安全（安らぎ）」が最も多く挙げられ、その他「便利さ」、「活力・賑わい」、「経済的な豊かさ」、「自然の豊かさ」、「やさしさ・思いやり」、「生きがい」、などが多く挙げられています。

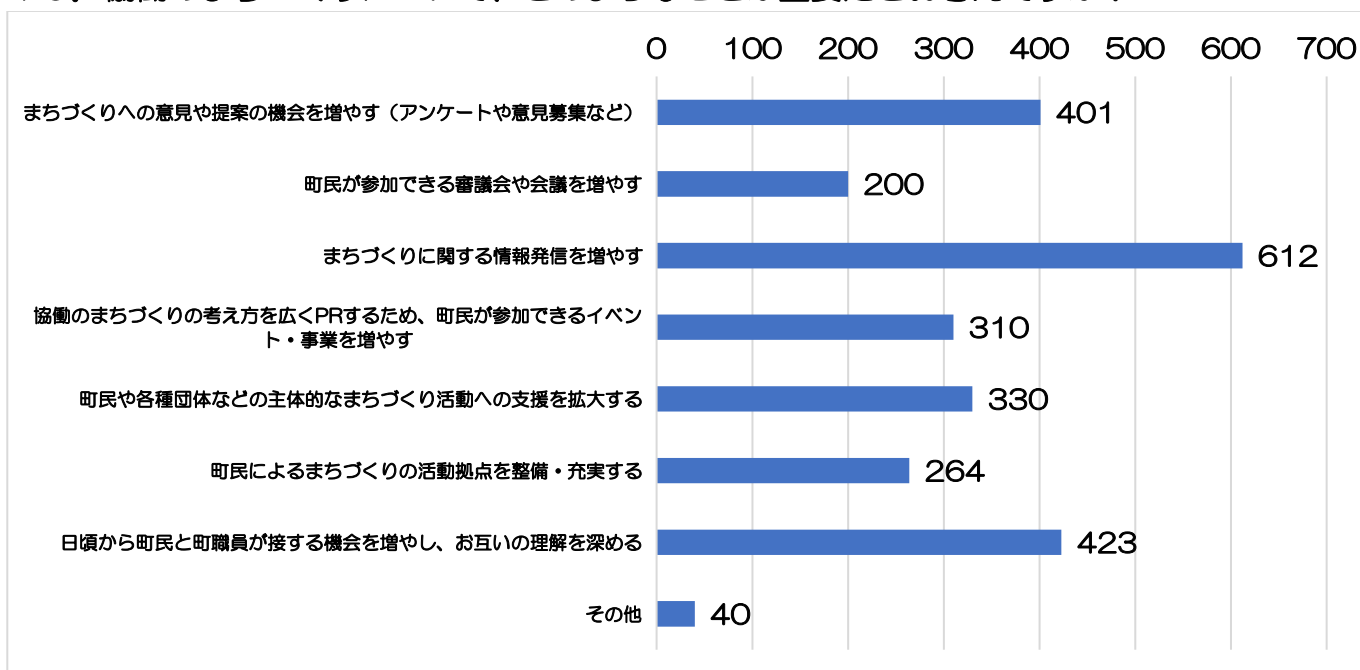
その他キーワードとして挙げられたもの・ご意見は次のとおりです。

- ・魅力      ・おしゃれ      ・自由で明るい      ・躍動、感動      ・福祉充実      ・次世代、グローバル化
- ・未来守る      ・存続      ・見通し      ・基幹産業      ・所得格差の解消と集落や自治会のつながり
- ・一部の人達だけで盛り上がっている感じがある      ・雇用（特に若者）の促進の為の企業誘致など
- ・相談できる場所の重要性      ・雇用の創出、人材の確保      ・小児科の医療体制
- ・町(大人)全体で町内だけでなく他地域も含め多くの若い人を育てる町

## 9. まちづくりへの住民参加・協働のまちづくりについてお聞きします。



## 10. 協働のまちづくりについて、どのようなことが重要だとお考えですか？



○足寄町のまちづくりに関心があるという設問に「とてもそう思う」「そう思う」と回答された方が約50%と高くなっていますが、「町民の意見を聞く機会が充実している」「町民の意向や声が反映されている」「町民への情報提供・公開が十分に行われている」という設問には「あまり思わない」「全く思わない」という回答が多くなっており、協働のまちづくりを進める上で、「まちづくりに関する情報発信」や「町民と町職員の接する機会・相互理解」の拡充が求められています。

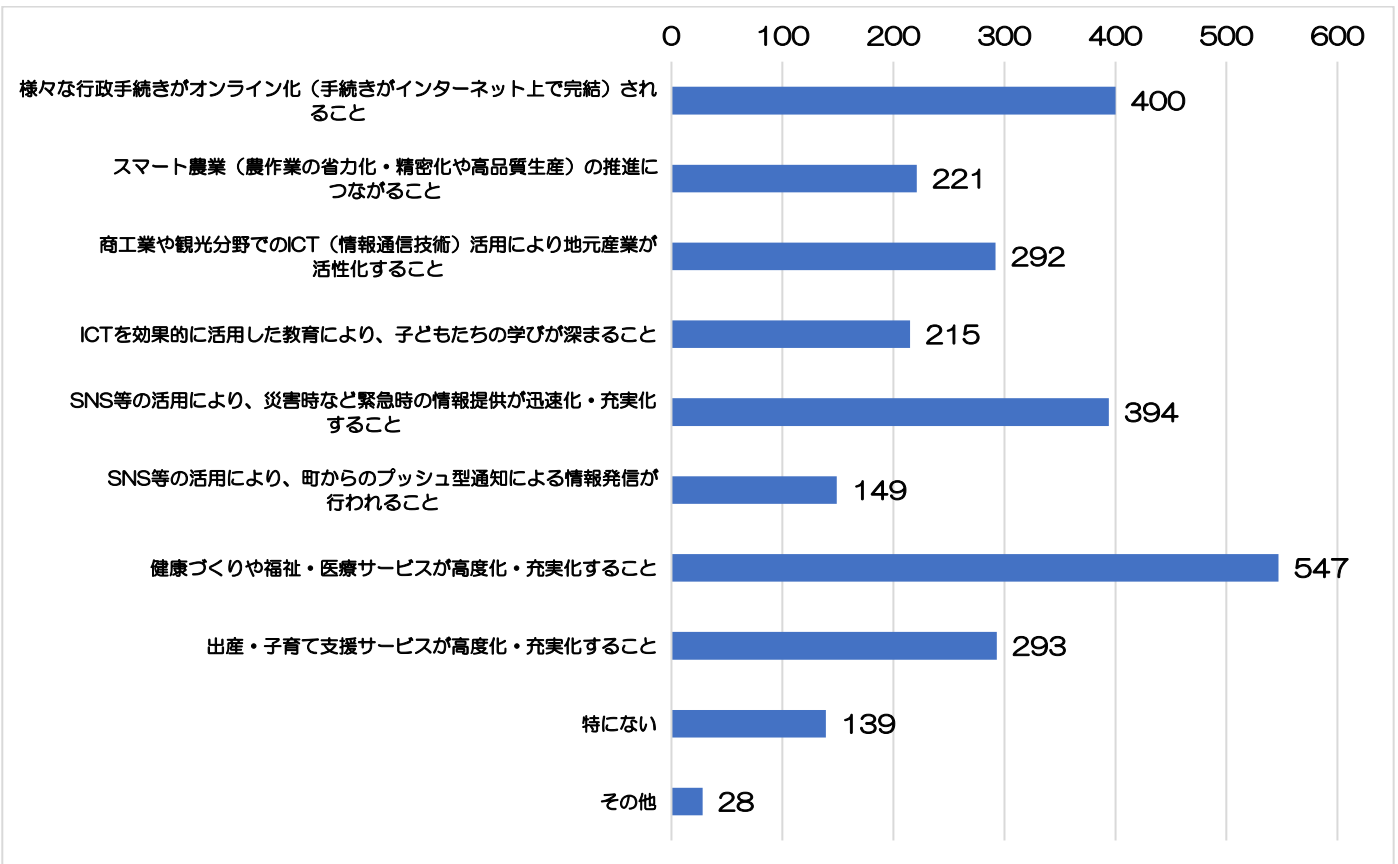


協働のまちづくりにおいて、重要だと思うその意見は次のとおりです。

- ・①町職員と町民が仲良くなる。②神社やお寺など昔からあるものを大事にして守っていくことで協働のまちづくりにつながる。
- ・高校生の話をきく(中学・小学もできれば)
- ・能力のある人材を確保する
- ・補助金に頼らずに成り立つ事業を増やす
- ・町民、町職員が対話を学び、市民ファシリテーターを育成、充実した会議にする。中標津、上フラノ、芽室、恵庭が実践中
- ・お題目より実行する町 ・町民及び町議との意見交換の場を増す町民とそれが大事
- ・町づくりをしたい人はいるはず。大人だけではなく、子ども達なども町づくりについて意見を出してもらったり、手伝ってもらえる機会を広げても良いと思います。小中高の授業の中で考える時間(町の人)を作っても良いと思います。子どもたちが足寄が良いと思って将来残り、住むのは彼らですから
- ・どうせ変わらない…このままで良いと思っている方が多いのでは？
- ・結局、役場OBがとどまる現状は今も昔も変わらない。そこを払拭しないと！！
- 生活の上下は変わらない… 田舎の役場はとりあえず上から目線 都会ではありえない
- ・無理なく参加できる体制。まとめる人が重要。ITの活用
- ・足寄町だけで完結するのは難しいのでは
- ・福祉の事は知らないことが多く、気がるに聞けるような所があればいいと思う。福祉課に行くのはもちろんの事ですが、福祉について、そうだんできる「福祉そうだん所」みたいなところがあればいいと思う。
- ・自治会活動に参加するよう求める
- ・短期・長期ビジョンの策定と実行
- ・町職員の名前がわかるようにネームプレートをつけてほしい
- ・インターネット等で若者の声を聞く。
- ・会議だけが声ではなく、メールも使って、広く募集できるはず。
- ・町民対象に無差別にまちづくり会議に招待し意見を聞く
- ・日頃から町民と町長、町議会議員が接する機会を増やし、お互いの理解を深める。・町職員の参加・活躍
- ・自殺を考えなくて良い住みよい町になって欲しい。
- ・きちんとした計画を立てる・町議会議員も参加し話しあう
- ・イベント時のもおし レンジャーもの呼び子供喜ばせるとか キッチンカーを呼ぶ 公演会でんじろう先生、弘道おにいさん、お魚くんなど 子供大人も興味深い人呼ぶ スポーツ関連はがんばってきていると思う
- ・他の市町村との連携・成功例を参考にすること
- ・町民が義務教育、高校の時からまちづくりに参加できるようにする(意識付ける)
- ・何ができて、何ができないを互いに理解する。勤労者の参加を増やす
- ・鎖国をやめ町外、道外、世界からの外貨の流入をはかる
- ・町づくりの見通しをしっかりと示した上で、議論を町民に投げかける。
- ・行政がやりすぎないこと・町長みずから町へ出て話を聞く 時間がゆるす



## 1.1. まちづくりのデジタル化について、地域社会のデジタル化が進む中で、あなたが期待することはどのようなことですか？



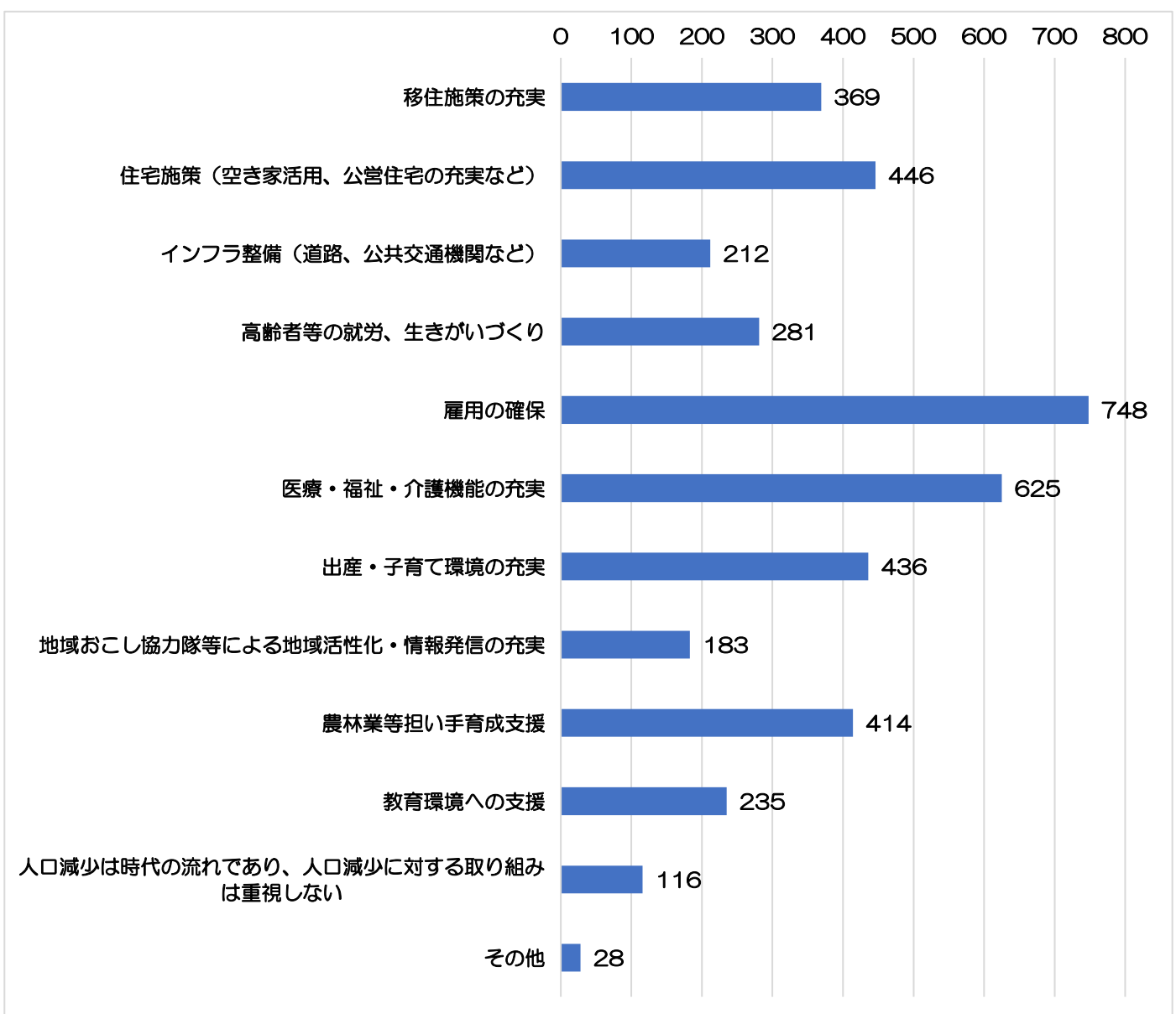
〇地域社会のデジタル化が進むなかで、期待することについては、「健康づくりや福祉・医療サービスが高度化・充実化すること」が最も多く、次いで「様々な行政手続きがオンライン化（手続きがインターネット上で完結）されること」、「SNS等の活用により、災害時など緊急時の情報提供が迅速化・充実化すること」となっています。

まちづくりのデジタル化において、期待するその他意見は次のとおりです。

- ・高齢化しているのでデジタル化はゆっくりで良い。急がないでほしい。
- ・デジタル化の不利益に関する教育
- ・オンライン、ネットの利用がわからない
- ・デジタル化に対応出来ない方への支援
- ・リモートワークの職種、規模の充実
- ・SNSやインターネットのあまりわからない人におしえる所がない
- ・全世帯のWi-Fi化 使えない
- ・年令的にむりです
- ・このような地域だからこそ、人との触れ合いが大事だと思います
- ・高齢者が多い中、デジタル化が進んでいるのか・・・それで良いのか？
- ・光ファイバ、ネットワーク、スマートフォン
- ・デジタル化についていけない
- ・年なのでデジタル化についていけません
- ・高齢化が進む中、なかなかついていけません
- ・1のオンライン化で不具合の無いシステムにしてもらいたい。

- ・①ごみ削減やCO<sub>2</sub>提出量削減などの推進（具体的な進捗が分かる情報発信など）②国内外との交流促進による人材育成（小・中・高で）
- ・とりのこされる人がでないように！
- ・デジタル化についていけない人はどうすればいいのか？
- ・すべての人間がインターネットを使えるわけではないので補佐が必要
- ・高齢なのでむずかしい
- ・デジタル化は高齢の私には優しくない
- ・5Gの整備
- ・年寄りにデジタル化は困る
- ・スマートホン・アプリは持ってありません

## 12. 人口減少への対応についてどのようなお考えですか？

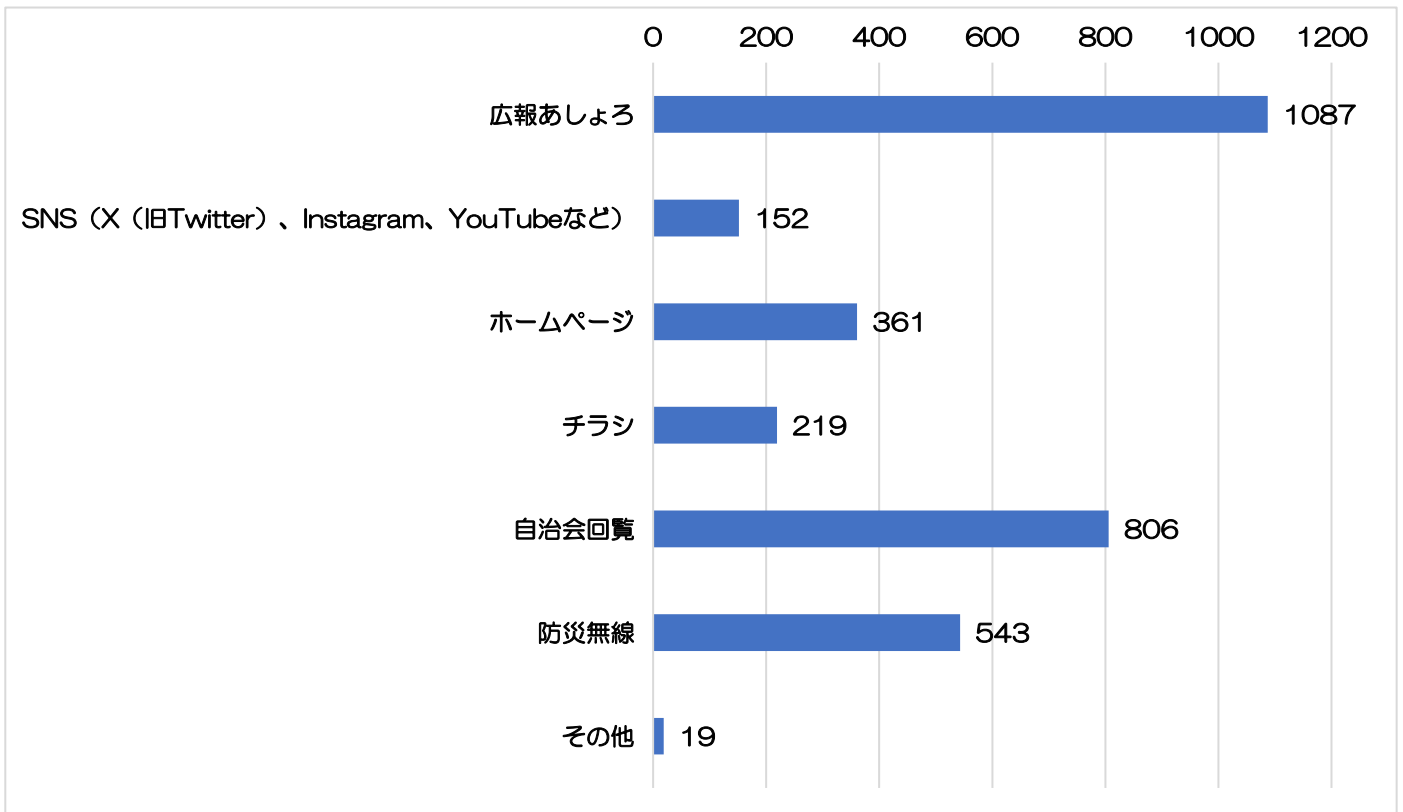


○人口減少への対応については、「雇用の確保」が最も多く、次いで「医療・福祉・介護機能の充実」となっています。

人口減少への対応において、その他意見は次のとおりです。

- 人口は少なくてもできる町づくりをする。陸別や浦幌を見習う。
- 地域おこし協力隊の行動・顔がみえない
- 大きな会社を呼ぶプロジェクト組み若者が就職できるように。人口増につなぐ、そうでないと子供がふえない。
- 不自由、不便がない。※店の閉店時間、物の量など 難しいかもしれませんが
- 協力隊で来ても短期間利用するだけで根づいていないのでは？長く居る人をもっと大切にしてほしい
- へき地小学校・保育所への農村留学制度と移住施策の組み合わせ
- 魅力はない
- 人口減少を受け入れることも重要。減少してもやっていけるようにする。外国人の受け入れ
- 難しい問題です
- 教育現場や農林業
- 観光業など足寄の主要産業で国内外との交流により、より魅力的なまちづくり、生活の場を描き目指せるような取り組みを進める。
- 地域おこし協力隊 任期 1 年で人数を増しては
- この町で働いて、生活するメリットを作るべき
- 地域おこし協力隊員増と有効活用・20 人位居ても良い
- 近隣の町と共同で、大型の総合病院を誘致する(帯広では遠すぎる)
- 新生児から高齢者までが安心できる町の魅力を町外に発信する
- 働ける企業が少ない
- 低賃金労働者への助成支援
- 産業の振興 生業が成り立てばそのほかの課題は後からなんとかなるのでは
- ゴミの分別の簡易化、全てのゴミは燃えるゴミへ
- 土地代、家賃等が他に比べ高すぎる
- 人口減少によりこの地に住みづらくなるのは寂しいし、故郷なので大好きな町。誇りに思っているし、魅力ある町なので、他県他市町村で生きづらさを感じている人に知ってもらい、足寄町に住むことで生きる力がわくなら足寄で元気になってもらいたいと思う。人口減少が行政の収入減に繋がるのなら、町外からの外貨を稼ぐ取り組みに対して支援を強めるべきだと思う。
- 人口減少は国としては時代の流れだが、町単位では他市町村との若者の取り合いである程度対策可能と考える。
- 北海道は観光と食に優れており、人に訪れてもらいお金を落としてもらう
- コンパクトシティ
- 企業、会社で働く人の数がへって来ている

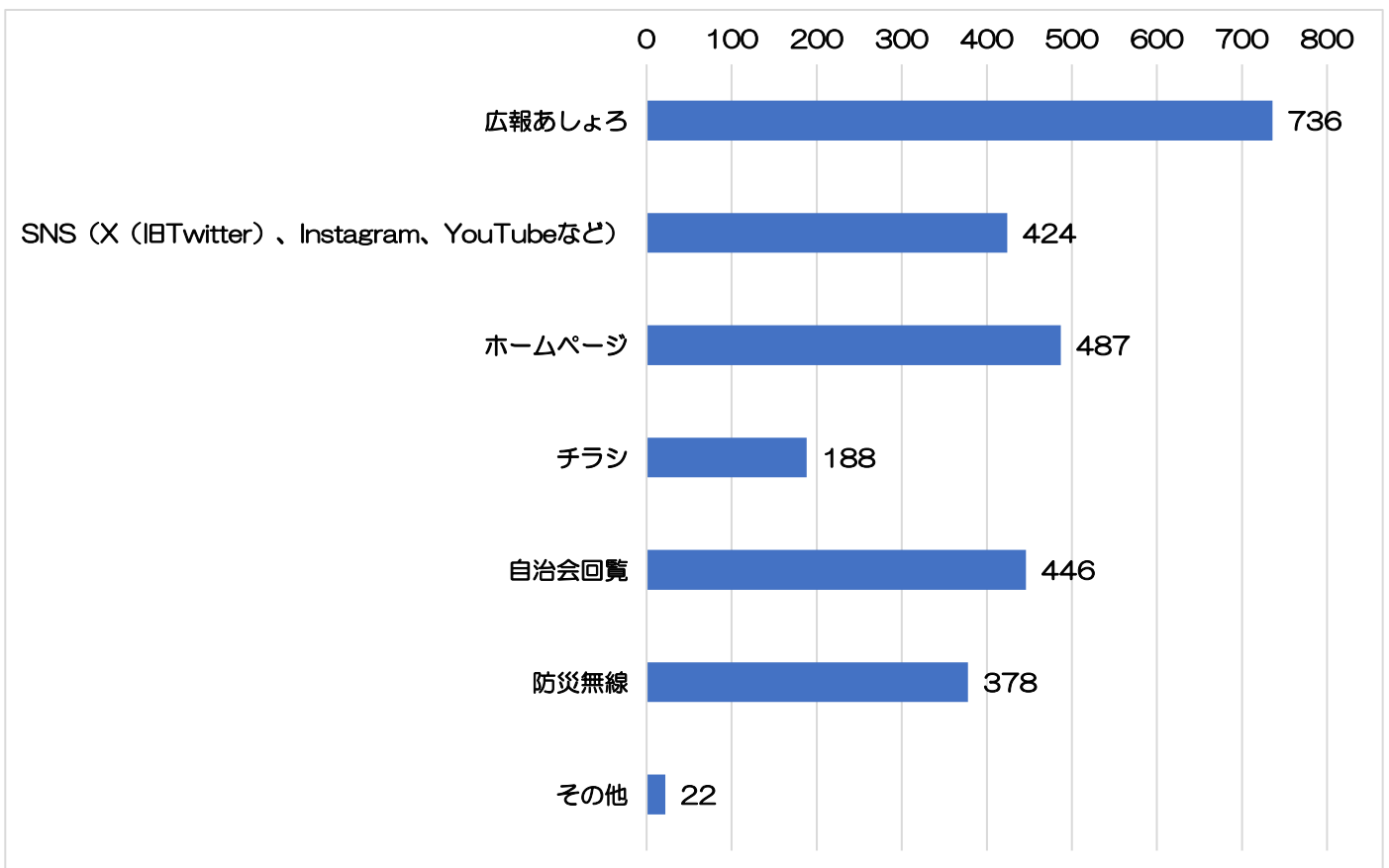
### 13. 足寄町の行政情報をどのように入手していますか？



その他については、次のとおりです。

- ・議会だより
- ・町議会議員さんからの情報
- ・議会傍聴
- ・新聞（デジタル版）
- ・役場職員との意見交換
- ・町民センターのチラシ掲示板

### 14. 足寄町の情報発信について何に力を入れたらよいと思いますか？



その他については、次のとおりです。

- タブレット配布による情報提供
- 有線テレビ CM コマーシャル等 TV ラジオで生の声を全国へ
- ポッドキャストなど音声メディアによる発信
- 誰にむけた情報発信ですか？住民？それとも観光客？移住希望者？
- 特産物、食を発信していくとよいと思う。
- 百貨店でも北海道は全国的に人気があるので。(SNS等、ネットで需要はあると思います。)
- 町民センター、体育館にホームページ閲覧用端末の設置
- 回覧読めない人もいます
- 雑誌にイベントをのせる
- テレビ
- 新聞
- メディアを増やさずに現在使っているメディアを継続し続ける
- 人による交流
- 各種メディアの活用
- ラインは使いやすいが情報漏洩の観点からは不安、防災無線も頻繁に入りすぎると心地悪いが、先のモノマネ大会の案内を防災無線でやったのは、あ、そうなんだーと気づけたのでよかった。イベント事も、声かけてもらおうと嬉しくて行く気になると思う。
- 郷土愛を育む教育。そうすれば能動的に情報を得ようとする町民は増える。町に興味がない人は例えばlineで流れてくるような受動的な情報すら読み流してしまう。

○町の行政情報についての入手方法については「広報あしよろ」が最も多く、次いで「自治会回覧」となっています。町の情報発信について、求められているものについても「広報あしよろ」が最も多く、一方で「SNS (X (旧 Twitter)、Instagram、YouTube など) については、入手方法としては低いものの、情報発信の手段として力を入れたらよいとの回答が多くありました。

## 15. 今後のまちづくりにおける新たな取り組みや重点的に行うべき取り組み、まちづくりへの ご意見やご提案など（自由記述）※まちづくりに対する意見のみ掲載しています。

○林業、商工業への雇用確保のための支援事業の拡大・担い手となる若年層への専門分野へのeラーニングの導入・小学校からの読書取組の徹底

○足寄町はたしかに子供には充実した町だと思います。その子供達が学業を終え足寄町に戻ってこれる環境を造らなければなにもならないのではないのでしょうか。

十勝毎日新聞のまちの声からです。令和5年9月18日（月曜日）里見が丘公園への案内の改善して8月26日に「千春のど自慢大会2023」観覧のため家族4人で足寄町に行きました。帰路は里見が丘公園に立ち寄りしましたが、すんなりとは行けませんでした。道をたずねながらやっとの思いでたどり着きました。公園では子供達は遊具で大はしゃぎ、他にも足湯、バーベキューガーデンなどがとてもすてきな公園に大満足して帰りました。

足寄町にお願いします。8月14日にも本欄にも同様の投書（里見が丘公園の看板、遊具に迷う）がありましたが、里見が丘公園や核施設について町外の人たちにも分かりやすい看板を設置していただきたいです。との投稿が書かれていました。町外からの観光客を受け入れる為にも案内標式（もっと丁寧でわかりやすい）が必要ではないのでしょうか。

町の活性にも少しはつながるのではないのでしょうか。

※带状疱疹のワクチン早く対応してほしいです。足寄も多くなってきているみたいですので。

○足寄町にとって大きな企業誘致が望めないと云われている今、既存産業の農業はもとより、木材関係の後継者の育成に力を入れるべきであろうかと思っております。又は、足寄町の進む道は福祉の町そして教育の町、足寄町として明るい町、住み良い町、足寄町としていけたらと思っております。

福祉面に於いては、施設面ソフト面に於いて大きく他町村より勝っていると云えないが、それなりに充実してきているのではないのでしょうか。

教育の面では管内でも何かと話題になっている「学習塾」が、年が経つに従い毎年国公立大学への進学者が増えているという事で成果は確実に上げており、希望者はまだ当分はいるのではないのでしょうか。

教育の町、足寄町として子供達の期待に応えていかなければならない町の立場として今の二間口のうちに一間口を福祉科にする様に働き掛けをして、更に福祉の町、足寄町とうたい上げ、十勝管内の全道的にも認知度を上げていくのが、足寄町の将来を読める要因となっていくのではないのでしょうか。

高令者の生きる道を一諺に考えてやって下さい。

○中心市街地のシャタ街と空地空家対策

○町づくりに当たって私の考えるのは、もう少し特色のある町づくりが出来ないかと云う事です。そのひとつとして国道から足寄市街地に入って来た時に観光客等人びとが見てハッとする何かがあるかと云う事です。例えば一例として仙台の青葉通りの様に駅を降りて直ぐに目につくのは素晴らしいケヤキ並木です。四季の移ろいととも春は「青葉まつり」が行われ、涼しい木陰をつくる夏、赤や紅葉に染まる秋、無数の電球で街を彩る冬等イベントもさることながら見事な緑の景観は誰の目にも焼き付きその街に入ってくる者にとって強烈なアピールになるものだと思う。

この沿線どの街に入ってもみんな同じ様なスタイルと云うのでは人々の記憶にも残らないと思うので、足寄は緑の高原都市を標榜していたこともあるくらいなのでなんとかもう少し「緑をアピールした町づくりが出来ないものではないのでしょうか。田舎の認識で云うと市街地に限って云えば大都会の東京は確かにコンクリートジャングル云えなくないが、中に入ってみればコンクリートを補う様、至るところに街路樹があり生け垣があり公園の緑等残念だ。足寄についても校いても緑が多い感じがするので、そういう意味で誰が思っても緑に包まれた潤いのある町だと云う事を感じさせる様な町づくりが出来ないものかと思う。



勿論実現のためには費用もかかるし開発局との交渉や完成した後の落葉の始末も当然大事なことになるが住民との意思統一を計りそれが実現した後に行政と住民との一体感も出て来ると思うので、なんとか実現できないかと思っている次第です。

○限られた予算の中で全てを満足させるのは難しいとは思いますが、例えば足寄町の町並みが美しいとか自然の景観を居ました取り組み等どこ地域へ行っても牧場の景観とか畑の景観とか少しずつでも取組んでほしいと思います。

○空き家がずいぶん有りますね安く買い取りして、貸し出方法はどうか？

少しでも町の資金繰り出来ないものでしょうか？若い人ならいるような気がします（入るのに）年寄なら長屋でも便利ですが

○問6項目の「不満点」でも書きましたが、相談できる役場（窓口）であってほしい。下水道整備の事も考えてほしい。

芸術や文化などの催事をしてほしい。又、働ける場を増やしてほしい。いろんな面で閉鎖的な町なので、将来に希望も持てない。悪化するばかりだと思う。

○PRが下手です。職員が先頭に立って推進すること議員の活動がないのでは

○質問6で記入しました。病院のレベルアップ救急搬送の在り方

○町中の国道ぞいを花いっぱいにしてほしい、各家でそれぞれでは街ながきれいににならない。町で力を入れなければ。他町村を見て良い所は心がなごみます。国道の歩道幅が広い所は足寄のじまんとかんじます。

○デジタル化が進み、行政手続きなどが、スマホで簡単に出来ると言われますが、高齢の身にはスマホも自由に使いこなせません。高齢者を対象にスマホで手続の方法などを教えていただけたら、町に対する不満も少なくなると思いますぜひ、ご検討下さいますようお願い致します。

○町民が安心して住み続けることができるようにするため現在の高齢者の声を吸い上げてほしいと思います。このアンケートは高齢者の考え、気持ちを集計するには難しいように感じます。抽出でよいと思うので面接形式や高齢者施設に出向くなど労力はかかると思うのですが是非生の声を聞いてほしいです。

老人になってから老人の気持ちがよくわかると言われます。老人ではない年齢層の人がその気持ちを理解し、まちづくりに活かしてもらえたらありがたいです。

○これから酪農家の離農がふえてくると思うので、移住してくれる人をよびこむ、農業じゃなくても・・・。体験できる農場をつくるとか 移住者の住宅確保

○ネットショッピングなどにより買い物や医療にかかるお金が町外に流出していますが、今後は足寄のシニア世代が亡くなるにつれて遠方に住む子世代に資産が移ってゆきます。

このままでは、近い将来、足寄で使われるお金が加速度的に減ってゆきます。町内でお金をつくることますます重要になります。

そのため、今いる町民が補助金に頼らず利益を出してしっかり納税していくことや、将来しっかり納税できるための教育が大切です。

学校では勤め人ではない働き方を教えたり、自分で商品やサービスを作って小金をかせぐ面白さ、難しさを経験できるようにして、成人（社会人）には企業のし方をレクチャーするなどしてはどうでしょう。

勤め人を良しとする教育では、勤め人になりたい人の多くはそもそも足寄から出て行くため、足寄の人口減少さらには足寄のかせぐ力の衰退に拍車をかけてしまうでしょう。

○町の立地条件からして、環境・農林業振興施策にもう一段ギヤのチェンジアップ。時代の変化を先読み、あらゆる資源の活用を再点検。行政的には、コンパクトで持続（循環）可能な町づくり。

100年後にも誇れる故郷づくり。所得のないところには人は育たない。

○空家が多いのがすごく気になります空家の雑草がひどい歩道の雑草もひどい。今年特にとてもさびれた町に見える。町の施設のまわりだけ草かりされてる感じで、小さな川とか（佐野川など）草がひどくて獣がふえそうで清潔感がない。散歩しててもきたないなと思う。歩道にヘビのぬけがらもあったし…（北区）駅前駐車場（北側）の歩道も草で歩けない。観光に来た人が見てもきれいじゃないと思う。

夏のことを考えると高齢者住宅にエアコンを付けること考えてほしいです。

○路肩の草木が大きくなり、見通しが悪い。事故の原因になる。鹿もみずらい。

○よそばかり見てないで町民中心の行政 山は、から松ばかり むかしの町はきれい 紅葉もなにも無い

○何でも後手に回っている印象があります。他の町の様子を見てからでは遅い問題もあるのではないのでしょうか。先の事を考え慎重に決めるのも良いですが、思い切る事ができなければ進歩は無いと思います。

○若者が働ける場所を増やしてほしい 町民の意見を聞く機会を増やしてほしい

○学校、施設の熱中症対策（エアコン）

○農林業に根差した産業クラスターの形成 カーボンオフセットのポテンシャルを活かした都市部との交流促進

○人口減少は今の状況では仕方がないと思っています。人口が少なくても住民の一人一人が心豊かに生活できるきめ細やかな町づくりをお願いします。

①今、足バスが町内を走っています。足が弱くなり乗れない方はハイヤーを利用されています。ハイヤー料金の補助等

②町中が空き土地、空家が目立ちます。きちんと町づくりのプランを立てて整備をしていただきたいと思います。

③防災無線の活用の仕方・・・防災関係のお知らせだけではなく時々観光的な事もへん

※交通安全、火災期間等毎日お知らせしなくてもいいと思います。

○小学校のエアコン対策は他町村に比べ対応が遅いのではないかと心配しています。早急な対応が必要であり、具体策を町民に公表することを願います。・町民と移住者が気楽に集える場はあるのか？移住しても「外から来た人」として分断は起きていないのか？移住者のみが集まっても、関わりあいがあると、町としてどうなんだろう・・・子どもの室内であそべる場を増やしてほしい。里見が丘の公園はとても良く春～秋は子どもにとって楽しめる所となっている。冬、春休みに町内で小学生が言って楽しいところがなく、ゲーム、パソコンになってしまう。乳幼児をもつお母さんもむすびれっじで室内行ける所あったけどコロナで行けなくなり・・・あそび場を選択できるといいと思っています。

・図書館があり、勉強できるところ、談話室ができてWi-Fiもありとても助かっています！

・本別のような公民館講座、足寄にもあったら良いなと思います。社会教育の充実、習いごとなど、何かあるのかわかりづらいですね。・医療の専門医ももう少し増やしてほしい。小児科が週イチ2時間のみはありがたいけど、週2回来てもらおう対策をしてもらえたら助かるお母さんはふえる。安心が増える。何か支援をしてもらえないのだろうか。帯広へ病院大ヘンです…

○具体的な案はありませんが思ったことを…

最近閉塞感を感じる気がする。人口減、店舗減だけではない様に思える。

以前〇〇協会のイベントに向けての集まりに参加した事がありますが、意見が出て「今迄はこうだから」で終了！話し合いを行わないならタイムテーブルを渡すだけでいい、集まる意味もないと思いました。ちょっとしたことですが、見ない聞かない内側だけでいいという考えを強要されているようで、それが余計に閉塞感につながっていく気がしました。

色々な方達と意見交換をしていると思いますが、足寄出身、以前住んでいた、来たことがある、町外出身で今は足寄の方等々に「足寄のダメなところ、嫌いなところ、残念なところ」など、まず外側から見た意見を



どんどん出してもらおう。(例えば自分なら「水がおいしいという事を聞くが、随分前からまぶしくなったと感じている」というように…) 耳障りのいい話ではないものを。更に今住んでいる場所の素晴らしいところ、何がどういいのか、どう生活に役立つのか、足寄の良い点、セールスポイントも外側からの目で話してもらおう。今は何処にいても(海外でも)話ができる時代ですから、学生、主婦、の方などにも参加してもらいディスカッション出来たらいいかとも思います。既にやっていたらすいません。

○新たな取り組みではいが、元気な町にそして、外から来た人にも優しく親切な町に！人口が減っても若者が増えてほしい。働く場所を確保を！足寄町は景観は良いのですが、農家環境をもう少し良くしたらと思います。きれいな町にしてほしい！

○へき地の交通が不便。子どもの少年団・習い事・部活動・遊びに行くのも全て送迎。仕事もあるので、子どもに我慢させることもある。乗合タクシーなどあしバスみたいな交通手段をへき地にも考えてほしい。

○町職員の給与削減、この街で生まれ育った人は良いのかもしれないが、仕事で通勤して来た人は、永住したいとは思わないだろう。平等と言う名の不平等見て見ぬふりはやめよう。気づかぬふりは無理がある

○漁世に住民との関係を継ぐべく町議会議員のビジョン考えが全く教てないのはどの様な処に在るのか検証すべき

福祉機関の相談員、民生委員、保護司等役職をいただいている方々の町民ここの係りが見えない

町おこし協力隊然り、町に関係し仕事を頂いている方々の情報が入ってこない

デジタルに疎い筆書に頼る年代に他の町村で実行している端末の配布例えばスマホの貸与タブレットの有料貸与等が必要となって来ているのではと思います。

施策実行については行政からの声は必ず費用対効果が付いてきます。それでは行政に係る方の仕事に関してはいかなものかと頭によぎります

総花的な施策より何に軸足を置くか、毎年度にでも実現より見える施策を行う姿勢を示す様希望します

例えば今年は里見が丘から連なってくる町のバスを止めるとか、公衆トイレを明るく清潔にするとか何か目に見える施策を希望致します

○全体的に何も変わっていない。高齢者が多くなる一方若者がもっと来てくれるような活気ある町になってほしい

○年ばいの働き場所が少ないと思う。住宅〈空〉が多いため、地主が土地の整理をほどこしてほしいところがあります。空き地の草、木が成長して、いるところがみられます。最近野良ネコが増えています。なんとかなりませんか…！！困っています。

○基幹産業の振興と育成。(面積の小さな畑が耕作しないで放棄されている。今では、雑草がはえ荒廃されており、農業委員会と協議をしながら、良い方向に持っていくべきである。)

○里見が丘の芝桜 10年以上咲きませんね。年2回ほど業者さんが除草されているのを見ますが芝桜も一緒に刈り込んでいます。来春用のつぼみを付けて越冬するのが植物です。特に2回目まで頭を刈り込んで咲きません・他の町では観光客を呼ぶほど満開なのに。咲かせてください。町長さん業者さんお願いします。

デジタル化、SNS、アプリ等一人暮らしなのでスマホ使用でも解らないことばかり。アナログ世代はおいてけぼりです。もっと早く高齢者向けの講習などあったらと思いました。

○塾は、とても良かったと思います。

○新たな取り組みも必要だと思いますが、以前行っていたことを充実させることも大切なことだと思います。

特に医療・福祉の充実をしっかりと行って下さい。

○街ん中に人を呼びこみ計る施策整備活動・農業特産物の発掘育成・木材の街として基盤を造られたが現状は様々要因があったが今一度林業の整備を計る施策が望む・放牧酪農とJAとの関連を強化し、低コスト農

業をめざす・農業具工場があるにも拘らず関連企業が育成されない

○冬朝早くからの除雪は有難いのですが残された固い雪を高齢者の身にとって除雪はきついです。なんとかありませんか。

○高齢化が進み車の免許返納者が多くなるので足バスを利用したいのですが、少し不便なのでもう少し利用しやすいと助かります。

○高齢に付きこのままずっと居たい

○介護施設をふやしてほしい

○だんだん人口が減って行きます。魅力ある農業産業を商工会と取り組みを望みます。

○高校を卒業した人達が、足寄町に一人でも多く残る為の対策が必要だと思えます。道の駅などでもおかしひとつでも足寄町の名物を作れば良いと思えます。私達夫婦は道の駅に行くと必ず、名の付いたお菓子を買います。食事は（うどん）でも（そば）でも地元の物で作られている品を選びます。

○医療の充実、帯広専門医に行くのが大変（交通が不便）

○今後予想される世界的な食料難時代に対応する産業基盤の整備、拡充が極めて重要になる

食料生産と二次、三次加工産業の構築に重点を置いた町づくりをめざすことを望みたい。人口減は止められない。短期的な情報で対策をおこしても無理である。長期耐久パターンで町の基礎産業の充実で減少は止められるのでは？

○老人福祉の充実。老人介護をしている家族への助成。介護する人の不安などの解決

○老人福祉。老人デジタル化への不安を解消して欲しいです。デジタル化の説明、訪問して説明する様でなければ老人が自分で外へ出て知ろうとする事はまずできないと思えます。色々な事をデジタル化しようとするならばきちんと理解できる様にしてほしいです。

○北区の（郵便局から下愛冠へ抜ける道路暗いので街灯を増やして欲しい）国道・町道・農道どこを見ても道路の淵、ゴミがありすぎて残念。

○肝心な時に防災無線の発信が無いのもっと活用してほしい。

○新たな街づくりは、新しく工場を誘致するが農業をおこすしかないが今まで出来なかったから無利だと思う。農業も酪農も農家個数はへっても規模は拡大していて多くの人が働く場が出来るといいのだが？

一番残念なのは広大な山林面積があるのに木材工場がつぶれている事だなんとかこの問題にとりくんでほしい。

○町づくりの提言

町の中心街は商店が欠けて、人通りも見られません、これを活気ある町並みにするには努力が必要です。多くの先進事例を参考にすべきです。三笠通りを核として、コミュニケーション施設をつくり、通りも木を植えて歩行者天国として人の集まる場所に変えていければいいでしょう。当然として民間の商店の協力が大事ですので大変困難が伴いますが、コミュニケーション施設を作って人が集まってくる姿を見たならば、考え方を考えてくれるのではないのでしょうか。「治山治水」昔から政治・行政の大事はこれです。山をしっかりと出来ない限り治水は出来ないということです。足寄町は林業の町です。林業はやっとの事で生き延びている状態で、これまでの取り組みは胎児ですから続けていかななくてはなりません。幸いに足番は九州大学演習林があります、もっと連携を取って進めていくことが大事です。足寄町に木質バイオマス発電所を建設するので、多くの資金がかかるので困難が想定されますが、国内中の同者、団体、企業から出してもらっても事業費と合わせて実現させるのです。何年かかるか分かりませんが「再生可能エネルギー」が注目されている今の時代に関心と呼ぶことは必至です。林業の町足寄町の顔になります。

新の活用、耕はCO2の排出ではプラス、マイナスゼロという化石燃料と比較しても優秀な再生可能燃料資源です。新の需要を増やすためには「新ボイラー」「北欧型の排ガスのきれいな薪ストーブ」の啓発・普及に

取り組んでいくことです。ゆくゆくは新ストーブを輸入物から国産品へと転換する産業を興していったらどうでしょうか。

「足寄アルプス」松山千春が「大空と大地の中で」を作った、その景色はスイスアルプスとそっくりな高原状の放牧地です。それには草地に牛がいなければなりません。草地です「放牧」です。アメリカ型のフリストール酪農と比べて収益では一歩も引けを取らないことは実証しています。新規就農者も、既存経営者も放牧を取り入れた経営を増やしていき、足寄町を本当の「放牧の町」に変えていくことに夢を持つことです。放牧は単なる技術だけでなく「文化」を備えていることから次から次と連想されます。そのことを一つ一つ実行していけば数十年も経れば日本版アルプスとなっていくでしょう。アルプスの景色の一つとして、赤い花ゼラニウムを町の花として少しずつ広めて行くこと、そうすれば町の景観も少しずつ変わっていくでしょう。又、農家にたいして放牧牛にカウベルを下げさせるようなきっかけを作っていけば、放牧牛の景観も名物になる事でしょう。実のなる牧柵（生け垣）をつくることもいろいろと発展が出来ます。木の実を食べた牛のミルクには独特のフレーバーが付き、そのミルクを原料としたチーズにもフレーバーが移行しますから「四季のチーズ」をつくる事が出来ます。「放牧」を文化として活かすアイデアは放牧関係者からあふれ出で来ることでしょう。

○人口減少を止めるためには、東川町のように運動を通して町全体を元気のある町にした方がいいと思いました。

○様々な取組みについて、町外からの移住者等の意見や要望を聞く機会を増やしていくべき。そのような人達をいろいろな審議会等に出席していただけるような対応をしたらどうか。

○高齢のため自ら言運転免許証を返納する予定ですが？足寄町ではどの様な、メリットがありますか。他の自治体では支援がある様です。

○足寄町の魅力をもっと発信して観光にももっと力を入れて移住したいと思ってくれる方が増えれば良いなと思います。・ふるさと納税を増やすために、気軽に簡単にできるふるさと納税の自動販売機を導入してほしいです。

○観光で立ち寄って来れる方は多いですが、経済にプラスになっているのか。プラスにするのであれば、もう少し方法を考えたほうが良いと思っています。例えば食であればラワンブキ、チーズ、いちご。それらを使った食事が提供されるところがない。チーズにしても高い。いちごはどこで作っているかわからない。もしできるようになるのであればいちご狩りとか、チーズ、いちごを使った手頃なスイーツなど、足寄にしかなくて、美味ものとなるとここにしかない、行くかになったり、取り寄せもくるのではと単純に思っています。とても良い町で環境も良いと思っています。ただ夏は暑く、冬はとても寒いというのもあるので、そこをプラスにするのか、マイナスにするのかも住環境では大事だと思います。

○チープガバメントをめざして欲しい。福祉重点な予算の拡充を。老人世帯が多いので、特に極寒地なので電気代燃料代の支給。加えて住民税非課税世帯でなく、65歳以上の世帯を。他の町でやっていることを右ならえできないのか？例えば、上下水道の基本料金を免除。加えて要望として火葬代の無料化を是非して欲しい。何かと設置形態世の中で、少しでも福祉の充実化をめざして欲しい。無駄な風呂施設の廃止。どれだけ維持管理メンテがかかるか、燃料・電気が高騰しているのが実状なのに、それなら、みんなに電気代でも補填して頂いた方が理にかなう。

○子供も大人も歩けたり、腰掛たり、ながめたり出来る公園、運動？身体を動かしても良い所、安心出来る所、山の上では才を取ると行かれないと思います。

○他町村の良いところがあれば、交流を通じてアドバイスを受け町の発展に努めて頂きたい

○足寄湖道の駅跡の再利用案として、最近ペットブーム、アウトドアブームから見て、ペット同伴可能なキャンプ場にしてはどうか。足寄湖のドックランには帯広や釧路からわざわざ来る程広さに定評があると聞



く。ペット同伴可能なキャンプ場は大変少なく、遠距離であったり、使用料が高くて、愛犬家の人達は探し、利用していると聞く。チーズ工場の隣の元レストランの厨房を直して炊事場や一時避難所に利用できれば、新たに建設するよりは費用削減にできないでしょうか。

○空き家対策、町が空洞化している、空き家を活用すべき・空き地も多く、来町者も多いが、あまり力を入れていない為なのか来町者町にお金を落としていかない、町の名前は他の管内の町村より有名なのに残念です。・役場や公的機関ではなく民間企業等の活躍も必要と考えます。何でもあるのに時代遅れの部分もあるのでは？・若い人や移住者の方々が気軽に事業や商売ができる環境支援等が必要。

○自治会に入っておらず、広報足寄や自治会回覧が見れないので、町内の行政や情報を入手できないので。高校生には色々と支援をされているようですが卒業と同時に町を出て行かれているのでは？とても疑問が残ります。足寄町は良い所も沢山あると思うのですが・・・・足寄町でとれた新鮮な野菜を安く手に入れることができないのはなぜでしょうか？チーズや乳製品もです。この町に暮らしている者だから得られるものは何かありますか。私は、本別や音更まで買いものに行きす。お風呂も上土幌や帯広まで行きます。空き家が放置されているのも目立ちます。道路沿いのゴミも目立ちます。近隣の町はもう少しきれいにされていると感じるには私だけなのでしょうか。

○行政と町民の話し合いすこしでも多くもつべきです。

○一人高齢者の住んでいる公営住宅の見回りをしてほしい 除雪もきちんとしてほしい

○空き家、廃業した商業施設などの撤去を推進してほしいです。小学生や中学生のへき地に対する環境の充実（街へのバス充実など）を要望します。

○若い年代の雇用促進

○街路樹を植えるのであれば手入れしていかないと汚くみえます。車から目視しづらい高い樹はいらないのではないのでしょうか

○自然を生かし人を呼べる町。砂川のウォーターパーク見たいな施設。中矢の道の駅を生かせるのでは。

○安心して暮らせる町にしてほしい。不安は個人によって違うが、1つ1つ向き合っていくべきだ。

私は、人口が減少しているが、そのことが少し心配である。しかし、減少は止められないと思う。

コンパクトシティとしてのあり方を考えるべきである。人を集めることが目的ではダメだと思う。魅力は経済では測れないと思う。みんなの意見をまとめるのは、議会、町長だ。センスが問われる。思い切ったことを願う。皆、変化を求めている。

○このアンケートの返信を本当にされたいと思いこのアンケートを郵送していますか？この様に質問事項が多数だと高齢者が返信できますか？途中で嫌になってしまうと思います。もう少し簡素にするべきだと思います。その時点で町民の声をすくい上げる気があるのか疑問に思います。

○行政と町民とのコミュニケーションを充実すべき。

○質問5を一つずつ実施

○教育に大変お金をつかっていると思います。確かに良いことだと思いますが、結局、優秀な子ども達は、町外へ流出してしまいます。そこに矛盾を感じます。

○入院後のリハビリ…数年後リハビリ切られたあとの対応をしてほしい。脳こうそくの後い症は、動かさないと体がかたまり動かなくなります。週に2・3回の定期的なサポートがほしい。病院でうけていたようなリハビリではなくてもいい…1人1人の対応じゃなくてもいい。複数人いてもいいと思う。家で1人でもできるような、やさしい体操サークルのようなのもいいと思う。もちろん有料でもかまわない。

○アンケートに回答してみて、自分が関心を持っているテーマであっても、足寄町の「現状がどの様になっているか」または「どのような取り組みがなされているか？」を自分が十分に「わかっていない」と感じました。ただ、実際に生活している中で、利用する医療機関や知人・友人が利用しているサービスについて

は、直面した時に知る「不満」「不安」があった時、行政として、取り組みがうまく機能していないのでは？と感じる事が多々有ります。全国的にも存在する「人材不足」など、簡単には解決できないと思いますが、ただ問題を感じた時にその原因がどのような事なのか、何が原因か＞利用者には、よく理解できないケースも有ると思います。以前は、とてもゆき届いていたのに、急にサービス低下していたり(高齢者の施設など)、担当者によって説明が不足していたり、変わったり(医療機関など)、その様な身近な問題を、現在よりもっと気軽に、話したり、尋ねたり「知ることができるしくみ」「伝える事ができるしくみ」が有ると良いのですが・・・Aメールや～以外にハードルは高い。投書やクレームとは、違う、もう少し気軽なしくみは、ないものか？…と、考えますが、思い浮かびません。

〇めざすまちづくりの長期ビジョンを策定し、その達成に向けた短期目標を設定し実行する。(行政と町民でつくる)・学生・社会人の留学制度を設ける。(人材育成)

・国民健康保健病院は、コレは大得意！という分野をひとつつって町内外からお客さん(?)を呼び込む。→他の分野もより良くなるかも？

・放牧酪農は国内外にアピールできる分野だと思うので引き続き推進する。(特に今後)

・できれば足寄湖畔お城を再生して町の生産物と景色を堪能したい…。です。映画館をつくりたい…。道の駅にオープンスペース(青空の下、パラソルのもと)席を設けてほしい。です。以上

〇足寄町は全国で町として、面積が広大で、自然環境として、良い所が多沢あると思います。例えば東西南北、温泉、オンネトー、足寄市街より1時間位いどこでも行ける利点がある。町として色々と情報していると思いますが、もっと全国、世界へと発信するべきだと思います。街の中を散策すると空家が多沢見うけられます。増々高齢化が進みますので、もっと人々を集める工夫をしてはいかがかな？例えば、企業とか何かイベントとか足寄には有名人が輩出されていますので、何とかお力添えしては、人々を寄せる工夫、高校生の増はわかりますが地方から来る学生、学ビ面、療無料するのはいかがなものか(町民ではない)もっと税金の使い道を福祉面に。これから増々町民が減少していきますので若い人達に手厚い手伝を。

〇今の世の中の情勢が悪く給料も上がらず税金ばかり上がる時代で何をどおあがいても何も変わらない本当は若い人が住みやすく、良いかんきょうの中で子供を育ててほしいが、もお世の中がだめすぎて若い人がかわいそうです。これが現実です。

〇何か言ったところで何の解決もされないのでは？だからいつもガッカリする

〇僻地校をどう考えているのか。子どもたちの人数は減っていく一方でどのような対策や支援を考えているのか...例えば足寄町の小学校で不登校の児童などもし大人数とか人間関係などが原因の場合(環境が原因の場合)僻地校に通わせられないのか、環境を変えるのも一つの手ではないか。交通の便などたくさん問題はあると思うが、地域に住む子ども達の今後が心配である。

〇命にかわる家に入っているのに年金とか低くて駄目ビクビクして入ってます。あいてるのに命が大事 少しの間でも入れて下さいなぜ駄目か自分で入ってみなさい

〇子供には保育料無料、給食費タダ、塾もタダにしているが、高校卒業して大学に行っても帰ってきて働く場所がない。もっと働ける場を作ってほしい。・小さい子供は何かと帯広まで病院に行かないと都合が悪い。小児科、眼科、皮フ科があれば良い。

〇町の中心部の商店街をもう少し活性化する方法

たとえば個性的な取組みをする商店(各地の酪酒)そして各地のユニークな商品の販売などを行う仕組み

・今から10数年前に他の地域から町内に居住してきた人が足寄の町はイベントの多い町ですねと言っていました。最近足寄町のメインとなるような行事がありません。日本一広い足寄町を知ってもらうための農業でも足寄和牛が今クローズアップされていますので商工業者とも連携をとり何か目玉になるようなイベントの開催を望みます。

○町内には様々な特技をもった方々がいるはず。そういう方々をピックアップして、データベース化することで、各種団体が活用しやすくする。例えば、文化的な活動をしている団体や個人があるなら、町内会や自治会の集まりに呼んでもらうことで娯楽と活動の場がお互い満たされるのかと思います。

○子育て支援について、何もかも無償というのは理解しがたい。昔だって生活苦の方は沢山いた。給食、医療、学費等の無償は理解するが、海外への費用、修学旅行、学生寮の補助などは時期がはっきりしているので、事前に積立てなどして対応すべきだと思う。又、これだけ子育て支援したところで地元に戻って働き手になる子供が全体の何%だろう。雇用先が増えない以上、人口増加もむずかしいのではないかと。特に介護職の方々が仕事の内容割合に対して給料が安いということで、敬遠されているので、町独自でもそういう方々に対しての援助するだけでも雇用は増えるではないでしょうか。これからますます高齢?の方が増加するのに施設また、そこで働く方の確保が急務になるってくると思う。又、駅前の空洞化が町の衰退を物語っている感じがする。一次産業の活性化が町全体の活性化につながってくると思います。せっかく移住してくれて、足寄で農業を頑張っている矢先にこの物価高騰、資材高騰、販売金額の下落などで心が沈んでしまうのはとても残念です。経済的にもかなり厳しい状況に落ちているのは確かです。それは何代もこの地で営農してきた方も同じです。営農に見切りをつけてしまう方もこの先多数出てくることも考えられます。もっと現状に目を向け対策を講じてほしいと切に願います。

○高齢者の就労の場所の確保など、年間通してあれば最高です。医療の方ももう少し充実してほしい。

○議員定数を減らす！（13名から11名に）

○これから先は人口減が避けられないので、足寄町は大面積を利用した期間産業(農育林)に重点をおきまちづくりをした方が良くと思います。パークゴルフは大幅な利用減になっているので、小規模なパーク場(グリーンヒル・ウエストヒル)は廃止にして、経費の節減に努めた方が良くと思います。※利用者余りにも少なすぎる(1~2名)利用だけ。

○町の中心部の都市計画等、シャッタ街をどの様にしたら良いか？まずそこから改革した方が良く思う。又、道の駅等音更や内地の道の駅の良い所を取り入れて、若い人の雇用作りをした方が良く。足寄町の良い所は他多あるが今後どのように行かかとも楽しみです。あとスーパーがフクハラしか無いので、Aコープの復活とか町が補助金出してでも誘致してもらいたい。

○町の広報見ると人口が減少していますね。高校卒業したら就職する場がないから結局、他の市町村へ出て行ってしまいます。これでは益々人口減ってしまいます。町としていかがでせようか 以上です

○足寄町が行っている事業等のアピールをもっと広く、強くした方が良くのではないのでしょうか。後から行ったように言われてしまっているのが、残念に思います。アピール不足、アピール下手な気がします。

○町内会に入会しなければゴミステーションが使用できないこと。はじめてのしくみに出会いました。不便です。下水道ではないところがあるため、水洗トイレではない。くみとり不便。近所にゴミを燃やしている家があるが、においが風にのってくさくてたえられない。町内会がゴミ管理して、もやすのはもくにんはどうかと思う。

○教育に関して、補助すべき家庭には必要ですが、全ての人に対しての無償化をやめてほしい。何でも、誰でも無償化は結局、人をだめにする。無償なのに不平不満が多いことを聞くと、税金を払っている人間は腹が立ちます。あと、町は、働けない人と働かない人をしっかりと管理してほしい。働けない人に補助される権利はあるが、働かない人に補助金を出す必要があるのでしょうか。今の足寄町は、働かなくても生きていける場所と言われてもおかしくないと思います。

○便利さをいくら追給しても都市部にはかなわない。便利ではないが、都会よりも時間の流れはゆるやかな気がする。そういった山間部ならではの魅力を発信していけばいいと思う。

○高校から先がないので、若い人が町外へ流出してしまうのは、ある程度仕方がない。足寄町で生まれたかど



うかではなく、この町で生活したいと思えるような魅力を多くの人に感じてもらうにはどうしたらいいの  
か。

足寄と同じような悩みを抱えている自治体は日本中にあると思うので、先進的な取り組みをしている自治体  
に学ばばいい。

○①公共施設や街中でアンケートを取るなど、広い人から意見を集めた方がよいと思います。

②アンケート項目は、街づくり・情報発信・子育てなど項目をしぼってシンプルにした方がよいです。

これからも良い街づくりがんばって下さい。とても住みやすい街です！あしよろ

○独居老人の増加に対する取り組みを増やして欲しい。将来、祖父母や両親を置いて町外へでた時に医療や  
福祉の力が必要になる。

○①足寄町道の駅の景観について、花畑雑草が多い。他町村から見えて現状はどうだろうか？

②駐車地の物販店の問題、休みによろうとしても店が閉まっている。数年毎に公募して新たな店を考えて  
は。

③農協の観光客の道の駅の開店時間等明記しては。

④里見が丘公園の整備について、毎年春は花は咲かず、秋は数十名の人達によって草取りをしています。芝  
さくらはどうなりましたか？基本的に土の問題はないのか、費用対効果はほんとうに良いのでしょうか？一  
考を

⑤ふるさと納税について、本町はどういう返礼品を用意しているのか？公報等で周知しては？

○これ以上は考えていません、十分住みやすいですから。いろいろ考えていただいて感謝します。

頑張ってください。これからの人達のために。

○これからの事を考えて生活することは考えておりません。今日1日1日の生活です。

○私は、じもよめない、スマホもできない、インターネットもできない、いまの若い人のようにできませ  
ん。私にはむずかしいです。

○まちの10年後の姿が見えない、想像出来ない。・ふる里納税を積極的に⇒5億くらいを目指して欲しい。

・町民のふる里意識の向上対策・まちを思う気持。・足高生がカナダ研修を実施している事を考えた時、町民  
還元として町民が片言の英語のしゃべれるまちにする方向に町民を方向づける。

・町議さんの年収大幅増→350万以上～400万位にして大局的視点からこのまちを考えてもらう。

○情報化社会と言われていますが、足寄と検索してもあまり情報は出ません。昔の人は松山千春さんを知っ  
ており県外の人でも足寄を知っていましたが、20代、30代の人には知らない人が残念ながら過半数だと思いま  
す。情報を発信していくことが大事だと思います。(地名を知ってもらうことは大事だと思うので)

○自治会活動が地域住民の高齢化、人口減少で活動できにくい。合併など再編成の取り組みを進め自治会活  
動の活性化を推進してはどうか？

○人口が減ってきてるので子どもをうんでもそだてやすい環境がしつようだと思います。

地球温暖化が進む今、こんな紙を使うアンケートなど無意味。こんな事に紙の無駄遣いして地球沸騰の時代  
がすぐくるワ。

○町民より町職員が頑張って足寄町が良くなるように考えてほしいです。足寄町を良くするのは町職員の意  
識を高くする事。ボランティアで町を綺麗にしてほしいです。草が生えてるヨ。

○まちづくりにおける新たな取り組みをもっと住民にいていねいに伝えてほしい 移住・定住してもらえる環  
境をととのえてほしい

○エネルギーで自立しているまち 1ターン、Uターンが可能で町外に発信しながら稼げばまち

子たくさんで暮らせるまち グローバルあたりまえのまち おいしいものがたくさんまち

余生を送れるまち

○熊出没が多いので、子供向け大人向けの対応教室があれば良いと思う。

○行政と住民の距離が近い町だと感じています。足寄町に移住して自分らしい生き方をしたいと思っている人たちが夢を実現できる町であれば、足寄に住んでみたいと思う人は増えていくと思います。

元々住んでいる人たちも含め、知的な体験ができるイベント等が増えたら、魅力的かなとも思います。(ホールの充実)

買物できるお店と、医療施設が少ないと感じています。耳鼻科や皮膚科など、出張医師でもよいので、町内で診てもらえたらよいなと思っています。

○雇用を確保し、若い世帯への支援の充実、教育環境の整備を支援 税金を払っている若い人達が希望の持てる町を目指して下さい

○街の活性化につながる基本となるものは、企業の誘致し働きやすい環境を作ることが町の人口の増につながると思います。いかに足寄町が大きくなればたくのは、管理者のみでは出来るものではなく、職員、町議の関係含めて汗をかく事が大事ではないか。

○利便性や時代の流れでデジタル化を進めていくと思うが、なんでもかんでもデジタル化すればいいというものではないと思う。雇用がなくなる。情報漏洩が心配。

○足寄に住む町民は、町がきれい、そして元気な感じといった印象で、良いところもある。小さいころから住んでいるので、足寄の町が住みよい町であってほしい。

○家にはスマートフォンもない、インターネットもない このようなアンケートは、高齢者には難しいです

○子育てに重点がありすぎて独身者への利点が皆無

子持ち以外には住みたいと思う点が地政的点しかない(帯広、北見、釧路の3市へ同時間程で移動できるくらい)スーパー、ドラッグストア、コンビニが閉店したら困るので、商業面に力を入れてほしい

○企業誘致をもっと進めるべき

○足寄町はどんな町かを1回見直し、どこに問題があり、その問題をどう解決したら良いか、今までの考え方ではない別の方法はないかを考え、足寄町の魅力を引き出せるように、人を集められる町にしてほしい。

ただの空き家対策ではなく、付加価値を付け、どれくらい役に立つかという事も発信していく

農家も高齢化になり、跡を継ぐ人もいなくなって、第一産業も衰退していく中で、育成も大切な事と思います。ただ作物を作るだけではない、それを使った生産ができることを考え、その魅力を発信し、繋げていける事も大切だと思います。

○防災あしよろはやめて下さい。うるさいだけで、ハウって聞こえません。ただの騒音を金かけて流さないで下さい。子育て支援も全国から子供集めて教育して大学は町外、二度と戻ってこない。意味がわからない。

ごみ袋も高すぎる。住民のために税金を使う方にしなければ、どうにもならないと思います。

建設会社とか道路工事はばかりしないで、この町の資源を見直したらと思いますが、立派な建物があってもバリアフリーは端に追いやられ、使いづらいです。こういうアンケートも紙代、送料、印刷代、やってる感で無駄すぎる事かえた方がいいと思う。

○高齢者になったので、このまま住んでいる自宅など、これからどうすれば良いか考えさせられます。

また、お墓など、墓じまいなど、それは足寄町で集団墓地など考えてほしいと思います。年をとってくると、自宅の処分など考えることが多くなってきました。物価は上がってくるし、年金だけではやっていけなくなってきました。いつまで働けばよいか、まあ、元気であることが今は一番だと思っています。老人ホームも年金ぐらいいでも入れるようにお願いします。

○緊急を要する急病時の帯広などの大きな病院への搬送を速やかに行う方法の改善を希望します。

足寄で1時間、帯広まで1時間、帯広の病院でまた同じような検査に1時間、助かる病氣も助からない。



命に関しては、ある程度あきらめて生活するしかない。人口減少にも関係あると思いますよ。実体験です。  
○医療の面でとても不便なことが多い。ほとんど帯広か音更にいけないことが多く、農業に従事しているので困ることが多い。

○ゴミの分別はもう1度考え直す所があると思います。

○学生、外国人の移住雇用の仕組みを私はしてほしい。空き家の活用に取り組んでほしい。足寄には自然の良い観光スポットが多くある情報発信してほしい。

○町内会長から”足寄に来てくれてありがとう”と言われ、その意味がわかりました。毎月の人口減少です。今月は-28人となっていました。何か不満があるから、足寄町を出て行くのです。おそらくあと2~3年には-1000人ぐらい減少するのではないのでしょうか？以前2万人いたと聞いて、何故？と思いました。上士幌に行く所の”富士ドライブイン”、イエローグローブ前のつぶれたパチンコ屋をそのままにしている事。阿寒湖観光に行くバスは、そん前を通るのですから、観光客から見て、さびれていナァー！と思うのです。バスを止めて、観光出来る場所（〇〇狩り、松山千春様記念館を作るなど）。里見ヶ丘公園は春の芝桜しかないので、夏、秋と花の美しい町があるといいです。十勝にはトップクラスの”ガーデナー”ランドケーブルなど賞しょうを取得している人も何人もいます。ガーデナーにたのみ、プロの人に里見ヶ丘公園を美しく、公園で楽しみ”あしよろバス”で公園前で降ろし、あとバイクで周遊している人に1泊4,000円ぐらいで提供して再利用出来ないのでしょうか？キレイなホテルですけど、中は汚いのですか？町の市役所の方が調査すれば？がん（PETとかウイルス）→医療は進化している。

○小児科体制をもっと良くしてほしい。週1のAMだけDr来ても全然頼りにならない。子育てに力を入れてると町で掲げているのであれば医療も、もっと目を向けてほしい。帯広のHPまで行かないといけない不便もあり、小児科で検査（Rs・アデノ・ヒトメタなど）しないとわからない子供特有のカゼもあつたりと。働いている親は、帯広まで行けないからと検査もせず、保育園に行かせ、そこで感染が広まりと。足寄に小児科医がいてくれれば、安心なのはもちろん、園での感染も軽減できるのではないかと思います。小児も見れますDrではなく、“小児科Dr”を。やはり専門医が良いかと。子育てしやすい町は、保育だけではなく、医療面も含めてだと思えます。すぐに診てくれるHPがあることは親にとってとても心強いです。カゼだけではなく、病気の早期発見にも繋がると思えます。足寄町に、小児科医常駐を強く願います。そのようなところに、お金を掛けてもらいたいと思えます。

○①足寄町の情報をホームページで確認しているが、見づらいつ感じています。日頃、防災無線（在宅時室内で）聞いていて、わかりにくいときにホームページを見ますが、防災無線の内容になかなかたどりつけずいつも困ります。②今年は北海道も例外ではなく暑い夏で、小中学校に通う子どもたちは暑さで体調を崩す子が毎日出ていたと聞きました。教室にエアコン（それぞれの教室にひとつではなく、主に使用する場所）を設置するのは難しいでしょうか。窓を開けたら熱風が入り、窓を閉めても日差しと湿度の高さで咽吐する子、咽気を訴える子、熱中症のような症状がでる教室では心配です。先生方も暑さ対策を工夫してくださっていますが、工夫だけでは対応できず授業時間を繰りあげて下校となっていて授業の遅れも心配しています。毎年全国的に異常な暑さの日がある中、新たな対策としていかがでしょうか。

○お願いとして、冬を迎えるにあたり冬季除雪での敷地の入口に固いかたまりを置いていかれると近隣もそうですが高齢になり大変です。除雪される方も大変でしょうが考えていただきたい。

○将来的に町の情報発信についてSNSなどで充実させたほうがよいと思うが、現時点で町内の高齢者はSNSをつかいこなせてはいないためしばらくは紙ベースで行ってほしい。本アンケートで意見が寄せられたもので実現できた案件を何らかの形で公表願います。

○町の面積が広く行政サービスが大変かと思いますが、元々住んでいる人も、移住者も含め人と人がつながれるようになると一人暮らしでも安心です。理想は、昔のような地域の見守りが機能することです。

○子育て、不妊治療の支援を増やす。また、教育支援にも力を入れ、次世代、若者流出を防ぎ少子化対策していく。・空き家等を壊すための助成、または活用して、若い世代の家を建てる環境を増やす（実際に、周りの人々がそう言っているのが多い）・防災放送（8：00、18：30）がうるさい、ストレス

○小さな子供が安心して遊べる屋内での施設が欲しいです。お母さん達が他の人々とつながる場、赤ちゃんも一緒に出掛けて集まれる場が欲しいです。可能であれば授乳スペースや小さな子供向けのトイレ、食事スペース、オムツ交換や着替えのできる清潔な空間があれば嬉しいです。（北海道は冬が長く雪深かったり、氷点下の気温が続くと子供を外につれて出掛け遊ばせることも難しいため。）ママ友ともよく、そんな場所があると嬉しいと話しています。

・小学校にクーラーをつけて欲しいです。ここ最近の北海道は気温が高く、クーラーのない教室で勉強するのも集中できないと思うし、熱中症になれば命も落としかねません。地球の温暖化は今後も進んでいくと思うのでこれからの子供達のために早急に学びの場での空調管理をお願いしたいです。夏休みなどのチャレンジクラブで子供を送り出しましたが毎回、熱中症にならないか心配していました。他のママ達も心配だと言っています。また、個人的な事ですがケアハウスや老人ホームなどにもクーラーをつけて欲しいです。今年は特に90代の高齢者が熱中症になり救急搬送されていました。皆さん、屋内に居ての熱中症だったためクーラーがあれば、違っていたのではと考えずにはいられませんでした。

○町の中に大きくなる木を植えない事です。

○無駄なCPのない予算、加えて実質必要とする予算のあり方の見直し。CPのない施設の建設を止め、ソフト面で中・高校一貫でないのも、まして義務教育でない高校、学習塾の廃止。無駄をやめるべき。

危機管理として、ひなん場所の拡大、拡充。大地震や火山の噴火等で道路の寸断の前に拡充・見直しを。

○質問6に記入した通り、長く家族で住む上で重要なのは医療、教育、老人介護機能の充実であると思います。家族が安心して子どもから老人まで生き生きと生活できる環境が整っていれば、長く住みたい町になると思います。

○前に一歩出る為の勇気！

○必ず成功するモデルは、存在しないと思うが、どこの町でも色々な取り組みをしている中で新たな取り組みがどう企画し実行するのか興味あります。

○1.「農は国の基なり」というが、当然人間は食べないと死んでしまう。アフリカ等の人口増で、食糧不足は必ずくる。（新聞）国、道、町が自給率向上を真剣に考えなければ子供達の食べるものがなくなる。（牛のエサも輸入だが・・・）

2.「有機農業」と簡単に言うが、化学肥料→有機→病害虫多発→減収→となり農家の所得補償がない。

3. 行政手続きがオンライン化は良いのだが（若い人には）、70～80才の方々は自分の親も含め「何のこと？」と思う。補完対策を充実させるべきと思う。

4. 生活保護制度はあるにせよ、国民年金のみ6～7万円/月程度 物価高騰で生活は無理。今まで、日本を守って来てくれた高齢層に優しくない気がする。

※町の問題でないのであれば、十勝支庁→道→国（代議士さん）に伝達して頂きたい。

○国道沿いの街並みがとてもさみしい。

○新たな取り組みを行う為に、まずは今まで行ってきた増加する一方の事業をリセットする事に取り組んでほしい。

○北海道は首都圏と比較すると発展途上のままで、この先大きな躍進は見込めないと思っています。なので少ないパイをどうやって逃さないかが大切になるでしょう。現在気になっているのは高速道路建設工事です。高速道路完成と同時に「人が町に立ち寄りなくなってしまう」という話は飽きるほど聞いてきました。なんらかの対策、施策はお持ちでしょうか？それとも他の地域と同じ轍を踏むつもりでしょうか？もはや道

路建設期間中の人の出入りだけに期待する時代ではないと思います。外部からやって来たばかりの何も知らない余所者の意見になりますが、帯広北見間の中間的地域として陸別町と連携して、高速道路のスマートICをこの地域に作るようにできないかと思っています。それに併せて大規模郊外型商業施設を誘致するのはどうでしょうか。帯広と北見の中間で人の流れを留めて引き受けるような形にし、商業的な雇用の確保から町の全体的な活性化に繋がっていけば良いと思います。人口減少が進むなか、特にまちづくりに関しては尻すぼみの未来しか想像できない時代になっておりますが、あれはできない、これは無理！と考えるのではなく「どうやってできるだろうか」という視点で様々なことに取り組んでいけば、きっと応援したくなるまちづくりになると思います。

#### ○教育現場にエアコンの設置

せっかく足寄牛というブランド牛があるのにもったいないと思う。串焼きを道の駅で販売したりお肉を購入できるところが欲しい。

レトロブームにのり古い家屋を利用したカフェとかあったらいいなと思う。

里見ヶ丘公園の整備、温泉施設の建設、オンネトー施設の建設などで足寄を訪れる人は増えたのかとか経済は上向きになったのかなど知りたい。

○アンケートで町民の思いをまちづくりに反映させるのは良いと思いますが、誰しも自分自身にとってメリットがある分野にお金やマンパワーを使ってほしいと思うものです。(例えば、高齢者であれば医療分野、職業が農業であれば農業分野、子供がいる世帯なら、教育分野など) 限られた予算の中で、あの分野もこの分野もとなると、費用対効果は今ひとつとなってしまうことが予想されます。また、アンケートで要望数が多いことが、本町に本当に必要なことなのか吟味してほしいです。(例えば、人口比率でいえば、高齢者>若年層という構図は変わらないのだから、数が多い=町民意見とはなりません) 私は、まちづくりに関して斬新なアイデアを持っているわけでも、町議に立候補して町を変えてやろうという熱意も持ち合わせておりませんが、いち職業のプロとして納税という形で、まちづくりに貢献しているものだと思っています。あとはあなた方がまちづくりのプロとして、それをどう使えば良い町になるか、考えて頂けることを切に願います。

○町職員自らが考えるのではなく、町民に広くアイデアを募集したり、町民自身にまちづくりをしてもらう仕組みを作してほしい。

○伝統文化、地域特有の慣習、の保存継承をしつつ時代に応じたまちづくりを官民一体となって推進していけるよう意識改革に取り組むことが先決課題であると思いますので今回のアンケートは有意義だと思います。

#### ○人気キャラクターと町のコラボ企画

○子育てを頑張っている方の支援(仕事をしてない人にも)

エアコンを小学校、中学校、高等学校につけてあげて欲しい(命に関わるため早急に)

子供が参加できるお祭りを開催してほしい

お年寄りと子どもの交流

足寄町内の病院で、感染症の検査を受けれる体制を充実させてほしい(足寄で検査できなく他町村に行って検査する方が殆どでありすごく不便)

○すべての取り組みに対してITを活用していく

○雇用先の確保が何より必要だと思います。転出する人数が少なくなり、転出したものがさらに充実した住宅があれば、かえてくる者も増えてくると思います。

○観光でSNS等を活用して、足寄の魅力を発信するなど、特に夏はライダーを多く見かけるので、ライダーズハウスやキャンプ場でツーリング拠点として長く滞在するような工夫があると町の活性化につながる



思います。サウナとかも。

○例えば、両国花火大会ですが足寄町民の為の花火大会だが、近年地方から来場もかなり多いのに対しお店の出店者が少ない…町内限定での出店には少し無理があるのではないのでしょうか？町外からの出店者には花火大会の協賛金を頂いて出店して貰ったり、少し場所代を高めに頂いたりとか、町にお金が落ちる様にとか考えながら賑やかなお祭りには出来ないものではないのでしょうか？

○高齢化と人口減少に加え、市街地でも空き家や廃屋が目立ちます。駅前や三笠通りの景観が悪く悲しくなります。

僻地では若者を見ることが少なく、町内会活動など難しいのではないのでしょうか。

インフラは整備されていますが、このまま数年後に今のように住み続けることができるのか不安があります。

高齢者」子育て世帯にとってとても良い町だと思います。

しかし、10代後半から20代頭ほ若い方にとっては東京、札幌と比べて仕事の幅が狭くやりたいことがない、魅力が感じられないと思うかもしれません。

現実的には難しいのわかりますが、北広島市のファイターズ誘致や大樹町のホリエモンのロケット開発のような何かが必要かなと思います。

インターネット回線があれば仕事ができるのだから、例えば大企業のオフィスを誘致し、税金を数年輕減するかわりに足寄で生活していただくなどどうでしょうか。

人が増えれば町は活気付くかもしれません。

きっとみなさん考えたことだと思いますしそんな簡単なことではないのでしょうか…

○企業誘致に徹底した補助

起業志望者に徹底した補助

日本全国から企業、起業者を集めるだけの優位性を提案する。初期投資が最小限でチャレンジ出来る街にすべき。日本全国からチャレンジしたい人を集める。収入が得られない街には人は来ない。

まずは収入を得られる、稼げる、街にするべき。そうする事で出産子育て支援も学校支援も生きてくるし、医療、交通も拡充してくる。高齢者対策も生きてくる。人が集まれば自然と暮らしやすい街になる、活気のある街になる。帯広、釧路、北見 各都市の中心の街として生産物の出荷、集荷、物流拠点としての考えを持ちサポートして行く。生産物、サービスを対価に変えられる補助にも力を入れる事で初めて稼げるようになる。町民の暮らしやすさも重要ですが、それだけでは街は縮小していきだけ。地元に残りたい人もいますが、条件が合えば移住希望の人もいる。日本全国人口減少のなか、人の争奪戦です。いち早く足寄町の稼げる街としての優位性を打ち出してほしい！いかがでしょう www

○人口減少はどの自治体も避けて通れないことですが、急に来るか穏やかに来るか。地元の子供達が減少していくので、出て行かないように、また戻って安定した収入が得られるような、就労環境がどうしても必要になります。今は高度情報化、超スマート社会です。都会から離れていてもビジネスは成り立ちます。リスクは伴いますが、広い土地柄を活用した企業誘致を提案します。情報発信、広報、今いる世帯へのサービスの充実と併せて取り組まれてはいかがでしょうか。

○郊南地区には公園が無く、子供達が遊ぶ場所は道路です、又高齢者も多く散歩していてゆっくり休む場所がありません、今後の計画をよろしく。

○郊南には下水道が来ない、うわさ話が聞こえています、過去町のアンケートが3回ほど届いています、1回目は下水道が通った時には必ず繋ぐ様に印鑑も求められました、2回目は繋ぐ意思の確認、3回目は繋ぐにはこのぐらいの金額がかかりますよ、と言うアンケートです、郊南に下水道を通して使う世帯が少ないので通しませんみたいな 運び方をするのは良く無いと思います、予算が付かないならその説明をしっかりと

るべきです。その後郊南地区はトイレ、生活排水をどうするのかを共に話し合っていくべきだと思います。  
○多世代交流の場を積極的に創設して、世代ごとのニーズを把握すること。それらの活動の中で生まれた、  
町民からのアイデアを積極的に取り入れること。

○移住促進のための働く場所づくり、イベントの企画・ふるさと納税返礼品の充実

- ・ホームページ、SNSなど情報発信の充実、専門スタッフによる発信
- ・足寄と言えば→〇〇の認知度を全国に発信 ラワンぶき、松山千春だけでは弱い
- ・アドベンチャートラベルの専門スタッフや外国人受入れの準備
- ・阿寒湖への観光客をオンネトー、足寄市街地にも足を伸ばしてもらって観光ルートを強化する（阿寒町との連携）

・国道沿いの牧場に協力してもらい、牧草ロールの黒いラップフィルムにスプレーアートをして、新聞やSNSで発信してもらおう。期間限定で見られるアートに集客効果あり？！

・都会のシャッターにスプレーアート（イタズラ描き）する方を敢えて集めて、牧草ロールに描き放題できるイベントを開催する。広い大地で思いっきり描いたら気持ちが良いかな～

○移住者だけが目立つのではなく、足寄で生まれ育った人達をもっと意欲的に活動でき、危機感を持つような意識改革が必要。在住者、移住者が共に、同じ方向に向かっていければ、

○医療をもう少し重点的に発展させるべきだと思います。

○部活 少年団活動の外部指導者の確保

○人が住みたいと思う街作り働ける施設を作る

○このようなアンケートはとても良いと思いました。普段まちづくりに参加していない人でも、私の声も拾ってくれるのかと嬉しくなると思います。ただ、自分が核家族の場合、高齢者施設のことはほとんどわからないし、高齢者であれば子育て支援についてわかりません。商業者であれば農林業のことはわかりせん。そのため、アンケートの選択肢に「該当者でないためわからない」という項目も設けるべきかと思います。どちらでも無い、が普通という意見なのか、知らないからわからないのか集計しても判断ができないと思いました。

各方面にきちんとお金を使ってくださって、住み良いまちだと誇らしく思います。行政の皆さんが国の支援を求めたり、各方面の声をしっかり拾ってくださっているからだと思います。ただ、行政会計もゆるくないと思いますが、その中割り振りしてくださってありがとうございます。まちを守ってくださっている役場の皆様には心より感謝しています。

町民として、雇用を生み出して、移住者を増やすのが夢です。また町外からの外貨を稼いで町内に落とすことを意識していきたいと思います。

まちづくりは、自治会から始まると思っています。各世代風通しよく、キーワードにもありましたが思いやりを持ってまちを守って行く気持ちを育てたいと思いました。

老人ホームと保育園を近くしたり、互いを知らないと思いやりを育むこともできないのだと思いました。

（足が痛くて辛いんだらうな、子供達はあっちいたりこっちいたり子育て大変だなとか、病院で療養している人たちになかなか会えない世の中なので、窓越しに子供達の歌を聴かせるとか）それがあった足寄町で育ちました。カナダのホームステイにも行かせてもらいました。足寄町に育ててもらったという気持ちがあります。個人や家族が分断されて寂しい世の中だと思います。みんなを包み込んで、その中で互いに支え助け合う人が増える様な、そんなまちづくりをお願いいたします。いつも、ありがとうございます。

○学校や住宅等の冷暖房の充実や支援 熱中症対策支援

商工会、観光協会等、クーポンや割引、特典等の町民へのサービスの充実

○子供を育てやすい町をめざしているのであれば、まず小児科医の常駐をお願いしたいです。それと、こと

も園の入園も年度ではなく3歳になった時点で入園可能にしてほしいです。年度だと、4月生まれと3月生まれとで家庭で見る期間が1年も違うので。それが難しいのであれば、せめて3歳の入園前の子の一時保育料も無償化もお願いしたいです。

○左官業や板金業など後継者のいない職業の後継者を町が積極的にかかわって見つけて欲しい。それが町を衰退させない事につながる。

○イベントや催し物が、どうも内輪だけで盛り上がっている場合が多い気がする。もっと町外に目を向けて人を呼び寄せるようなイベントが必要ではないだろうか。

○子供への医療体制。

○もともと町にいる人にも何か還元してほしい

車で曲がるときに街路樹で安全確認が辛い場所が多くある

町であった苦情や苦情に対する対応を広報誌に乗せたりしたほうがいいのではないかとおもうどのように対応しているのか町民はわかりづらい

○国道に面する空き地を減らしたほうが良い。活気が無いように見えると思う。

○雇用の創出。できれば大きな企業の誘致。それが労働者人口を増やし、出生数を増やすと思う。小手先のちょっとした政策で予算を少しずつ消費するくらいなら全国ニュースで取り上げてもらえるような規模のことで大きなことをして欲しい。そういうときは町民の中で強い反対派も出てくると思うが、そういう時こそ町長のリーダーシップが発揮されるのだと思っています。

もう一点、雌阿寒岳、オンネトー以外の観光におけるアピールポイントの発掘。クマネシリ山塊なんかもう少しつかえないですかね？そうすると大雪山系から阿寒にかけて繋がりが出てくるかなと思います。

○医療を充実させてもらいたい。

でも、スーパー、薬局、ホームセンターが揃っていて、普段の生活には困らないので、暮らしやすい街ではある。

○高齢者町議から若者へ交代し新しい考えの以降。

○高齢者福祉への対策

○早急に暑さ対策の実施。小中学校各クラスにエアコン設置、図書館、町民センターなど公共施設も涼しくして欲しい。

○医療の充実

○学校教育はもちろん、スポーツを通じた人間性の発展に寄与する教育。指導者の担い手育成と環境整備。

→学校教員の少年団・部活離れが進むため。

子供たちが安全に安心して暮らせる地域醸成。

→軽・重は別にした犯罪（性犯罪）またはそれらの予備軍が発生しないような取り組み。

○足寄町の自然を生かし、北海道の魅力を発信すること。北海道はおいしい海産物、乳製品、和牛、スイーツにすぐれており、足寄町としてではなく北海道の一員として何をしたら北海道の人が豊かにくらすことが出来るのかをトライアンドエラーをくり返し良い物を作り上げていくことが必要です。具体的な例をあげると花火大会です。十勝川花火大会は全国でも5番以内の花火大会です。運営資金は広告料収入です。足寄町は町内業者の寄附に頼っています。このままのやり方ではいずれ花火大会自体資金不足でできなくなります。

物販販売です。午後6時に行きましたが、大行列で買えません。そしてほとんどが売り切れていました。

○足寄町で行っている支援等を大々的にアピールしてその良さを町外の人にも知ってもらおう

○里見が丘公園の野球場とパークゴルフ場の間の道で直してほしい場所があります。

公衆トイレの横あたりまで歩道がありますが、歩道の終わりにスロープ部分がありません。



車椅子やベビーカーを押して散歩している場合、かなり回り道をしなければ、歩道にあがることができない（歩道から降りることができない）ため、スロープをつけて欲しいです。

また、この場所は割と最近工事が終わり、道路が新しくなったばかりの場所です。

今後公園の整備などをする場合は、車椅子やベビーカーの方が生活することも考えて設計して欲しいです。

○子育て支援の充実した町であることを道外（特に関東圏等）にもっともっと情報発信しシングルマザーの移住を促進する。介護スタッフの育成、充足。介護士、介護福祉士、ケアマネージャー、ヘルパーの養成を積極的に行い 「人に優しい町」「子育てと介護の町」

○現役世代を増やさないことには、どのサービスも継続できなくなる。何をやるにも人がいなければできない。いかに現役世代が町に来てくれるのか、残ってくれるのかを考えた施策をしていかなければならない。そのためには今まで無料で行っていた公的サービスや高齢者等へのサービスを見直すことも必要と思われる。

○人口減少に歯止めをかけるため、雇用促進、少子化対策を強化していくべきと思います。

○雇用の確保 医療、介護機の充実を望みます

○①人口減少は避けられない（不可なことに予算を投してもムダ）②現在居住する人が少しでも充実した生活ができる様に予算を③具体的には高齢居独者や老々介護の方へのサービスの強化④人口は減少しても来訪者を増加させることは出来るはず⑤元来持っている町の魅力のアピールと充実を。

○老朽化した空き家対策、補助金のアップ。町道の路面（舗装）の老朽化による路面の更新

○働ける場所、子供達が住みやすい環境、移住者を増やす事が良いと思います。

○有名人の輩出

○足寄町に越してきて一番思うことは、「寂れた町に見える」ということ。いたるところに閉店した店や半壊した空き家があるまま残され、暗い印象を受ける。地域の取組で景観を良くするために花を植えたりしているらしいが、崩れかけた空き家だらけの土地に花を植えても景観は良くなるのではないかと思う。

○子育てをする中で、足寄町内に常時小児科の専門医がいなことはとても不安です。毎日居てくれる小児科の専門の先生を希望します。今年は暑い日が続き子供達を学校に行かせるのが不安な日が続きました。学校に早くクーラーがつくことを願っています。

○高齢者等が帯広市内の医療機関に入院加療した場合において、入院期間が3カ月となるとその多くがリハビリテーションを専門とする医療機関に転院となり再度3ヶ月の入院加療となります。その期間中に医療ソーシャルワーカーが中心となりカンファレンスが行われ、老健施設や老人ホーム、グループホーム等への入所申込を高齢者の関係者に実施するよう促されます。この場合、実体験としてですが十勝管内の全施設に直接電話し施設等に出向いて説明を聞いたりするものでした。

いわゆる2035年問題としていわれておりますが団塊の世代が85歳となり、高齢者人口の爆発、介護人材、介護施設が確実に不足する中において、当町の医療と介護の受渡しをする人材は機能しているのでしょうか。入院加療期間を過ぎても、高額医療費制度のもと入院していた方が介護施設に入所するよりも安価であること、行くあてがないという関係者のわがまま、あるいはソーシャルワーカーの怠慢により、入院病床の圧迫があるのでは？

帯広の医療機関のソーシャルワーカーのように医療機関から次の施設への退院、入所管理が確実にできる体制、能力のある職員がいないと病院、施設のパンク、また、介護難民がでるのではと危惧しています。

○人口増加に固執する必要はないがこれ以上の流出は防いで欲しい。古民家を再生して利用するのも良いのではないか。

○町営住宅の収入制限を越えるあたりの世帯については、住宅が見つげづらく、出ていくか家を建てるか中古で買うという形になると思うので、世帯用の賃貸物件を増やす、すでにあるならインターネット等での賃



貸や中古住宅紹介の強化、町営住宅の入居条件の緩和などの対策を実施すべき。

○町行政にかかわっている職員のみなさんは、日々大変な思いをしながら業務をしていると思います。

これからも、ご自身のカラダがイチバン大事ですので気を付けて働きやすい職場環境を作っていただきたいと思います。

○重点的とり組みではないのですが、「町内の美化」にもっと力を入れてほしいです。せめて、大きい道路沿いだけでも雑草をなくし、空き地の雑草をなんとかきれいに見える程度にと…。近くの町と比べても当町は本当にきれいでないです。花を植えるのが大変なら(除草は必ず伴うから)土を埋めて植え木数本程度でおさえても良いかと思います。常にパソコンにむかっていて町民との対応に冷たい(感じがする)職員の何割かを外の仕事に当ててもよいのではと見ています。パブリック・サーバントの意識がほしい。

○町職員の町づくりに対する積極性があまり感じられないように思います。町民も大事ですが町職員の姿勢が伝わってくれば町民も変わるように思います。私はそこに期待をもちたいと思っています。期待しています。

○人口減少の原因の多くは、足寄町及び、その周辺の町村に働く場所がない事。大きな総合病院が、近くになく、60才以上になると、老後が不安になり、帯広市近くに転居するしかなくなる。また、無駄な町財政策をやっている。今回の名前だけの温泉施設は少人数しか同時に入れず経費の無駄遣いとなっている。やるんだったら、観光客や近隣の町の人を入れるような大きな温泉にしてほしかった。良い例が上士幌町や士幌町にあるので、もっと他の町の成功例を見て見習ってほしい。大きな総合病院の誘致は、周りの町と協力して、行う事、1つの町では来るはずがないので帯広に行かなくても良なる様にしなくてはいけない。就業場所を増やすための企業誘致も周辺の町と協力して行なう。足寄だけでは来るはずがない。今必要な事は、帯広市内の総合病院7つの足寄町からの巡回できる定期バスの運行をする事、何割かを町費で賄う事。観光巡回バスも近隣の市町村の観光地を広域で巡れる定期観光バスを運行する事(外国人は自然を身に来て)

○一生この街に居たい住んでいたいと思う様な街であってほしい。

○道のえき周辺の草刈をして下さい。

○イベントを増やしてほしい 日ハムの“十勝デイ”は良かったです。

○教育に力を入れるのではなくて、この町で働いて生活する労働者にとって、恩恵のある町にしてほしいです。

○一次産業が活発であれば経済は良くなる。ちぬや等の関連産業を誘致して欲しい。高齢化しても病院、福祉が充実していれば安心して住める。若者が都会へ行くのは仕方ない。帰ってきて大丈夫な環境作り。(雇用、住居)

○「12」でも記入したへき地小学校での農村留学制度の導入と、それに合わせて、親御さんへの移住サポートを組み合わせる事で、児童減少対策と農林業等の担い手対策を行う事を希望します。その為に、へき地小学校近辺の公営住宅の整備、特に光回線等の整備をする事で、在宅ワークの方も移住し易くなるのではないかと思います。そして、移住した方が希望する場合、農業だけではなく町内での就職を支援する研修センターの様な施設、もしくは仕組みを作って頂けるとありがたいです。

○年金生活者なので家庭菜園が趣味ですが鹿、カラスなどの被害がひどく対策宜しくお願い致します。

○歩道を整備及び空家等の木々、草花の整備をする事より車道を歩かずにすむ今の歩道を職員や議員さん達に歩いて地上2mまで下枝の伐採をお願いします

○60代の男性です。パソコン初め、SNS等新しい社会についていけません。インターネットなど情報の用語が理解できずにいます。スマホなどで確認はするのですが、情報社会について行く為の勉強会などを各地域で行ってほしいと思います。

○意見や提案とは違うかも知れませんが・雇用・医療・子育て高齢者の福祉、インフラ等同じような質問

等が多いような感じがします。もっとしぼって半分くらいして簡略化した方がいいと思いました。

○人口減少対策として移住促進+出産・子育てに関する施策の推進に力点を置いているは理解できますが、現在、足寄町内で共に生活している高齢者が幸せな毎日、生きがいを実感できる姿を実現してほしい。(自ら創出したい)

高齢者の幸せな姿を見ることによって、今の若い方(町民・移住者を含む)が、将来像を実感できるのでは？

○本別町のような屋内で運動できるスポーツ施設があると、冬期や雨天においても利用できて個人的に嬉しいです。特に、少年団活動や中学校の部活動は、冬期の練習場所が不足していると感じます。

○大型の100円ショップやディスカウントストア等を誘致し、地元住民の生活の利便性を上げ、新たな雇用を創出するとともに、周辺町村からも人が集まるような経済圏を作るべき。足寄は何をするにも一帯まで出向く必要があり、地元で完結できない。地元で利便性や娯楽、雇用、サービス、品揃え等々が充実していないため、フットワークの軽い人ほどどんどん便利で生活のしやすい都市部へ人口が流出してしまう。何年も前から住民の減少→商店の閉店や娯楽、情報、サービスの環境の低下→魅力、生活しやすさの低下→人口のさらなる流出、減少がループしている気がする。塾などを整備し学生の学力をサポートすることも重要かと思うが、もっと根本的な問題として若い人が地元で暮らしたい、または将来的に地元に戻ってきたいと思えるような環境を整備しないと結果的に税金をかけて若い人をどんどん外へと送り出すことになってしまう。町の中心部をもとに、足寄にしかない、もしくは近隣の市町村にはないから足寄に行こう!と思えるような魅力や特色を創出することが早急な課題だと思う。また、町内を少し歩いても空き家を多く見かけるので町で買い上げリフォームして町外の人に移住への働きかけに使うなど積極的に活用することも検討すべきだと思う。

○まずは人口を増やすことを考えて欲しい。そのためにも雇用を充実させて欲しい。どの職種も人手不足が続いている。福祉は大事であるが、どこも人手不足に陥っている。働いている人達は疲れきっており、やめるにやめられない現状もある。人材を育てること。続けて働けるような賃金体制や心のケアなどまめ細やかな対応がのぞまれる。新しいことをする人達に対する補助金対戦を拡大させ、足寄町に居続けてもらえるようにする。定住してもらえるよう他市町村の成功例を参考に。専門職を充実させることも考えて欲しい。福祉に限らず、土木工事関係や運送関係など。働きやすい環境作り。退職しても次の働くところをあっせんしてくれるような環境があると、自分の人生を考えながら働くことができると思う。バーンアウトする人が減り、雇用がたもたれるのでないか。農業や酪農の方達を守れるような仕組みを考えていく。第1次産業は日本にとってとても大事な産業である。なり手不足がさげばれているので、この産業が希望や夢をもって働いていけるようなことを考えなければ、日本の食文化を守れなくなるかもしれないと思う。空き家を活用する方法を考えていく。空地の活用も重ねて考えることが必要。足寄の町をみると空き家や空地が目立つ。悲しい気持ちになるので何か活用できる方法を広く意見を求めて、できることから先行してもいいから行ってみる価値はあるのではないかと?高齢者が利用できる施設をもう少し増やして欲しい。使える所がすくなく困っている。

○①この町で生活し一筋にうちこみ 年を重ねキラリと光る人材にスポットライトが当たる楽しい町になるといいな。又若い人が新しいことにチャレンジする人にもスポットライトが当たるといいな

②新規就農の制度はすばらしいが、その後のメンテナンス(毎月でも巡回し困る事がないか聞いて対応)が必要だと思う。

○いつも私達の町のためのお仕事に感謝しております。ありがとうございます。私が日頃感じているのは、まず、太陽光パネルがあまりにも自然をなくしていること。私たちの地域も太陽光パネルだらけでどんどん大切な自然が破壊され、更にそれらがふえようとしています。それらのことに町はどのような意見をおもち

なのかということ。また、コロナ、インフル等のワクチン接種に関しても、どのような意見をおもちなのかいつもおもっております。TVやマスコミでは推進しています。でも、実際の安全性、最近の高齢者がどんどん亡くなっている状況、ほんぱんに来る救急車。高齢者が多い町ではありますが、あまりにも多いと感じます。接種の用紙を送られている町の職員の方は、本当に安全だとおもい送っているのか、実際の状況を全く知らないのか、どちらにしても問題ではないかとおもっています。強制はされていないかもしれませんが、情報をTVや新聞でしかとっていない高齢者に選択することはできません。今の時代、全てが同じではいけないという時代ではありません。どうか1度、たち止まることを検討して頂きたくおもっております。どうか、町民のことを大切だとおもわれるなら安全性が全く認められていないこれらをこれ以上広めないでほしいところから願っております。

○若者の働く場の確保・雇用条件を良くしてほしい。きびしい仕事だけ賃金安い。働きたいと思える雇用条件にもっとならないと働き手は増えない。物価高騰の中で非課税世帯だけが生活支援金等の配布（受給）は不公平に思うので、町独自の支援策（国などの支給されたい⇒未支給世帯）にて補充してほしい。高齢者の豊かな生活の実現を目指して！！

○病院の耳鼻科、皮膚科があれば便利です。住宅、アパートが少ない。足寄に来た当時は大変でした。子育てしているので保育園での教育は満足しています。（外でのびのびと遊んだり、お絵書き、快適さ。大きなキレイな講演（里美が丘公園）も好きです。足寄の町が大好きです。

○今、町内で走っている小型バスを山間辺地に来てもらえれば 電話予約で良いと思う

○このアンケートがどのくらい反映されているのかを知りたいです。

○根本的な町のデザインが必要。他の町村の成功例を学ぶため、視察やミーティング、講演会などを積極的に行ってほしい。

○早急に自治体DXに力を入れるべき

○ゴミの分別を簡単にする それをやる事がすべての事業等を行う前の大前提

○ゴミの分別の簡易化 全てのゴミは燃えるゴミへ

今のキチガイじみた分別では人口減少に歯止めをかけるのは不可能 せめてゴミの分別の簡易さ等で魅力化をするべき

○北海道内における足寄町の地利的有意性

①（十勝帯広、釧路市、北見市）へ1時間程度の近さ

②高速道路インター入り口があり札幌まで信号なし直結であること

③雪が少なく年に少回しか家の周辺の除雪をしなくても済むことなど

上記のような足寄の利便性をもっと情報発信して伝えてほしい。道外からの居住者を増やし人口対策を積極的推進してほしいです。とても住みやすい良い町なので。

○現在デジタル化が進んでいる中で、それは必要なことでもあるが、最も大切なのは、人間の触れ合いによって与えられる、気づき、また心のゆたかさが根底になれば、手法にのみとらわれ住みやすい、心ゆたかなまちづくりから少しずつ遠のくのではないのでしょうか。こういう時代だからこそ、世代を越えた、人々の触れ合いをたいせつに、発展して行ってほしいと思っています。

○人口減と言っていないで、せっかく子育て支援に力をいれて、お金を使っているのだから、子供がよその町外に就職してほかの町、市、その他の所へ行かないように考えなければならない人口減はそこにある。町長、町議、町民との行政への意見交換をやるべきだ。もっと町民の意見の場をもうけていろんな意見を出し合っているものを取り上げて行き、役場、農協、銀行、郵政の各トップの会合プロジェクトを組んで足寄町の発展に努力してほしい。そうでないとサビれてしまう事になる。・町長と町議とまじえたら一回で意見交換がすむので分けない方がいいと思う。年に3回ぐらいやった方がいい。議会事務局は今年はやった方がいい



い。もうコロナので4年もやっていない。

○道の駅周辺の雑草が多く環境整備が必要だと思います。空き家対策として公営住宅の入居条件の緩和をしてほしいです。

○町をきれいにする 月に一度町民皆でゴミひろいをする。あきやの回りの草をかる。ぼんおどりをもっとはなやかにする。駅中に大きいキッサテンを作る。町民が日々あつまれる場所

○住みやすい町だと思います。転勤して来た人達は又足寄に来たいと聞きます。それは若い方達でしょう。年を取ると病院に通うのが大変で地元の病院で見てもらえない病気もあります。子供達に何度も頼むの悪いからもうあきらめたと話も聞きます。どこの町も同じだと思いますけど、足寄はそれが一番の悩みだと思います。

○町内会に入会しなくても、ゴミステーションを使用できるようにしてほしい。・下水道を整備して、水洗トイレ化にする。・足寄町小児科誘致・近りん住民の不法焼却。においがとてもくさい。不快！！

○「温故知新」

足寄町の歴史がひと目で判かる資料館を街中に設置して欲しい。町民より、明治、大正、昭和の懐かしい写真等を募集しパネル化したり、昔々の民具や生活用具を提供してもらい展示公開してもらいたい。現状でも存在しているが、資料の少なさと公開場所が少々遠く感じると町民でも存在感が低く思う。PR不足を感じる次第である。

※足寄町民歌の作曲者は「マリモの歌」「山のけむり」「さくら貝の歌」等の日本の抒情歌の大家である真狩村出身の八州秀章氏である。しかも作曲費は無償だったそうである。真狩村との交流策などないものでしょうか。

○※雪かきの事ですが、ほとんど毎日車を出すので幅広く歩道も国道に出るところも雪をかいてほしいです。※前に広報で合同慰霊碑について、その事について、ぜひお願いします。賛成です。

○墓地の管理ですが、最近見受けられるようになって来たのは管理する人が無い墓が見受けられます。今後増えて行くのではないのでしょうか。永代供養墓の設置を検討すべきではないのでしょうか。

墓地のトイレも非常に不衛生である。

○町の中が汚いので各自治会等で協力してきれいにしましょう。

○フクハラ以外の買い物できる店がほしい（しまむら等）足寄町で作っている農作物がおいしいのでA-COOPでよく買っていたが道の駅でしか買えないのが不便。16°でおわってしまうから、お祭りも本別のように大きくやってほしい。子供がかわいそう。駅前の通りが飲食店少なくて残念。せっかく観光客いるのに・・・温泉もおわる時間は早すぎる

○人口減少が進む中、東川のように、増やしている地域を見習って イスとかの特産品

足寄だったら、チーズ ワイン 日本人学校を作って外国人を呼ぶ 東川や、中標津のように

○総合計画策定専門委員の応募資格が暇な年寄しか当てはまらないのはひどすぎる。これでは年寄に特化した町にしかない。

○足寄が通過点の町、トイレ休憩の町から観光、遊びの目的地になるような取り組みが必要ではないでしょうか。里見ヶ丘公園ファミリー層、若い層にウケる場所になるように。

熟年層には道の駅が味やお土産の充実した場所になることにより、雇用、移住、経済に豊かさをもたらすのではないのでしょうか？

以前某製薬会社の元副社長さんと話す機会がありましたが、地方は都会を手本にしてもダメで、地方で経験できる心の豊かさの中で何ができるかを模索すべきとのご意見を聞いた事があります。

移住者だけではなく、ここで育った若者が足寄に戻りたいと思うような希望のある、少し自慢の町になることを夢見ています。

OA コーブもなくなってしまい買い物も不便。下着を買うのが不便になってませんか。役場職員で購買部をやったらいいのでは（移動販売）。高齢者が多くフクハラまで歩くのは大変という声も聞きます。診療バス利用者も今はどの位なのでしょう。14時半頃にバスが出るようですが、時間があり過ぎると言っています。以前のままではどうなのでしょう。一度調査してください。高齢者にも暮らしやすい町にしてください。町民が住みやすいまちづくり、一番大事ではないでしょうか。北区、西町一部の道路、下水道工事後のデコボコ道を直してください。車壊れます。町の整備をきちんとする！！

（里見が丘公園への案内板に関する新聞記事の切り抜き添付）今年になり勝毎に2回こんな投稿がありました。足寄町からの回答はありません。他町村はきちんと回答されています。足寄町はこのような記事に関心ないのでしょうか。里見が丘公園へ行きやすいように看板設置してください。

○企業誘致（道東方面にない企業 コストコなど）

○中国の食糧輸入の増加や円安により、今までのように日本が食料を輸入し続けることが難しくなっていくのはまちがいないと思います。長い目で見て、第一次産業や水資源などを守っていくことが、足寄町だけではなく、国益に関わると思います。何でもかんでもまんべんなく取り組むのではなく、重点をはっきりさせ、切るものは切る、という姿勢も必要だと思います。意図はわかりますが、アンケートの質問項目が多すぎて、回答する意欲がわきにくいと思います。

○広い土地にまばらに住んでいることは、非効率的、人口減少、少ないマンパワーですべてまかなうことは難しい。

コンパクトシティ～市街地に人々を集める、特にサービス（介護）が必要になった高齢者を集めることで、サービスの提供が可能になると思う。

○中学生の子供がおります。部活帰り（特に秋冬）は暗くて、自転車や徒歩での帰宅が怖いといひます。（町の中 38 号線でも暗いと…、閉まっているお店も多く）そのため親のお迎えが多くなります。街路灯（歩道側）は増えないでしょうか…。

○自治会回覧の負担が大きいことや、資源がもったいないと感じるのでできるかぎり広報あしよりに集約したほうが良いのではないかと思います。

○コンパクトシティ・町のにぎやか感を出すために商店街を歩いて行ける範囲に集中させる。住宅街を区画化して、一地区に集中させる。ニュージーランドでは、日本の面積に、北海道の人口より少ないですが、とてもにぎやかな町づくりをしています。コンパクトに街、商店街、住宅地を集めているからです。

どちらとも言えないと回答したのは、「あまりよくわからない」という意味です。ありがとうございます。日々のお仕事に感謝してます。

○住居がへき地で酪農の仕事をしていて忙しいため、子どもを少年団に入れさせてあげたいですが、できていません。まだ2年生なのでバスに1人乗り、町を1人歩くことは心配です。スクールバスを利用させてもらうことができれば、嬉しいです。

## 16. 各項目におけるその他の記述内容

### 足寄町の暮らしについて、とても不満と答えた項目とその理由

#### 【1 医療】

- 小児科が不便。常勤していないので、帯広方面に行くしかなく、子どもも親も負担が大きい。
- 町立病院は誰もいないのに何時間も待たせるのは、考え物！
- 町立病院での待ち時間が長い！
- 町立病院の対応の悪さ、おそさがとても気になります。医療（専門医が無い 例えば 眼科・耳鼻科等）
- 医療の充実
- 小児科がないのは少し不安だし不便。
- 小児科、耳鼻科などないのは大変。
- 医療の小児科がないのでふやしてほしい。
- 受診できる科がない帯広まで行かなければならない
- 重篤の場合は1度国保に寄らずまっすぐ帯広へ走ってほしい
- 町内の病院には専門医療が充実していないので他の地域に行って診察をしてもらっている。
- 足寄に限ったことではないが、受診したい科がないと帯広まで行かないとならない通院できない。一番の老後の不安
- 特に医療に関して又、出産が地元でできないのが残念
- 小児科がなく、わざわざ帯広まで行かないといけなくてとても不満。子供特有のカゼ・病気を調べる（検査）をしたくても、帯広まで行かないとできなく、なかなか行かない家庭もあり、感染症が広がる。
- 小児科医常駐してほしい。
- 町の病院では、限界がある。
- 子育て支援なのに小児科がない
- 医療勤務医師数が充実しているのに何故、夜間、休日は派遣医師が対応しているのか。派遣医師で賄っているがゆえ不必要な人件費がかかり経営を圧迫しているのでは。
- 足寄町が良い町になることが大事だから
- 国保病院の赤字が大きすぎる。足寄町が倒産しないか心配。

#### 【3 出産・子育て環境の充実や支援】

- 3→他市町村と比べて、支援や環境の水準が低い
- 子育て、妊娠～3才くらいまでのお母さんたちの学び、本当の心の居場所、不登校の子どものお母さんのケア先はあるのだろうか。
- ・子育て支援以外に不妊に悩む特定治療支援の助成が他町村であるのにな

#### 【4 高齢者の福祉】

- 若年層の支援と高齢者福の差が大きいと思います。高齢者の1人世帯に足を運び心の通った行政を進めて欲しい。外間より内間の施策が必要。
- 福祉サービスが対象外の母とくらして、年々できない事やきけんな事がある。仕事でいない時などとても心配です。
- これから介護が必要になった時、スムーズに受ける事が出来るのかな？と不安があります。自宅に住めなくなった時、受け入れてくれる施設とか大丈夫なのかな？と思います。
- 高齢化に町が追いついていない
- 高齢者が安心して入居できる施設がない。金額も高く、不安がある。
- 要介護に該当しない高齢者の生活支援体制が未熟。買い物や身のまわりのことなど生活上の不便さに直面

している高齢者が多数おられます。助け合って誰もが安心して住める町になるよう、介護サービスだけでなく介助サービスにも力を入れてほしい。

○高齢者福祉に対しての責任が感じられない。

○介護施設の利用料が国民年金では足りないくらい高額

○高齢者の相談窓口を増し、充実した老後を安定したものにしてほしい

○老人ホームなどの施設も不十分な為隣町など遠くに通う必要がありとても不便だと思った。

○新しい老人ホーム必要だと思います。

○4→買い物が不便

#### 【5ひとり親（母子・父子）の福祉】

○5.支援の様子が見えない。

#### 【6障がい者（児）の福祉】

○6（障がい者）について、「年齢が高齢でないので対象にならない」と言われた事がある。少々わかなくても体が不自由になっている人も多くいると思います。40代で脳こうそくになった妻は、家から一人で出歩きません。リハビリで働くようになった体も、リハビリを切られ歩くのでさえもへたになった。その後のサポートがこの町にはない

○6→障がい者の働く場所が少ない

#### 【8防災（災害予防・災害対策）】

○8.水害に対する環境整備が足りないと思う

○8→堤防等が低すぎる

#### 【11道路・歩道の整備や維持管理】

○裏通り道路や歩道の整備

○11.歩道が狭く車椅子等の利用が困難

○道路・歩道はボコボコで全く直していない

○進路歩道の整備

○道路、デコボコしている歩道は歩きづらい、せまいのでワバ車もおしづらい、人にも車にもやさしくない。

○歩道のアスファルトが平坦でなく高低差もあるため歩いていても危ない！！

○11.町道の補修が出来ていない

○デコボコ歩道夜はキケン

○町道、道道のガタガタいつ直す！！道路に覆いかぶさっている木いつ切る！！

○町道脇の草が伸びすぎて車幅が狭くなる。もっと早く刈ってほしい！！

○歩道の整備体の悪い人<足>では、歩きにくいです。<でこぼこでつまづきます>

○道路の亀裂、陥没等が多すぎる。町が気づかなすぎるのか手抜きなのか？

○交番から高校までの道の整備(歩道、木)をしてほしい

車も学生や歩行者も互いに気をつけているが、危険を感じる

○歩道が狭かったり、ボコボコしていてベビーカーや車椅子は通れないところがあり不便に思います。

夜間も注意して歩かなければなりません。

○他町の人から、足寄は街灯が暗いと良く聞きます。防犯、事故防止、景観の理由から改善を求めたいです。

○道路→山間部の道路は凹凸が激しく、雨の日などは特に危険。

○電灯がもう少し補しい。



- 高齢者が多い町なのに歩道の草がのびて歩けない。
- 歩いて通勤する事がありますが歩道が草だらけで車道を歩いています。
- 道路の整備。危険な道路が多く観光に向かない。
- 11.道道のつなぎ目？の道踏を直してほしいと思う。通る度に体に振動が伝わりしんどい。

### 【12河川の整備】

- 佐野川など、川が雑草だらけで、子どもと遊ぶことが出来なかつたり、公園も古かつたりサビついて遊ぶ遊具が少ない。
- 小さな河川周囲の整備が全くされていない
- 河川整備に関して、堤防やブロックでかためられてばかりでつまらない。川に沿って街は発展してきたはずなのに、川に親しみが全くない街になってしまった。

### 【13地域公共交通の確保】

- 13.高齢者の免許返納が増加した場合の対処として地域公共交通のネットワークが重要と思われれます。
- 電車が無いと思はなかった。
- 交通が不便で買い物にいけない
- 交通関係
- 学生はタクシー無料したら、親の付き添いなく遊びに行ける
- バスの本数が少ない
- 足バスの様な小さな車を各方面に走らせターミナルで乗りかえ路線バスとも接続を良くして、路線バスは今の大型バスは必要ないように思う
- 病院に通院する時、足となる公共交通が不便すぎます。
- 足寄バスの有効利用をしてほしい。(骨折して、足の悪い人は時間にバス停まで行けません。)
- 帯広には7つの大病院があり、足寄には1つの国保病院のみ。(治療分野が決まっている)/PET 必要/高齢者の人から直に聞いた話などですが、病院に行くのに十勝バスで帯広に行かないといけない。(2,000円)ぐらいかかるらしい。国民年金に人の事を考えてほしい。(補助)してほしいバス代・医療費
- 13.足寄→帯広 トイレのないバスは最悪
- 足寄市街地または上士幌市街地へ行かないと公共交通機関(路線バス)がないこと。
- 車がなければ生活できない
- 食料買うにも車がないと行けない。歩くにわ遠い。
- 交通確保～車が乗れなくなったらどうするの心配
- 13.採算を考えるとやむを得ないと思いますが、今後よくなる見込みはなさそうなので。

### 【14情報通信体制の充実】

- 14.知りたい情報が伝達されていない
- 電波悪いから、テレビ画面一瞬止まるし風が強いとラジオ入りにくいときある。

### 【15上水道(良質で安全な水の供給)】

- 街中なのに水道を引くのに多額の工事費がかかった。

### 【16生活排水処理(下水道・浄化槽の整備)】

- 下水道整備がととのっていない。
- 下水道(浄化槽)の整備をしてほしい。その際の工事費用を町の方である程度は負担をしてほしい。

### 【17公園・緑地の整備やまちの景観】

- 芝桜のはえてない公園の草刈りはやめて、つつじでも植えたら。税金のむだ使い。職員は何もわかってな

い。

○街の景観国道沿いの空家対策は何をしているのか 街の印象が非常に悪い折角の足型が汚い、街の特色にしようとならないのか

### 【18公営住宅の整備】

○18.何年かに1度のメンテナンスがあると良い。場所によって、結露がひどく、床、かべが黒くなったり、剥がれたりひどい。下水道のつまりが治らないなどある。

○公営住宅で子育て支援の人と一般の人と別の棟にした方がいいと思う(足音がうるさいなど)子どもがいると物音を抑えるのは難しい

### 【19ゼロカーボンの推進】

○宣言はしたが、ゼロカーボンへの実際の取組はこれからに期待します。まだこれから、どれだけ実行できるかです。

○19→取り組みが目に見えない

○ゼロカーボン→何も進展がないように感じる。目に見える変化を感じたい。

### 【21ごみの収集・ごみの減量化・リサイクル】

○ごみ収集が厳しすぎる。

○町内会に入会しないとゴミステーションが使用できないこと。

○21.ゴミの分別が分かりにくい(プラ)

○ゴミの分別が大変だ。混合ゴミ袋の導入(有料化) 老人や子どもでも分別できる仕組みにしてほしい。

○ごみの収集日夏場ででも生ゴミ週2回にして下さい。生ゴミ用5ℓの袋も作って欲しいです。

○ゴミの分別がキチガイじみた細さ 全て燃やすゴミへ

○ゴミの分別が細すぎる

分別を缶、瓶、ペットボトルを除き、1種類の燃えるゴミのみにして欲しい。分別が細かすぎて、更に袋が高すぎ住みたいと思う人はいなくなっていくとおもう。せめてゴミの分別ぐらいは簡易化して魅力化するべきだと思う。高崎市や大阪市の分別を見習い焼却炉を強力なものにするべきだと思う。

○ゴミについては、分別が細かすぎるし、不可解なことが多い。

○ゴミの分別等分かりづらい

○ゴミの分別はもっと分かりやすく簡略化。

○ゴミの分別の項目が多い上、定期的に変わるのももうわからない。お年寄りにはもう覚えられないのでその分も分別しなければならないのが面倒。

○足寄町はゴミの分別が特に厳しいです。

町内に何年も住んでいて慣れている人はいいと思いますが、我々のように町外から来る者たちからすると、最初ゴミ何回も戻されたら、イライラしますし時間の無駄だと思います。環境のため等でゴミの収集厳しくなっているとは思いますが、今後足寄町へ移住してくる人たちのために、なんとかゴミの分別易しくなりませんか？

○ゴミの回収で、燃えるゴミが週1なので、特に夏場は生ゴミが腐敗し辛い。回数を増やすか、生ゴミだけ、町のコンポストを設置するなどしてもらえると嬉しい。

○ごみ収集の分別方法～高齢者には難しいと思う

○ゴミの分別

○ゴミ分別が多過ぎる

○ゴミステーションが町内会に入会しないと使えない。

○町の中でリサイクルできればゴミ減量、労力減 子どものリサイクルがあるけど、大人や家具もあればいい

いなー

○21→分別種類が多すぎ

○ごみ→住民のリサイクル意識が低いし、知識も浅い。ペットボトルより缶を積極的に選ぶべきだと話したら、「そんなことを気にしているのは都会の人間だけだ」と言われた。リサイクルや資源保護へ関心をもつことに都会も田舎も関係ないのでは？

○21 国道ぶち、橋の下など観光客？ポイ捨てにおけるゴミがすごい。(ニジマスがビニールをのみこみ、死んでいた。)

### 【22移住・定住の促進】

○22.32 成行きまかせ。民間まかせに見える。むずかしい問題だけに積極的に取り組んで欲しい。

○22.移住・定住の促進について町民人口・世帯の著しい減少が顕著である事。

○教育について色々は無償化したり、学生にとっては恩恵があるが、働く人にとってはメリットがない。この先、住みたいとは思えない。

○現状、移住・定住には不向き子育てに重点を置きすぎて独身は町を出るしか選択がない小中高の学生にも話を聞いて町に残りたくなるような改善をしないと衰退しかない

○年寄にたいする政策ばかりでは人が寄りつかずいずれ消滅するのが目に見えている。もっと若者が定住出来る環境を整えないと。

○移住者には良いことが多々あるようだが定住者に対しては特に何もない

○土地が高すぎて、家を建てたくない。(他に建てた方がマシ)

○22.外部からの人でも公営住宅に入れるようにした方が良い。年齢制限をなくして欲しい！

○家賃が高い、子供を持っている方への支援があるが子供のない者には何もない。高校終了し町を出てしまう

○22→移住者に対する支援等が少ない

○移住定住→少しずつ店や公共施設が閉鎖していつている今、足寄町はこのままでは衰退していく一方。若い人の移住に力を入れないと限り歯止めはきかないと思う。

### 【23小・中学校の教育環境】

○小学校に早急にエアコンを付けて欲しい。

○温暖化による教育環境の悪化。小学校エアコン設置急務

○近年夏の暑さが厳しい中、学校の教室にエアコンが1台も設置されていなかったのが信じられない命にかかわる問題

○あまりに小学生の人数が少ない大誉地小学校は足寄小学校と統合廃校を検討してほしい。子供達が不憫でならない。大人の事情はあると思うが早めの推進を期待している。少人数ならではの感じられない。

○小学校にエアコンをつけてほしい。死亡者が出てからでは遅いと思う

○給食費無理にするのはいいけど量が少ないと聞く、それなら無料をやめることも検討する必要があるのではないか。

○思春期特有の悩みへの寄り添い方や教員と生徒の距離感

### 【24高校の教育環境】

○足寄高等学校にエレベーターがない！バリアフリーに対応していない。松葉杖の生徒が4階までいくのは、とても危険です。英検なども資格試験無料は、合格したら補助する形の方がいい。部活や個人的理由の欠席が多く、税金の無駄使いである。

○小学校、高校にエアコン設置をしてくれませんか？子を通わせている親ならほとんどの人がそう思っています。安心安全な町作りを目標に掲げているのに街の宝としている子供達が安心できない、危険な状況に晒

されています。里見ヶ丘の公園を整備する予算があるならば…温泉施設を建設する予算があるならば子供達の命を守るためのエアコンの設置を優先的にして欲しいと子を持つ親はよく話しています。子供が亡くなってからでは遅いんです。

#### 【25 芸術や文化活動の振興・文化財の保護】

○芸術や文化などの催事がとても少ない。他の町は芸能人や歌手を招いてのショーを行ったり、絵画展なども開いているが、足寄はそういった事がほとんどない。

#### 【26 スポーツ生涯学習の推進】

○もっと他のスポーツの環境整備が必要だと思う。

#### 【27 国際交流の推進】

○国際交流が過剰に推進されているように感じて不満。無駄遣いに思える。

○国際交流事業にお金がかかりすぎている。(かけすぎている)

#### 【28 農業の振興】

○農業の振興、足寄町の立地条件、気象に合った農業の確立が出来てない。

○足寄の基盤産業である農林業に対する補助事業や誘致事業、経営安定に向けた道、国に対する働きかけの重要性などもっと発信してほしい。このままだと衰退するだけです！

○28.農業の現状状況に見合った対応を願う

#### 【30 商工業の振興】

○商業施設が少なすぎる

○30.足寄で買えない物が多く、帯広まで行かなければならない。(インターネットになる)

○商業が衰退している。担い手不足で活気がない。

○買い物をする場所が少ない、良いものがない

○生食品売ってる所が少ない。

○私は巡回するように色々な店で買ってます。(国民年金の人)の店 ・上士幌町を参考にしてほしいです。

(一番初めに、貼っている物) ※別紙アンケート用紙参照 ・役場の人は年金を、たくさんもらえるから他人の事(足寄町民の事)のように考えていて、自分だけさえ良ければ良い、それと同じ飲食店ばかり行くのではなく、病気から復活した人の店に行くとか、国民年金で生活している人の店とか。

#### 【31 観光の振興】

○31→観光名所スポットが少なく魅力がない

#### 【32 雇用・労働の確保】

○32.職種、求人、給料が少ない。ずっとここで暮らそうという設計が立てられない。

○32.雇用・労働の確保 雇用と労働の確保が出来なければ町は衰退し人口減少に歯止めがかからなく、一町では、運営出来なくなると思う。

○働きたくても正社員になれる企業が少なく、パート等の仕事は収入の少なくない。

○若い人達の働く場が少ない。

○とても不満とは答えませんが、雇用体制はなんとかしてほしい。どの種類の仕事も人出不足で働く人達はつかれている。仕事をやめたくてもやめられない状態が続いている。

○働ける場所が少ない

○働く世代に対する雇用の場、賃金アップ、次世代のためにインフラ整備をし残すことが必要。

○働く場所の確保は、重要課題だと思います。I・U・J ターンに最大限に力を入れて頂きたいです。

○32.33 魅力的な働く場所がない。

○(商店)(観光)(雇用)の発展又は就がない郊南の方に大きい会社を呼んで就職をさせた方が人口がふえるし



若者が残る。

○人口が年々減っている。若い人達が戻ってきてくれる働く場所が必要だと思う。過疎化が進み心配。

○雇用→雇える人がいないために家族でやりくりするしかなく、生活に自由がきかない。

### 【33企業誘致や企業活動の支援】

○企業誘致の動きが見えない雇用の場が無い

○33.企業誘致や企業活動の支援 企業誘致のため尽力している様子が見えません。

○33.外部からの学生を優遇育成して地元で雇用の場がないのは残念

○33.働く場がなければ町の人口は減少してしまう。町の環境が良くても人は、定住しないと思う。

働く場所がなければ足寄町に住みたくても不可能なので、企業誘致を積極的に進め、雇用に充実してほしい

○地主が、もっと企業誘致に協力していかなければ町の発展はないと思う

○企業の誘致も進んでいると聞いていないし、役場が率先して退職者（定年）の補充を若い人にしないと地元に残る若者は居なくなる

○企業誘致 あきらめていませんか

○企業誘致 足寄町に企業を移転しても良いと思えるくらいの優位性が無いと進まない 働く場所が無ければ人口も増えない

○企業誘致は、工業だけではなく、情報、IT 企業にも誘致すべきだと思います。多くのソフトウェア会社が地方にデータベース本社を移しています。

○33→雇用が増えるような企業が少ない

### 【34広報、広聴、情報公開】

○最近の広報紙を見ますと従来のような町内、町民目線の記事が少なく行政からの記事が多いように思います。もう少し町内の細かい記事もあって良いのではないのでしょうか。

### 【35町民と行政による協働のまちづくり】

○35 町民や行政との対話の場が全くない。例えば上士幌町の行政懇談会のように、町長・課長食お町民の懇談の場、町民への行政報告会などの場が当町には無い。議会と町民の対話の場はあるのだが。

○町民からの意見が少なくなっているように感じる。横のつながりがなくなっているため、協働のまちづくりが難しくなっている。

### 【36行財政運営】

○町内の施設の壁の補修など、くだらない税金使いすぎ

○出鱈目

○足寄高校に税金を使いすぎ

### 【37窓口の職員対応・住民サービス】

○町民の健康や生活、困り事等の相談にのってくれる役場であってほしい。

○37 窓口の職員対応・住民サービス わるい

○役場窓口対応 マニュアル通りの対応のようにしか感じられない。親身になって欲しい。何をどのように聞いて良いわからない人にも率先し親切な対応を望む。（特に若者職員）

○職員対応あいさつがない 役場に行って前を通過して行く時すわっている町民にはあいさつがあっても良いと思います。

○37.少しずつ良くなっているが、対応には不満を感じる時もある

### 【38近隣（十勝管内）市町村との広域連携】

○38→連携しているとは思えない

○イベント情報の共有頻度少

### 【その他】

○基盤整備、環境保全、住宅環境整備、パトロール、指導

○質問項目多すぎ

○市営（公営）住宅の自治会は必要性があまり感じられない。お金だけ（集金）払ってイベント出られない（行きたくない）人にとってはしっくりこないのが本音。入らなければいけないという人が多く言いづらいし、入らないと伝えたい。

○議会の提供が少ない

○物価が高い。